

## 令和2年度 本部事業報告書

社会福祉法人 ささゆり会

令和2年度の運営スローガンは、『助け合って目玉事業をきっちりやり遂げる』になっております。

小規模多機能サンライフ岡田が2020年10月に開設しました。定員は29名の小規模多機能ホームになります。2021年1月にデイサービスサンライフ岡田を定員20名で開設しています。

新型コロナ対策として、外部との接続を減らしました。家族様との面会もオンラインでできるようにzoomのソフトウェアを利用してオンラインで映像と音声で会話ができるように行いました。また、机等にはアクリル板でパーテーションをし、飛沫感染のリスク回避を行っています。また、アルコール、手袋、マスクなど余分に備蓄し対応しました。

サンライフ御立では、特養3階と4階のフロアにwifiの整備とナースコールと見守りシステム（眠りスキャン）30台の整備を行いました。ナースコールと見守りシステムの連携ができる機械を設置しております。業務改善を行い、職員負担を減らしていきました。また、インカム（携帯マイク）の導入をし、業務中の職員同士のコミュニケーションが増える為に情報共有が行いやすくなりました。

2月に姫路市辻井8丁目に新しく社員寮（2DK4戸で8人住居）が完成しました。6600万円の工事費をかけて社員寮の建設を行なっていました。社員寮は、現存の古い社員寮の南側に新しい社員寮を建設しております。

地域貢献事業として、子ども食堂ですが、コロナ禍の為に中止しておりました。ただ、緊急事態宣言等がない場合はできる限り感染対策を行なった状態で子ども食堂は行いました。本年度は4回の開催になりました。福祉なんでも無料相談所を行っていましたが、コロナ禍での外出自粛により一時閉館をし、相談件数が減少し10月30日をもって閉館となりました。姫路市辻井7丁目に約150坪の土地を取得しました。社員寮の建設予定です。

インドネシアからは技能実習生が3名、1月6日にサンライフ土山が受け入れを行いました。1月14日にはベトナムからのEPA（経済連携協定）候補生が各事業所に配属になりました。法人全体で7名のEPAの候補生が来ました。サンライフ御立に1名、サンライフ土山に3名、介護型ケアハウスサンライフ魚崎に1名、フレール魚崎（グループホーム）に2名配属になりました。コロナ禍もあり配属日程が遅れました。ベトナムへの面談も開催されていません。外国人の介護福祉士の合格者が、11名受験し10名合格しています。日本人は10名合格しています。

感染対策を行ない、クラスターを発生しないような対策と行事の中止を行いました。

令和2年度ささゆり会重点課題は、事業計画に挙げた下記3つの重点項目である。

1. 施設運営の改革に不可欠な諸事業の充実
  - ・新型コロナ感染対策
  - ・サンライフ岡田の開設準備
  - ・外国人技能実習生受け入れ
2. 主体的経営の基盤強化に不可欠なシステム及び仕組みの構築
  - ・ICT導入による業務改善
3. 施設の運営や活動に不可欠な人材育成と確保
  - ・新卒者、中途者採用促進の為、専門担当者の配置推進
  - ・EPA(経済連携協定)の研修生の採用と育成
  - ・技能実習生の日本語研修と介護研修

以下、令和元年度の事業推進結果を主要運営の経緯・施設経営と介護サービス・会議と大別して、その概要を報告する。

## I. 主要運営の経緯

### 1. 定款の変更と諸規程の改正

- R2. 5. 18 社会福祉法人ささゆり会諸規定の制定及び改定について
- R2. 7. 8 社会福祉法人ささゆり会諸規定の改定について
- R2. 12. 11 社会福祉法人ささゆり会諸規定の改定について
- R3. 3. 7 社会福祉法人ささゆり会諸規定について
- R3. 3. 16 社会福祉法人ささゆり会定款変更について
- R3. 3. 26 社会福祉法人ささゆり会定款変更

### 2. その他行事等の主要運営

- R2. 4. 1 サンライフ御立入社式、サンライフ魚崎入社式
- R2. 5. 18 第1回理事会
- R2. 6. 3 第1回監事監査
- R2. 6. 11 第2回理事会
- R2. 6. 26 定時評議員会
- R2. 7. 8 第3回理事会
- R2. 8. 7 第4回理事会
- R2. 9. 1 第5回理事会
- R2. 9. 2 献血(サンライフ御立)
- R2. 9. 9 第1回臨時評議員会
- R2. 11. 10 入所計画委員会(サンライフ御立)
- R2. 11. 13 第3者委員会、苦情委員会(サンライフ御立)
- R2. 12. 4 第2回監事会
- R2. 12. 11 第6回理事会
- R2. 12. 18 第2回臨時評議員会
- R2. 3. 16 第7回理事会
- R2. 3. 26 第3回臨時評議員会

## Ⅱ. 施設経営と介護サービス

### 1. 施設運営の改革に不可欠な諸事業の充実

小規模多機能サンライフ岡田が 2020 年 10 月に開設。2021 年 1 月にデイサービスサンライフ岡田を開設。

### 2. 主体的経営の基盤強化に不可欠なシステム及び仕組みの構築

サンライフ御立の特養 3 階と 4 階のフロアに wifi の整備とナースコールと見守りシステム（眠りスキャン）30 台の整備。ナースコールと見守りシステムの連携ができる機械を設置。インカム（携帯マイク）の導入。

### 3. 施設の運営や活動に不可欠な人材育成と確保

EPA 候補生は、姫路 4 名、魚崎 3 名の入社となりました。本年度の EPA 候補生はコロナ禍の影響もあり入国が遅れました。

### 4. 地域貢献事業等の推進（介護実習等）

#### 姫路事業所

| 受 入 先        | 人数 |
|--------------|----|
| 姫路保育福祉専門学校   | 16 |
| 兵庫県立龍野北高等学校  | 5  |
| 姫路しらさぎ特別支援学校 | 1  |
| 兵庫県立香寺高等学校   | 2  |
| みかしほ学園       | 1  |
| 姫路市医師会看護専門学校 | 39 |

合計

64

#### 魚崎事業所

| 受 入 先 | 人数 |
|-------|----|
|       |    |
|       |    |
|       |    |
|       |    |
|       |    |
|       |    |

合計

0

### ふれあい子供食堂（レストランテ・ヴォーノ西庄）

|        | 7/9 | 8/13 | 11/12 | 12/10 | 合計 |
|--------|-----|------|-------|-------|----|
| 子ども人数  | 16  | 4    | 13    | 14    | 47 |
| ボランティア | 6   | 3    | 3     | 3     | 15 |

※12 月はお弁当・プレゼントの配布のみ

### ふれあい子供食堂（レストランテ・ヴォーノ田寺）

|        | 7/15 | 8/19 | 11/18 | 12/16 | 合計 |
|--------|------|------|-------|-------|----|
| 子ども人数  | 16   | 18   | 11    | 15    | 60 |
| ボランティア | 7    | 6    | 2     | 5     | 20 |

福祉無料なんでも相談所

|        | 開設<br>日数 | 相談<br>件数 | 相談経路   |        | 相談種別 |      |    |     |    | 相談項目 |    |    |     |
|--------|----------|----------|--------|--------|------|------|----|-----|----|------|----|----|-----|
|        |          |          | 電<br>話 | 来<br>所 | 高齢者  | 障がい者 | 精神 | その他 | 生活 | 介護   | 入所 | 虐待 | その他 |
| 2020年度 | 48       | 68       | 11     | 57     | 12   | 34   | 21 | 1   | 50 | 2    | 6  | 0  | 9   |

2020 月 10 月 31 日で閉鎖

5. 職員の資格取得への取組について

・介護福祉士

|         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| サンライフ御立 | 前田 雅人                                              |
| サンライフ御立 | 正田 未来                                              |
| サンライフ御立 | フン ティ トゥイー チー (ベトナム)                               |
| サンライフ御立 | ホー ディン トゥアン (ベトナム)                                 |
| サンライフ御立 | グエン ニャット リン (ベトナム)                                 |
| サンライフ御立 | ブー バン チュン (ベトナム)                                   |
| サンライフ御立 | 黒田 早百合                                             |
| サンライフ広峰 | 村上 悠介                                              |
| サンライフ土山 | 松岡 聡                                               |
| サンライフ土山 | ディン ティ トゥ ゴック (ベトナム)                               |
| サンライフ土山 | ブー ティ ザン (ベトナム)                                    |
| サンライフ土山 | レー ティ タム (ベトナム)                                    |
| サンライフ土山 | ファン ティ ボン (ベトナム)                                   |
| サンライフ西庄 | 織金 浩                                               |
| サンライフ西庄 | 大櫃 章雅                                              |
| サンライフ西庄 | ニカデク アユ ドゥウィ パラマスワリ (インドネシア)<br>* ささゆり会が支援している専門学生 |
| サンライフ魚崎 | 尾下 博美                                              |
| サンライフ魚崎 | 飯田 淳史                                              |
| サンライフ魚崎 | 的場 佳那子                                             |
| サンライフ魚崎 | カオ ティ トゥ ハー (ベトナム)                                 |
| サンライフ魚崎 | グエン ティ フォン (ベトナム)                                  |
| 合計      | 21 名 (内外国人 11 名)                                   |

・介護支援専門員

|         |       |
|---------|-------|
| 姫路 地域包括 | 中嶋 彩乃 |
| 合計      | 1 名   |

### Ⅲ. 会議

定款の変更、規定の改正、事業計画及び事業報告、会計予算及び決算、介護に関する業務の執行状況や財産状況の整理のため、以下の会議を行った。

#### ア. 監事会・理事会・評議員会

| 会議名      | 内 容                                                                                               | 期 日       | 場 所            |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------|
| 第 1 回理事会 | 1. 小規模多機能ホームサンライフ岡田設備における入札について<br>2. 社会福祉法人ささゆり会諸規定の制定及び改定について                                   | R2. 5. 18 | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 第 1 回監事会 | 1. 令和元年度事業報告・決算などの監査                                                                              | R2. 6. 3  | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 第 2 回理事会 | 1. 令和元年度監事監査報告について<br>2. 令和元年度事業報告承認について<br>3. 令和元年度会計決算承認について<br>4. 定時評議委員会の招集の件<br>5. 退職慰労金について | R2. 6. 11 | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 定時評議員会   | 1. 令和元年度監事監査報告<br>2. 令和元年度事業報告承認について<br>3. 令和元年度会計決算承認について<br>4. 福祉充実計画の承認について                    | R2. 6. 26 | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 第 3 回理事会 | 1. 辻井社宅建築の業者選定について<br>2. 社宅用土地の取得取引について<br>3. 社会福祉法人ささゆり会諸規定の改定について                               | R2. 7. 8  | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 第 4 回理事会 | 1. (仮称)辻井職員寄宿舍新築工事入札について<br>2. サンライフ魚崎 ナースコール・見守りカメラ電話システム更新工事の入札について<br>3. 社会福祉法人ささゆり会諸規定の改定について | R2. 8. 7  | 御 立 2 F<br>会議室 |
| 第 5 回理事会 | 1. 定款変更について<br>2. サンライフ岡田事業計画について<br>3. 会計監査人(公認会計士)契約変更について<br>4. 第 1 回臨時評議員会の招集日時、場所、議題等の決定について | R2. 9. 1  | 御 立 2 F<br>会議室 |

|           |                                                                                                                                                                                                                                   |          |              |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------|
|           | 5. 小規模多機能ホームサンライフ岡田<br>管理者の任命について                                                                                                                                                                                                 |          |              |
| 第1回臨時評議員会 | 1. 定款変更について<br>2. サンライフ岡田事業計画について<br>3. 会計監査人(公認会計士)契約変更について                                                                                                                                                                      | R2.9.9   | 御立 2F<br>会議室 |
| 第2回監事監査報告 | 1. 上半期事業推進状況の監査<br>2. 事業計画に基づく諸事業の実施状況と<br>課題                                                                                                                                                                                     | R2.12.4  | 御立 2F<br>会議室 |
| 第6回理事会    | 1. 令和2年度上半期監事監査報告について<br>2. 令和2年度上半期事業報告について<br>3. 令和2年度上半期会計決算報告について<br>4. 令和2年度第1次補正予算(案)承認について<br>5. 社会福祉法人ささゆり会諸規定の改定<br>について<br>6. 評議員選任・解任委員、法人本部事務職<br>職員等の変更について<br>7. 管理者の任命について<br>8. 第2回臨時評議委員会の招集日時、場<br>所、議題等の決定について | R2.12.11 | 御立 2F<br>会議室 |
| 第2回臨時評議員会 | 1. 令和2年度上半期監事監査報告について<br>2. 令和2年度上半期事業報告について<br>3. 令和2年度上半期会計決算報告について<br>4. 令和2年度第一次補正承認について                                                                                                                                      | R2.12.18 | 御立 2F<br>会議室 |
| 第7回理事会    | 1. 令和3年度本部・施設事業計画案承認に<br>ついて<br>2. 令和2年度第2次補正予算案承認につ<br>いて<br>3. 平成3年度法人・拠点区分会計予算案<br>承認について<br>4. 定款変更について<br>5. 社会福祉法人ささゆり会諸規定につい                                                                                               | R3.3.16  | 御立 2F<br>会議室 |

|            |                                                                                                  |         |              |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------|
|            | て<br>6. (魚崎)市営住宅対規模改修について<br>7. 第3回臨時評議委員会の招集日時、場所、議題等の決定について                                    |         |              |
| 第3回臨時評議委員会 | 1. 令和3年年度本部・施設事業計画案承認について<br>2. 令和2年度第2次補正予算案承認について<br>3. 令和3年度法人・拠点区分会計予算案承認について<br>4. 定款変更について | R3.3.26 | 御立 2F<br>会議室 |

イ. 介護保険推進委員会

| 会 議 名        | 内 容                   | 期 日      | 場 所 |
|--------------|-----------------------|----------|-----|
| 第1回介護保険推進委員会 | 令和2年度上半期事業推進状況報告と課題検討 | コロナにより中止 |     |
| 第2回介護保険推進委員会 | 令和3年度事業計画の策定案について     | コロナにより中止 |     |

以上

# 特別養護老人ホームサンライフ御立

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度のささゆり会経営スローガンである「助け合って目玉事業をきっちりとやり遂げる」を基に、ご利用者一人ひとりに合った個別サービスが実施できるよう他職種連携を図り、生活環境の整備、職員の職場環境の整備に努めた。また、新型コロナウイルス蔓延により、ご家族の来園自粛や面会全面中止をすることとなり、蔓延予防のための施策として、Zoom 活用によるオンライン面会や毎月の写真付きお手紙の発送、職員との電話でのやり取り時にご利用者へ取り次ぐなどの対応を実施した。ほとんどのご家族からは、労いや感謝の言葉を頂けたことには、安堵している。しかし、一部ご家族からは、現在の対応をご納得頂けなかったり、面会できないご不安から職員への電話回数が増し、対応に追われることもあった。今後も少しでも多くのご家族に安心し、信頼のもとご対応頂けるよう努めたい。

ご家族だけでなく、ご利用者においても、ご家族との面会が出来ないことや多くの行事が延期または、可能な範囲での実施となり、ストレスの多い日々を過ごして頂くこととなった。中でも、出来る限り、外気に触れて頂ける機会を設け、屋上でのおやつやドライブ行事を多く実施し、少しでも季節を感じて頂けるよう努めた。その時の様子は、Instagram や毎月のお手紙でも発信した。

職員の介護技術及び、資質向上への取り組みとして、介護技術研修部門の活用及び、看護師・理学療法士・歯科衛生士など、複数の専門職がいるという特養のメリットを活かし、介護技術の向上、接遇・マナーについて、個別で指導を行っていたが、一貫した指導、安定的な指導を行うことが出来なかった。そのため、月 1 回のリーダー会議でリーダー及び、主任との意思統一を図りながら、各班の問題等の情報を共有し、改善に向けて他班協力体制が取れるように話し合いを進めた。また、リーダー会議での内容を班会議に反映できるようにし、改善行動に繋がるよう努めた。しかし、班内のコミュニケーション差が著明に出ており、班内及びフロア内での情報共有、意思統一を十分に図ることが出来なかった。先般の日本人職員自体のコミュニケーション能力低下も否めないが、外国人職員も多く、今後も増員予定としているため、特に日本人職員は、率先して情報共有を図り、また、外国人職員は、積極的にコミュニケーションを図れるよう、体制及び、環境を整えていきたい。コミュニケーションツールとして、インカムの導入が済んでいるため、来年度は、より活用できるように努めたい。

人員配置としては、全国平均の 1:2.12 を大きく上回る 1:1.91 となっているが、勤務制限の多い職員や外国人職員も多く、シフトが組みづらい状況に陥っている。また、今後も産休・育休取得予定者もあり、復帰者も時間制限が出てくる予定である。今年度の介護福祉士合格者は、特養だけでも EPA 職員も含め 6 名おり、そういった職員や他施設も含め、異動調整を行いながら、業務改善に努めたい。また、ICT 活用事業として、眠りスキャン、眠りスキャン EYE(カメラ)、インカムの導入を行い、職員の心身の負担減少が図れた。今後は、一部職員が、使用検討を発信して活用するのではなく、全職員が優先順位をつけ、より良い活用方法を率先して発信できるように指導に努めたい。

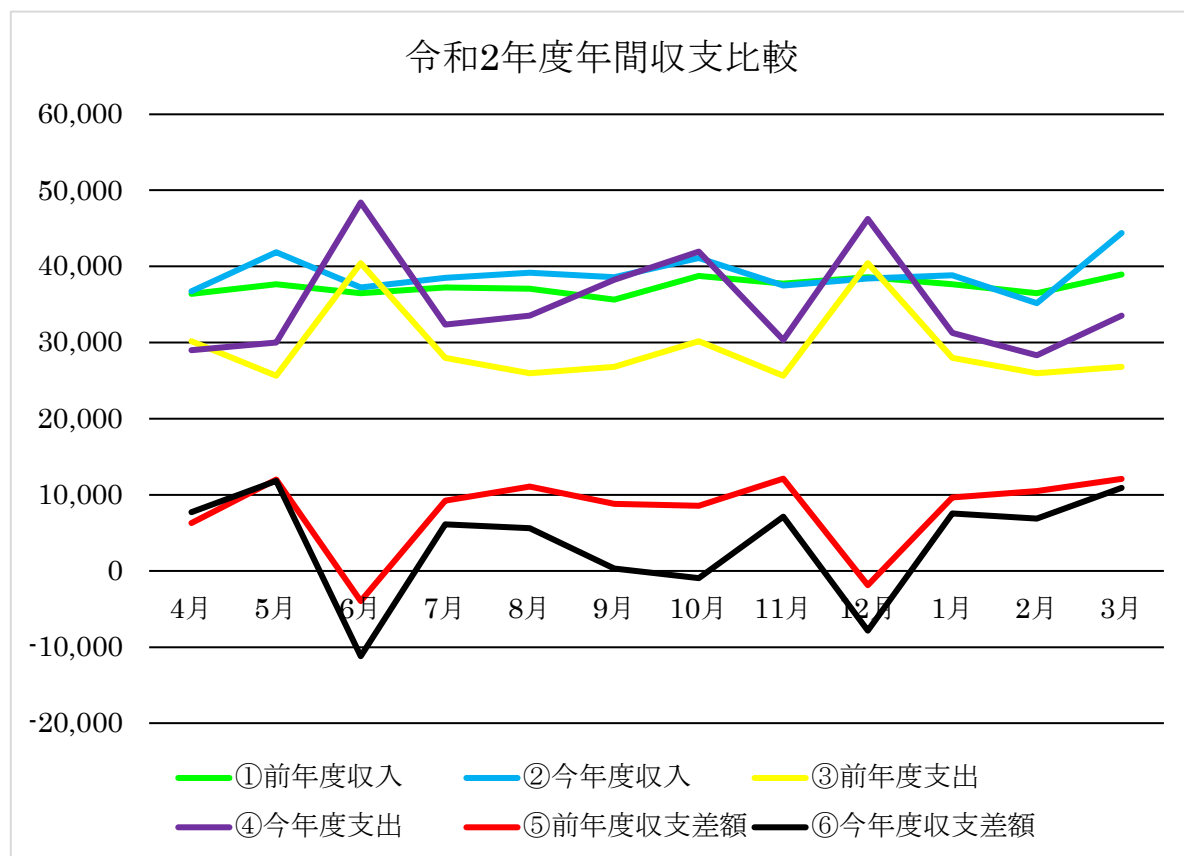
収入としては、104%増となったが、コロナによる消耗物品の増加に伴い支出増となった。収益比は、47%にとどまったが、未収金扱いとなっている ICT 導入の助成金や衛生材料の貯蔵品への登録変更等による増収が見込まれる。来年度未算定の加算について必要な人員配置を整え、今後予定される、外壁工事や増額していく技能実習生等の人件費や退職金掛金が補填できるよう努めたい。



## 1. 年間収支比較

(単位:千円)

|          | 4 月    | 5 月    | 6 月     | 7 月    | 8 月    | 9 月    | 合計      | 比率      |
|----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| ①前年度収入   | 36,439 | 37,631 | 36,483  | 37,278 | 37,062 | 35,651 | 220,544 | —       |
| ②今年度収入   | 36,723 | 41,886 | 37,209  | 38,503 | 39,166 | 38,613 | 232,100 | 105.24% |
| ③前年度支出   | 30,172 | 25,650 | 40,447  | 28,029 | 25,974 | 26,856 | 177,128 | —       |
| ④今年度支出   | 29,009 | 30,054 | 48,412  | 32,386 | 33,540 | 38,286 | 211,687 | 119.51% |
| ⑤前年度収支差額 | 6,267  | 11,981 | -3,964  | 9,249  | 11,088 | 8,795  | 43,416  | —       |
| ⑥今年度収支差額 | 7,714  | 11,832 | -11,203 | 6,117  | 5,626  | 327    | 20,413  | 47.02%  |
|          | 10 月   | 11 月   | 12 月    | 1 月    | 2 月    | 3 月    | 合計      | 比率      |
| ①前年度収入   | 38,753 | 37,777 | 38,560  | 37,705 | 36,469 | 38,957 | 448,765 | —       |
| ②今年度収入   | 41,081 | 37,464 | 38,390  | 38,852 | 35,182 | 44,407 | 467,476 | 104.17% |
| ③前年度支出   | 30,172 | 25,650 | 40,447  | 28,029 | 25,974 | 26,856 | 354,256 | —       |
| ④今年度支出   | 41,989 | 30,373 | 46,272  | 31,295 | 28,336 | 33,511 | 423,463 | 119.54% |
| ⑤前年度収支差額 | 8,581  | 12,127 | -1,887  | 9,676  | 10,495 | 12,101 | 94,509  | —       |
| ⑥今年度収支差額 | -908   | 7,091  | -7,882  | 7,557  | 6,846  | 10,896 | 44,013  | 46.57%  |



## 2. 利用者数

(単位:人)

|      | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 前年度  | 2,936 | 3,038 | 2,927 | 2,998 | 2,983 | 2,872 | 17,754 |
| 今年度  | 2,897 | 3,041 | 2,944 | 3,101 | 3,082 | 2,954 | 18,019 |
| 前年度差 | -39   | 3     | 17    | 103   | 99    | 82    | 265    |
|      | 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     |
| 前年度  | 3,056 | 2,987 | 3,038 | 2,995 | 2,857 | 3,052 | 35,739 |
| 今年度  | 3,072 | 2,957 | 3,004 | 2,997 | 2,709 | 3,036 | 35,794 |
| 前年度差 | 16    | -30   | -34   | 2     | -148  | -16   | 55     |

## 3. 稼働率

(単位:%)

|     | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  | 小計   |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 前年度 | 97.9 | 98.0 | 97.6 | 96.7 | 96.2 | 95.7 | 97.0 |
| 今年度 | 96.6 | 98.1 | 98.1 | 98.1 | 99.4 | 98.5 | 98.1 |
|     | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月  | 2 月  | 3 月  | 合計   |
| 前年度 | 98.6 | 99.6 | 98.0 | 96.6 | 98.5 | 98.5 | 97.7 |
| 今年度 | 99.1 | 98.6 | 96.9 | 96.7 | 96.8 | 97.9 | 97.9 |

## 4. 入院日数

(単位:日)

|      | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計   |
|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|
| 前年度  | 99   | 99   | 107  | 124 | 101 | 134 | 664  |
| 今年度  | 66   | 37   | 48   | 51  | 18  | 52  | 272  |
| 前年度差 | -33  | -62  | -59  | -73 | -83 | -82 | -392 |
|      | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計   |
| 前年度  | 38   | 0    | 64   | 99  | 26  | 20  | 911  |
| 今年度  | 58   | 56   | 96   | 99  | 78  | 51  | 710  |
| 前年度差 | 20   | 56   | 32   | 0   | 52  | 31  | -201 |

## 5. 特養空床数

(単位:床)

|      | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計   |
|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|
| 前年度  | 65   | 53   | 62   | 91  | 86  | 86  | 443  |
| 今年度  | 103  | 59   | 56   | 51  | 18  | 46  | 333  |
| 前年度差 | 38   | 6    | -6   | -40 | -68 | -40 | -110 |
|      | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計   |
| 前年度  | 39   | 3    | 55   | 91  | 45  | 52  | 728  |
| 今年度  | 28   | 43   | 96   | 103 | 91  | 64  | 758  |
| 前年度差 | -11  | 40   | 41   | 12  | 46  | 12  | 30   |

## 6. 事故分類別発生数 (単位:件)

|     | A | B | C   | 合計  |
|-----|---|---|-----|-----|
| 今年度 | 3 | 5 | 191 | 199 |

A:入院加療を要する事故 B:受診・通院を要する事故 C:受診・通院を要さない事故

A ランク内容:右大腿骨転子部骨折・・・2 件、腰椎圧迫骨折

## 7. 退所者数

(単位:人)

|       | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|----|
| 看取り介護 | 2    | 3    | 0    | 1   | 1   | 1   | 8  |
| 病院    | 1    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 1  |
| 急死    | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0  |
| その他   | 1    | 0    | 0    | 1   | 0   | 0   | 2  |
| 合計    | 4    | 3    | 0    | 2   | 1   | 1   | 11 |
|       | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
| 看取り介護 | 0    | 2    | 0    | 1   | 0   | 4   | 15 |
| 病院    | 0    | 2    | 0    | 2   | 0   | 0   | 5  |
| 急死    | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0  |
| その他   | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 2  |
| 合計    | 0    | 4    | 0    | 3   | 0   | 4   | 22 |

# サンライフ御立ショートステイ

## 令和2年度 事業報告書

本年度ささゆり会経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」を基盤に、「ここに来たら楽しい」「安心して預けられる」と思ってもらえるショートステイとなるよう一日の過ごし方、四季を通して楽しめる企画作り、細やかなケアに力を入れ取り組んだ。しかし、コロナ禍にあって、利用控えやキャンセル、新規利用者の獲得に苦戦し、大きく稼働を落とすことになってしまった。

1. ショートステイは暇だから行きたくない、することがないから帰りたいといったマイナスのイメージを払拭し、「ここに来たら楽しい」と満足された一日の後に安心して泊まることが出来るよう力をいれる。

- ・ 午後からのレクリエーションに加え、午前中の時間帯に個々でできる塗り絵やパズルといったレクリエーションの提供に力を入れた。入所チェックや利用者対応などの業務に追われ、実施ができないこともあったが、職員の意識は根付いてきたと感じる。
- ・ おやつレクや季節のイベントなどはきっちりと行い、写真を貼りだしたり持ち帰ってもらったりと喜んでいただくことが出来た。
- ・ 月1回のフロア会議を確実に実施することで情報共有し、統一したケアを提供できるように努めることができた。
- ・ 1年を通して、家族様との面会はほぼ出来ない状態であったため、近況報告の手紙を出すことによって施設内の様子を伝え、安心して頂くように努めた。

### 2. 人材育成

社内研修については、なかなか実施することが出来ず研修部門を活かすことができなかった。部署内では、電話対応、緊急時対応などフロア会議で振り返る機会を持つことが出来た。

### 3. 事故防止の取り組みを継続していく

ヒヤリハットを1日5件提出し、事故の発生を防ぐようにすることと、注意喚起のポスターの掲示を継続しておこなった。フロアを無人にしないように声掛けを徹底するなどしているが、同じ利用者様で対策困難な転倒が続くことも多くあり、結果として前年度よりも2件増加することとなった。

### 4. 感染症対策について

新型コロナ感染防止対策として、送迎時の体調確認と体温チェック、飛沫防止パネルの設置、手洗いや手指消毒の徹底や換気等おこなった。万一感染者が出た際に拡がらないように特養フロアとの往来も無くしている。

## 5. 収入の確保について

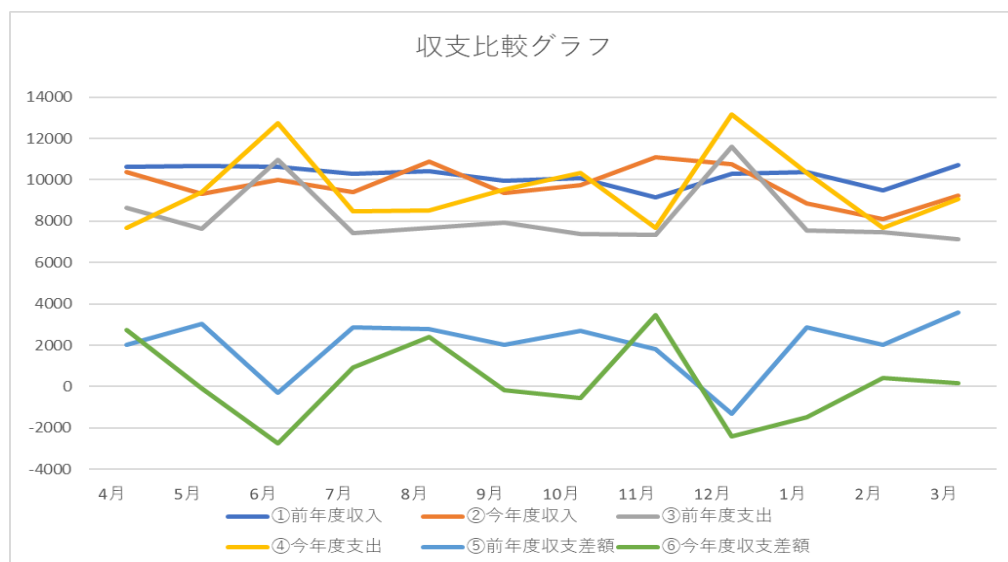
新型コロナウイルスの流行によって、利用控えやキャンセルが相次ぎ、上半期は病院等の面談もおこなえず新規の獲得が停滞した。下半期にも大きく稼働を落としたが、最も大きな理由として、ロングの方が特養入所したあとの次のロングの確保に苦戦し、空床を長く続けることとなってしまった。収入が約 530 万円減収となった（補助金を足すと約 380 万円の減収）のと反対に、経年劣化の送迎車の購入、ナースコールの交換、LAN 設備、見守り機器の導入や防犯カメラ、保険などで例年よりも支出が約 1370 万円増えたことで全体として大きなマイナスとなってしまった。

デイサービスと共にパンフレットを送付したり、空床についてロングも含めて各居宅に FAX で発信したりしているが、これらに加え居宅を訪問し営業活動もおこない新規利用者様の獲得に努めていきたい。同時に、特養の入所希望者を増やすよう、各主任、相談員と協力していきたい。

## 年間収支比較

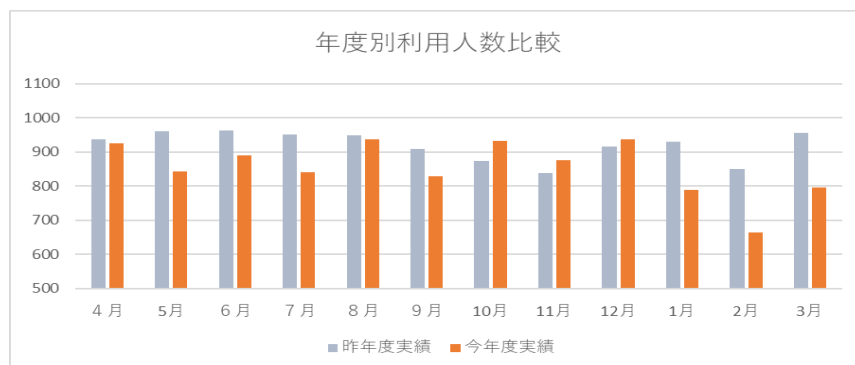
単位：千円

|          | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 小計      | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ①前年度収入   | 10,638 | 10,667 | 10,645 | 10,282 | 10,431 | 9,962  | 62,625  |       |
| ②今年度収入   | 10,386 | 9,302  | 9,978  | 9,395  | 10,897 | 9,380  | 59,338  | 94.7  |
| ③前年度支出   | 8,633  | 7,613  | 10,958 | 7,425  | 7,669  | 7,925  | 50,223  |       |
| ④今年度支出   | 7,655  | 9,409  | 12,741 | 8,461  | 8,513  | 9,544  | 56,323  | 112.1 |
| ⑤前年度収支差額 | 2,005  | 3,054  | -313   | 2,857  | 2,762  | 2,037  | 12,402  |       |
| ⑥今年度収支差額 | 2,731  | -107   | -2,763 | 934    | 2,384  | -164   | 3,015   | 24.3  |
|          | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 合計      | 比率    |
| ①前年度収入   | 10,068 | 9,161  | 10,279 | 10,388 | 9,482  | 10,729 | 122,732 |       |
| ②今年度収入   | 9,759  | 11,110 | 10,763 | 8,859  | 8,079  | 9,235  | 117,143 | 95.4  |
| ③前年度支出   | 7,379  | 7,344  | 11,601 | 7,531  | 7,449  | 7,146  | 98,673  |       |
| ④今年度支出   | 10,326 | 7,664  | 13,164 | 10,326 | 7,655  | 9,049  | 114,507 | 116   |
| ⑤前年度収支差額 | 2,689  | 1,817  | -1,322 | 2,857  | 2,033  | 3,583  | 24,059  |       |
| ⑥今年度収支差額 | -567   | 3,446  | -2,401 | -1,467 | 424    | 186    | 2,636   | 10.9  |



## 年度別利用人数比較

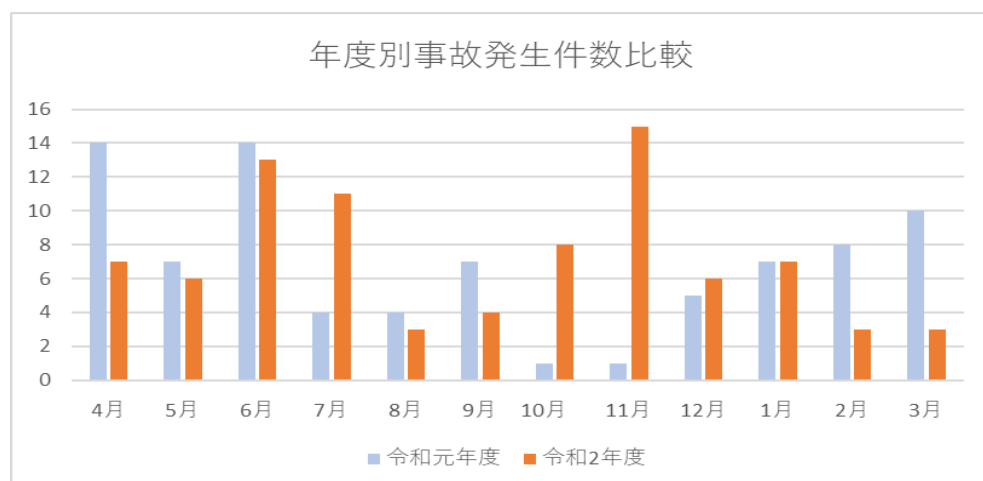
|       | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 昨年度実績 | 938  | 960  | 962  | 951 | 948 | 909 | 5668  |
| 今年度実績 | 924  | 842  | 890  | 841 | 937 | 829 | 5263  |
|       | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計    |
| 昨年度実績 | 873  | 837  | 916  | 930 | 851 | 956 | 11031 |
| 今年度実績 | 933  | 876  | 936  | 789 | 665 | 796 | 10258 |



## 年度別事故発生比較

|         | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|----|
| 令和元年度   | 14   | 7    | 14   | 4   | 4   | 7   | 50 |
| 令和 2 年度 | 7    | 6    | 13   | 11  | 3   | 4   | 44 |
|         | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
| 令和元年度   | 1    | 1    | 5    | 7   | 8   | 10  | 82 |
| 令和 2 年度 | 8    | 15   | 6    | 7   | 3   | 3   | 86 |

うち、A入院に至る事故…なし B受診、加療を要する事故 2 件



# 特別養護老人ホームサンライフ御立（医務）

## 令和 2 年度 年間事業報告書

### 1. 他職種との協働と連携

#### I. 多職種との連携

今年度経営スローガンの一部である「助け合って」を反映すべく、フロアの見守りや食事・特浴着脱介助などを介護職員と日常的に協働した。

また、入所契約時に看護師も同席し意向確認をより詳しく行うことで、入所後体調変化の際にスムーズに対応できるようになった。今後の課題として、入所後長期間意向確認の更新が行われていない利用者も数多くいるため、ケアプラン更新のタイミングなどで意向の取り直しや書類の更新を進めていきたい。

#### II. 事故防止策

海外職員の割合が増加していることもあり、医務からの伝達や指示、申し送り内容を専用の用紙に記載して班に配布、掲示した。今までの口頭のみでの伝達と比べると忘れられることや誤認識が減少し、結果的に海外職員に限らず効果的であった。

また、今年度では誤薬事故の報告が多かったことを受け、介護職と共に内服マニュアルを作成した。介入前後で平均月間服薬事故件数 1.7 件が 1.3 件に減少した。

### 2. 職員・利用者様の健康増進

#### I. 職員の健康管理

職員の健康診断を姫路医師会協力のもと 11/19（木）に実施した。今年度は時間帯を区切って各時間帯で人数制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症のクラスターを予防しながら行う運びとなった。

腰痛検査や健康診断にて異常所見のある職員に対しては、個々に通達を行い生活習慣病や腰痛など職業病への認識を深め、安全な就労へ繋がるよう啓発を行った。また、人間ドッグ助成に該当する職員 1 人 1 人に健診を勧める声掛けを行ったことで参加数が増加した（6 名→13 名）。

また、医務室職員の有給消化の漏れがないよう、年次有給休暇の残数を医務室内に掲示。その結果、全員が計画的に有給取得 5 日以上消化ができています。

#### II. 利用者の健康管理

大西メディカルクリニックと連携し、利用者様の健康診断を 8 月 27 日、9 月 10 日に

実施した。

今年度の平均ベッド稼働率は97.9%、入院件数は26件（表1）。入院理由の内、肺炎および誤嚥性肺炎によるものは半数近くの12件に及んだ。誤嚥性肺炎の主な原因である嚥下機能の低下は加齢により不可逆的に進行していく。利用者の高齢化・介護度平均4.02を鑑みると多少は避けられないものと考えるが、毎食後の口腔ケア、座位・臥床姿勢の指導などをOTや歯科衛生士と共に取り組んでいる為、長期的に効果を判断し、可能な限り予防に向けて働きかけていきたい。

受診件数では344件（表2）と昨年の286件から増加、H30年度の112件から3年連続で大幅に増加している。今年度は上半期の疥癬感染に伴う皮膚科受診数の増加が要因の1つに挙げられるが、入院数の削減を目指すためにも継続して早期対応、早期受診に努めていきたい。

しかし、今年度は新型コロナウイルスの流行によって、熱発者の受診では病院から断られる事が多く、また受け入れ可能となった場合でもPCR検査待ちの為に受診が長時間となり、看護師の業務時間の圧迫に繋がった。ワクチン普及後、病院の対応がどう変化していくかは不明であるが、今後も受診数が増加していくのであれば受診方法について検討する必要があると考える。

### Ⅲ. 看取り介護対応

今年度看取り介護対応者は14名であった。コロナ禍であったが、ターミナル期では本部長に許可を得た上で個室対応にて面会を実施し、家族様からは感謝の言葉を数多くいただくことができた。ベッド稼働率の維持を図る為にも、家族様へ看取り対応の有意性を説明し、今後も可能な限り施設での看取り対応を勧めていきたい。

## 3. 感染予防

### Ⅰ. インフルエンザ

11月以降に職員、利用者のインフルエンザ予防接種を順次実施した。今年度は面会制限や1人1人の感染予防に対する意識向上の効果もあり、職員、利用者共に1人も罹患患者はいなかった。

### Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症

本部長の指示のもと感染対策物品の管理や適宜発注を行い、施設単位ではなく法人単位で迅速に対応できるよう努めた。

また、連日市内でも感染者が発生し、定期的に非常事態宣言を受けている現状を踏まえ、感染対策の基本となる「手洗い・消毒・マスク・換気」の必要性を呼び掛け、施設内で感染者が発生した場合の取り決めを作成した。



### Ⅲ. その他感染症

今年度上半期においても疥癬感染が終息せず7名の感染者が確認され、適宜フロアや居室の清掃、更衣や入浴を実施した。皮膚科受診も必要回数重ねた結果、下半期では新たな感染者無し。

表1 入院件数

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 入院件数 | 1  | 0  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1   | 4   | 3   | 2  | 7  | 1  | 26 |
| 骨折件数 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 0  | 1  | 0  | 4  |

表2 受診件数

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 内科   | 1  | 1  | 15 | 4  | 10 | 5  | 5   | 6   | 10  | 7  | 9  | 2  | 75  |
| 外科   | 0  | 0  | 0  | 2  | 8  | 1  | 2   | 4   | 2   | 0  | 2  | 6  | 27  |
| 整形外科 | 0  | 4  | 4  | 0  | 2  | 0  | 2   | 3   | 7   | 3  | 4  | 1  | 30  |
| 泌尿器科 | 4  | 2  | 5  | 3  | 3  | 2  | 3   | 7   | 2   | 3  | 2  | 3  | 39  |
| 眼科   | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 1  | 2   | 0   | 1   | 2  | 1  | 1  | 10  |
| 皮膚科  | 12 | 25 | 15 | 20 | 9  | 11 | 12  | 10  | 7   | 5  | 3  | 5  | 134 |
| その他  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  | 2  | 7   | 4   | 2   | 1  | 3  | 2  | 29  |
| 小計   | 19 | 35 | 42 | 30 | 33 | 22 | 33  | 34  | 31  | 21 | 24 | 20 | 344 |

## 特別養護老人ホームサンライフ御立(厨房)

### 令和2年度 事業報告書

厨房の職員は4月に3名入社・異動してきたが、翌年3月現在で3名退職・異動となり、定着には至らなかった。現在一部の時間帯・業務で不足している状態が続いている。また、欠員により1人当たりの仕事の負荷が増えたため、作業効率の改良・作業工程の予定を職員同士で確認しあった。

在籍している職員の定着・育成、さらなる人員の確保に努めつつ業務マニュアルの徹底に取り組んだ。

#### 1 人材の定着・育成

厨房の職員は4月に3名入社・異動してきたが、翌年3月現在で3名退職・異動となり、定着には至らなかった。時間外労働の削減のために作業効率を見直し人員不足のカバーに努めた。また引き継ぎ時間の短縮、時間外労働の削減につなげるために、それぞれの勤務時間の業務マニュアルの作成・周知を行い欠員が出ても時間通り食事を提供することができた。

#### 2 食事サービスの充実

調理技術・個人差は安定してきて、個人差は少なくなっている。  
調理工程の多いメニューや新規商品を取り入れ、メニューの幅を広げていくように考慮した。また、調理員と献立について話す機会を増やし、食材量や商品の検討することも増えた。前年度に比べて、調理のものと連携して献立を立て食事を提供するようにできた。

#### 3 衛生管理

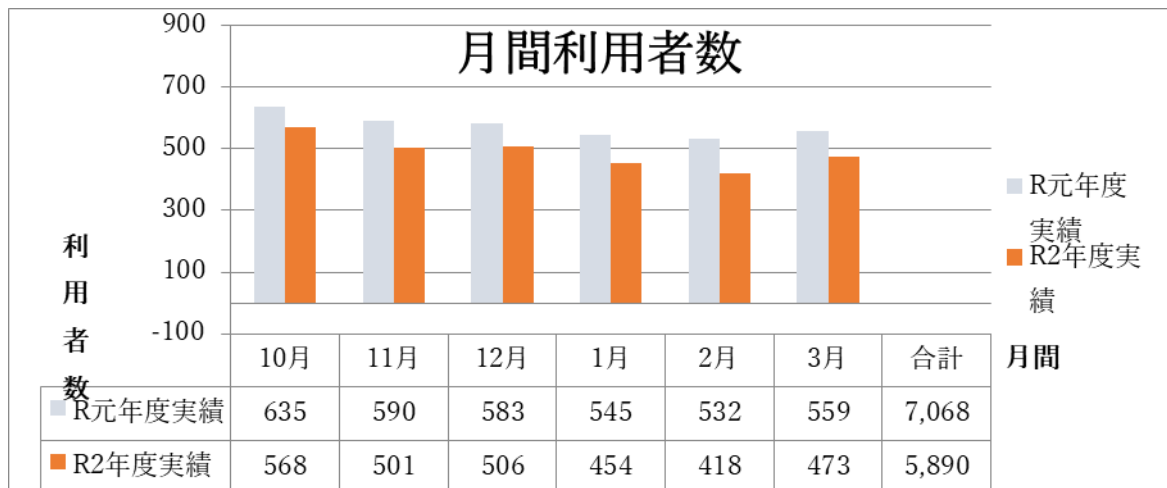
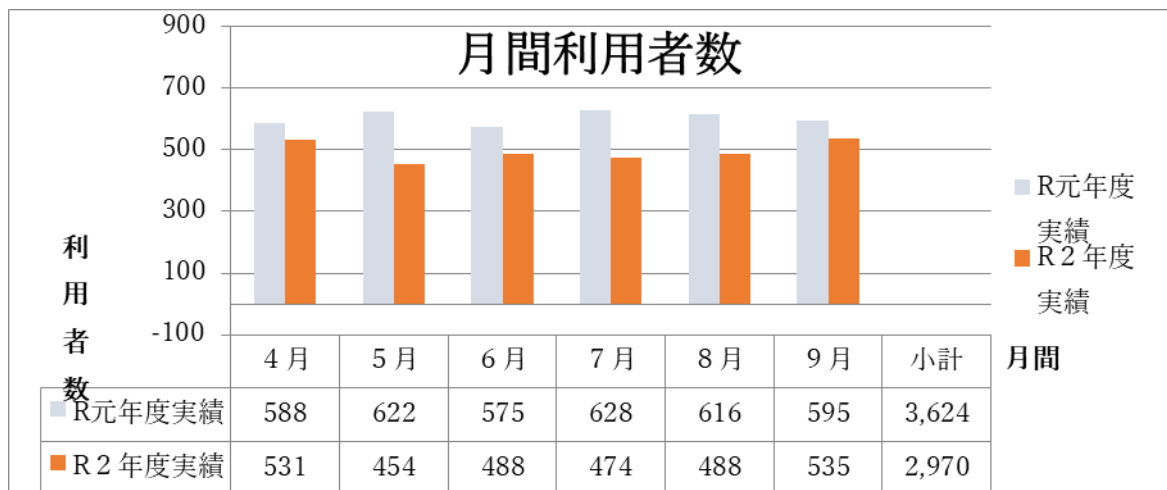
前年度の課題として異物混入の防止を掲げていた。異物混入について報告は以前より減少した。しかし、厨房内で害虫が見られることが多くなったため早急な害虫駆除・厨房工事を行った。その結果害虫を見るのが少なくなった。また、異物混入防止のために、①備品などの位置変更、②盛り付け時に異物の混入がないか確認を行った。また衛生管理マニュアルに沿って、現在の衛生状態の見直し、周知を職員に徹底させた。

# デイサービスセンターサンライフ御立

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度は営業に力を入れ新規利用者獲得を目指すとともに満足いただけるサービスを新たに実施していける環境を整えたいと考えていたが、コロナウイルス感染拡大により営業活動が思うように行えず、感染拡大防止のため利用者が楽しみにしていたレクリエーションなどが中止になるなど計画通りの実施はできなかった。収入面に関しては新規利用者が増えず、また現在利用している利用者が重度が多く入院やロングショート利用による終了が相次ぎ前年度より利用者数、収入ともに大きく減少した。感染予防のため対策を行いコロナウイルス感染者は出なかったが、それに伴う職員の負担は増えており早急に入浴介助の職員を補う必要があったがコロナ過により募集もなく採用に至らなかった。

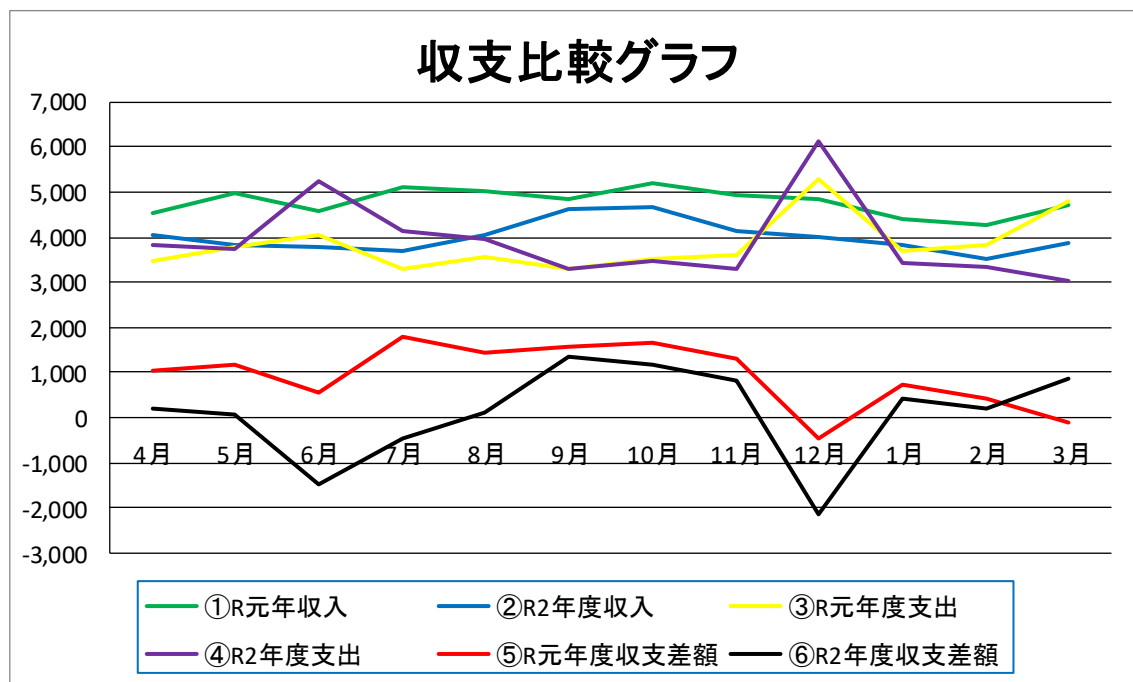
### 1. 利用者数



## 2. 年間収支比較

(千円)

|              | 4 月   | 5 月   | 6 月    | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率    |
|--------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ① R 元年度収入    | 4,522 | 4,979 | 4,581  | 5,103 | 5,016 | 4,859 | 29,060 | —     |
| ② R 2 年度収入   | 4,045 | 3,806 | 3,780  | 3,713 | 4,038 | 4,640 | 24,022 | 82.7  |
| ③ R 元年度支出    | 3,482 | 3,800 | 4,046  | 3,305 | 3,569 | 3,291 | 21,493 | —     |
| ④ R 2 年度支出   | 3,822 | 3,741 | 5,248  | 4,154 | 3,939 | 3,298 | 24,202 | 112.6 |
| ⑤ R 元年度収支差額  | 1,040 | 1,179 | 535    | 1,798 | 1,447 | 1,568 | 7,567  | —     |
| ⑥ R 2 年度収支差額 | 223   | 65    | -1,468 | -441  | 99    | 1,342 | -180   | -2.4  |
|              | 10 月  | 11 月  | 12 月   | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率    |
| ① R 元年度収入    | 5,185 | 4,920 | 4,840  | 4,420 | 4,249 | 4,688 | 57,362 | —     |
| ② R 2 年度収入   | 4,657 | 4,149 | 4,002  | 3,839 | 3,530 | 3,870 | 48,069 | 83.8  |
| ③ R 元年度支出    | 3,530 | 3,619 | 5,287  | 3,695 | 3,804 | 4,792 | 46,220 | —     |
| ④ R 2 年度支出   | 3,460 | 3,305 | 6,128  | 3,415 | 3,320 | 3,022 | 46,852 | 101.4 |
| ⑤ R 元年度収支差額  | 1,655 | 1,301 | -447   | 725   | 445   | -104  | 9,652  | —     |
| ⑥ R 2 年度収支差額 | 1,197 | 844   | -2,126 | 424   | 210   | 848   | 1,217  | 12.6  |



### 3. 介護度別平均年齢及び利用者数

|       | 4 月          | 5 月          | 6 月          | 7 月          | 8 月          | 9 月          | 10月          | 11月          | 12月          | 1 月          | 2 月          | 3 月          | 合計            |
|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 事業対象者 | 91.2<br>(1)  | 91.3<br>(1)  | 91.3<br>(1)  | 91.4<br>(1)  | 91.5<br>(1)  | 91.6<br>(1)  | 91.7<br>(1)  | 91.8<br>(1)  | 91.8<br>(1)  | 91.9<br>(1)  | 92.0<br>(1)  | 92.1<br>(1)  | 91.6<br>(12)  |
| 要支援1  | 90.9<br>(3)  | 91.0<br>(3)  | 88.0<br>(3)  | 88.1<br>(3)  | 88.2<br>(3)  | 84.3<br>(3)  | 83.3<br>(3)  | 88.4<br>(3)  | 88.5<br>(3)  | 85.7<br>(3)  | 87.9<br>(2)  | 85.9<br>(2)  | 87.4<br>(34)  |
| 要支援2  | 88.5<br>(9)  | 88.6<br>(10) | 88.0<br>(10) | 88.8<br>(8)  | 88.9<br>(8)  | 88.9<br>(8)  | 89.0<br>(8)  | 89.1<br>(8)  | 88.9<br>(8)  | 88.5<br>(7)  | 88.0<br>(7)  | 88.1<br>(8)  | 88.6<br>(99)  |
| 要介護1  | 84.5<br>(13) | 85.1<br>(13) | 85.3<br>(13) | 84.9<br>(16) | 84.1<br>(16) | 85.0<br>(16) | 85.2<br>(16) | 85.2<br>(16) | 85.0<br>(16) | 86.2<br>(17) | 87.7<br>(17) | 87.2<br>(17) | 85.4<br>(186) |
| 要介護2  | 86.3<br>(9)  | 87.2<br>(9)  | 87.9<br>(9)  | 84.7<br>(10) | 86.2<br>(9)  | 82.9<br>(9)  | 88.3<br>(9)  | 88.4<br>(9)  | 88.4<br>(9)  | 87.6<br>(9)  | 88.0<br>(9)  | 88.4<br>(9)  | 87.1<br>(109) |
| 要介護3  | 82.0<br>(8)  | 82.6<br>(8)  | 81.4<br>(8)  | 82.5<br>(8)  | 82.9<br>(8)  | 82.2<br>(8)  | 82.3<br>(8)  | 82.6<br>(8)  | 82.6<br>(9)  | 83.6<br>(9)  | 85.6<br>(7)  | 85.6<br>(7)  | 82.8<br>(96)  |
| 要介護4  | 89.3<br>(2)  | 85.4<br>(2)  | 85.5<br>(2)  | 88.6<br>(2)  | 84.6<br>(3)  | 84.7<br>(3)  | 84.8<br>(3)  | 84.9<br>(3)  | 84.9<br>(3)  | 85.0<br>(3)  | 81.8<br>(5)  | 81.9<br>(5)  | 84.5<br>(36)  |
| 要介護5  | 87.3<br>(1)  | 87.3<br>(1)  | 87.4<br>(1)  | 82.9<br>(1)  | 86.7<br>(1)  | 85.3<br>(1)  | 85.4<br>(1)  | 81.4<br>(1)  | 85.2<br>(1)  | 81.3<br>(1)  | 81.4<br>(2)  | 81.5<br>(2)  | 84.8<br>(14)  |
| 合計    | 85.7<br>(46) | 86.1<br>(47) | 85.7<br>(47) | 85.2<br>(49) | 85.4<br>(49) | 85.0<br>(49) | 85.7<br>(49) | 85.2<br>(49) | 85.9<br>(50) | 86.2<br>(50) | 86.9<br>(50) | 86.7<br>(51) | 85.8<br>(586) |

上段の数字は平均年齢、( ) 内の数字は実利用者人数を示しています。

### 4.職員充足度（R3年3月現在）

職員 14 名（正職員 2 名 非常勤看護師 2 名 非常勤介護職員 11 名）

個別機能指導員（看護師）1 名含まない

|      | 営業<br>日数 | 利用者/<br>月 | 職員総時間数/<br>月 | 利用者/<br>日 | 職員/日 | 職員一人<br>対 | 職員/<br>日 | 職員一人対 |
|------|----------|-----------|--------------|-----------|------|-----------|----------|-------|
| 4 月  | 26       | 531       | 1570.5       | 20.4      | 9.3  | 2.2       | 8.3      | 2.5   |
| 5 月  | 26       | 454       | 1523         | 17.4      | 9    | 2         | 8        | 2.2   |
| 6 月  | 26       | 488       | 1733         | 18.8      | 10.3 | 1.8       | 9.3      | 2     |
| 7 月  | 26       | 474       | 1551         | 18.4      | 9.2  | 2         | 8.2      | 2.2   |
| 8 月  | 26       | 488       | 1491         | 18.8      | 8.9  | 2.1       | 7.9      | 2.4   |
| 9 月  | 26       | 535       | 1379         | 20.6      | 8.2  | 2.5       | 7.2      | 2.9   |
| 10 月 | 27       | 568       | 1371         | 21.1      | 8.2  | 2.6       | 7.2      | 2.9   |
| 11 月 | 25       | 501       | 1288         | 20.0      | 7.7  | 2.6       | 6.6      | 3.0   |
| 12 月 | 27       | 506       | 1353         | 18.8      | 8.1  | 2.3       | 7.1      | 2.6   |
| 1 月  | 24       | 454       | 1205.5       | 18.9      | 7.2  | 2.6       | 6.2      | 3.0   |
| 2 月  | 24       | 418       | 1243.5       | 17.4      | 7.4  | 2.4       | 6.4      | 2.7   |
| 3 月  | 27       | 473       | 1326         | 17.5      | 7.9  | 2.2       | 6.9      | 2.5   |

# ケアハウスサンライフ御立

## 令和 2 年度 事業報告書

今年度のスローガンとして「元気に老いるために何をすべきか」を掲げスタートしたが、残念ながら常に新型コロナウイルス感染予防対策で推移した。

### 1. コロナ禍においての一年間の推移

令和 2 年 1 月に厚労省が国内初の感染者を確認と発表。その後、4/7 緊急事態宣言の発出以降感染予防の為、ケアハウス内での行事等の中止、入居者の不要不急の外出自粛、外出時のマスクの着用、帰園時の手洗い、うがいの徹底及びサーモグラフィでの検温を周知した。又、同月 18 日付身元保証人様宛面会自粛の手紙を送付した。

翌月 21 日、緊急事態宣言の解除にあたり一部の家族様等が入室可となった。6/15～ケアハウス内の行事が一部再開された。

が、7 月後半より第 2 波が現れ 8/1～再び自粛強化となり、行事等の中止。原則家族様等の面会が禁止となった。12/21～入居者及び職員の西側エレベーター使用禁止となった。

11 月に入って急激に上昇した第 3 波、3 月には変異ウイルスの感染者急増で第 4 波の渦中、自粛強化は継続された。しかし入居者のフレイル状態の懸念もありラジオ体操、いきいき百歳体操を通常より規模を縮小し再開した。

### 2. 各種行事・クラブ活動

実施項目一覧

|             |                                        |
|-------------|----------------------------------------|
| 健康チェック      | 4/7～ 中止                                |
| バスハイク、外食の日  | 4/7～ 中止                                |
| 誕生会(年 4 回)  | 4, 7, 10, 1 月に実施 3 密回避の為、居室毎に茶と菓子を提供   |
| ふれあい喫茶      | 誕生会以外の月に実施 3 密回避の為、居室毎に茶と菓子を提供         |
| いきいき百歳体操    | 4/7～中止していたが、3/3～月 1 回で再開               |
| ラジオ体操       | 4/7～中止、6/15～再開、8/1～再び中止、2/23～再開(4 回/週) |
| 新規 カラオケ教室   | 未実施                                    |
| 新規 体操教室     | 未実施 居室で実践できる体操を紙面にて紹介                  |
| フラワーアレンジメント | 4/7～ 中止                                |
| 学習療法        | 持ち帰りの形で継続(週 1 回)                       |
| 手作り教室       | 4/2 実施 それ以降は中止 居室でできるアイデアを紙面にて提供       |

入居者 1 人ひとりが、今現在の身体状況を把握してもらう為「骨密度測定」「フレイルチェック」「口腔内チェック」の定期実施を計画していたが未実施

### 3. 入居者状況

入居者の年齢は、90 才以上が 13 名、全体の 36%を占める。自立をしている入居者

も年毎に減少し、介護保険非認定者が全体の 24.2%になった。その為、生活する上で家族様等、訪問介護のサポートが必要となりコロナ禍においても許可を得て継続実施となった。

介護認定状況 (R3. 3. 31 現在)

単位：人

|     | 自立 | 支援 1 | 支援 2 | 介護 1 | 介護 2 以上 | 合計 |
|-----|----|------|------|------|---------|----|
| 5 階 | 3  | 1    | 4    | 4    | 3       | 15 |
| 6 階 | 5  | 2    | 3    | 4    | 4       | 18 |
| 合計  | 8  | 3    | 7    | 8    | 7       | 33 |

サービス利用状況 (R3. 3. 31 現在)

単位：人

|     | ヘルパー | 訪問看護 | ディサービス | 訪問リハビリ | 福祉用具貸与 |
|-----|------|------|--------|--------|--------|
| 5 階 | 10   | 2    | 9      | 1      | 8      |
| 6 階 | 8    | 1    | 7      | 1      | 10     |
| 合計  | 18   | 3    | 16     | 2      | 18     |

入居者年齢・性別状況 (R3. 3. 31 現在)

単位：人

|    | ～69 才 | ～74 才 | ～79 才 | ～89 才 | ～99 才 | 合計 | 平均年齢   |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|----|--------|
| 男性 | 2     | 0     | 2     | 3     | 2     | 9  | 79.6 才 |
| 女性 | 1     | 2     | 0     | 10    | 11    | 24 | 90.4 才 |
| 合計 | 3     | 2     | 2     | 13    | 13    | 33 | 87.4 才 |

最高年齢：96 才(女性)

最低年齢：63 才(男性)

#### 4. 空室ゼロの対策

入居者数は、5 月及び 8～11 月に満室となった。

情報誌「リビング姫路」に 1 月に入居者募集を掲載した。コロナ禍において見学者の対応は 1 階ホールのみとなった。入居に関しての問合せ及び見学は順調だったが、入居に至らないケースもあった。

如何に退去からその後の入居を短期間でやり遂げるかがポイントだったが、やはり退去者の荷物の搬出、リフォームに時間を要した。

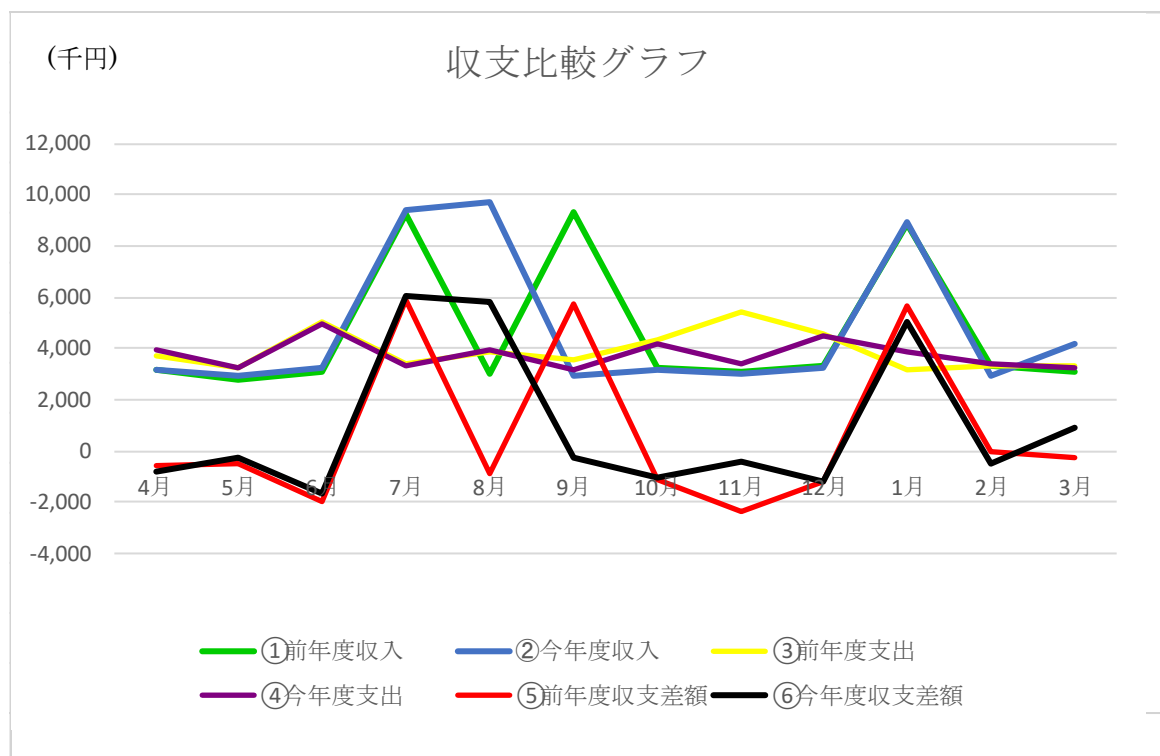
## 年間収支比較

(千円)

|          | 4 月   | 5 月   | 6 月    | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ① 前年度収入  | 3,147 | 2,764 | 3,049  | 9,255 | 2,970 | 9,333 | 30,518 | —     |
| ② 今年度収入  | 3,139 | 2,915 | 3,256  | 9,361 | 9,735 | 2,934 | 31,340 | 102.7 |
| ③ 前年度支出  | 3,725 | 3,237 | 5,023  | 3,404 | 3,891 | 3,568 | 22,848 | —     |
| ④ 今年度支出  | 3,972 | 3,168 | 4,917  | 3,299 | 3,942 | 3,164 | 22,462 | 98.3  |
| ⑤前年度収支差額 | -578  | -473  | -1,974 | 5,851 | -921  | 5,765 | 7,670  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | -833  | -253  | -1,661 | 6,062 | 5,793 | -230  | 8,878  | 115.7 |

|          | 1 0 月  | 1 1 月  | 1 2 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ① 前年度収入  | 3,201  | 3,058  | 3,315  | 8,816 | 3,302 | 3,085 | 55,295 | —     |
| ② 今年度収入  | 3,149  | 2,977  | 3,220  | 8,923 | 2,910 | 4,177 | 56,696 | 102.5 |
| ③ 前年度支出  | 4,306  | 5,401  | 4,525  | 3,157 | 3,342 | 3,342 | 46,921 | —     |
| ④ 今年度支出  | 4,164  | 3,421  | 4,448  | 3,877 | 3,413 | 3,242 | 45,027 | 96.0  |
| ⑤前年度収支差額 | -1,105 | -2,343 | -1,210 | 5,659 | -40   | -257  | 8,374  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | -1,015 | -444   | -1,228 | 5,046 | -503  | 935   | 11,669 | 139.3 |





## ユニット型老人ホームサンライフひろみね 令和2年度 事業報告書

令和2年度ささゆり会経営スローガンである「助け合って目玉事業をきっちりやり遂げる」をもとに管理栄養士を直接配置することで専門職との連携を強化し質の高いケアを提供してきた。新型コロナウイルス感染予防の為外出の機会を設ける事が難しかったが、施設内での余暇活動を充実させることで施設の活性化に努めた。介護講習を実施することで客観的な視点での指導を受けることで介護職員のスキル向上につながった。

### 1. 科学的介護の実践について

- (1) ささゆり会で取り組んでいる日中おむつ外しを継続して取り組むことで、日中おむつ率0%を目指し尿路感染やスキントラブルの防止に努めている。
- (2) スベラカーゼミート、スチームコンベクションの導入、10月から管理栄養士を直接配置することで常食率の向上や嚥下状態の悪い方が安全に口から食べることが継続できるように努めている。
- (3) 統計を出し数値化することによって現在の状態を知り目標との差を知り向上意欲につながっている。
- (4) QCサークル活動による事故の定義を見直し予防対策を実施することで事故件数が減少している。

### 2. 看取り介護について

3月末時点で退所者8名中6名の看取り介護を行った。看取り介護に対する知識やエンゼルケアを施設内研修として行い技術を向上させた。また医療的ケア（喀痰吸引等2号研修）も1名参加し座学のみ修了している状況にある。デスカンファレンスを開催しターミナルケアの振り返りを行うことで今後の支援に繋がっている。

### 3. 職員の労働環境の整備

働きがいのある職場づくりのため、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、職員が将来にわたって能力を発揮しサンライフに貢献できる環境を整えた。

連続リフレッシュ休暇が確実に取得できるように職員の希望聞き計画的に進め、有給休暇も適正に消化できるように配慮したり、過重労働による健康障害を防止するため、時間外労働の減少等労働時間の適正管理の徹底を行った。

前年度は介助中に労災事故が2件あったため介助方法の変更や移乗用補助具を使用することで負担軽減を図り労災事故の予防に努めている。

### 4. 職員教育・組織体制作りにについて

法人の介護技術指導担当者より、介護技術に不安がある者を選定し現場でのマンツーマン指導を含め定期的な指導を実施した。施設内の職員では当たり前となっていること施設外の

職員からの視点で指導を行うことで業務や技術の向上につながった。

外部研修へは新型コロナウイルス感染拡大に伴い、資格取得に必要なものしか参加することが出来なかった。

介護福祉士の取得支援を行うことで2名受験し1名が資格を取得できた。

外国人技能実習生受け入れる環境整備としての為管理者研修を受講するなど体制の構築に努めたが世界情勢の悪化に伴い受け入れには至っていない。

新入職員へ丁寧なマンツーマン指導を行うことで、基本的な介護技術や理念の習得を図ると共に、不安や疑問をすぐに相談できるよう配慮し、安心して意欲的に働ける職場環境作りを行っている。

職員個人の特性や意欲的な思いが活かせるように定期的なユニット会議を開催できている。また、他ユニットとの情報の共有や協力体制を継続するため、リーダー会議を継続できている。

## 5. 地域貢献について

密を避けるため書面を送付することで推進会議の代替を行っている。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域のとの関わりを持つため行事や防災訓練への参加が行えていない。

感染対策を行いながら姫路市医師会看護専門学校の実習を受け入れ地域医療の発展に貢献している。

## 6. 介護統計について

令和2年度介護状況

| 項目        |        | 令和2年3月末状況 | 令和3年3月末目標 |
|-----------|--------|-----------|-----------|
| 日中オムツ使用率  |        | 2名(7%)    | 1名(3%)    |
| 入浴統計      | 特浴     | 2名(7%)    | 3名(10%)   |
|           | リフト付個浴 | 27名(90%)  | 25名(86%)  |
|           | 個浴     | 0名(0%)    | 1名(3%)    |
| 食事形態      | 普通食    | 22名(79%)  | 23名(79%)  |
|           | 刻み食    | 0名        | 1名(3%)    |
|           | 極刻み食   | 3名(11%)   | 3名(10%)   |
|           | ミキサー食  | 2名(7%)    | 2名(7%)    |
|           | 経管栄養   | 0名        | 0名        |
| 褥瘡者       |        | 0名(0%)    | 0名(0%)    |
| 身体拘束      |        | 0名        | 0名        |
| 看取り介護実施 ※ |        | 6名(100%)  | 5名(83%)   |

※看取り介護実施率=看取り介護実施者／全退所者（急死を除く）

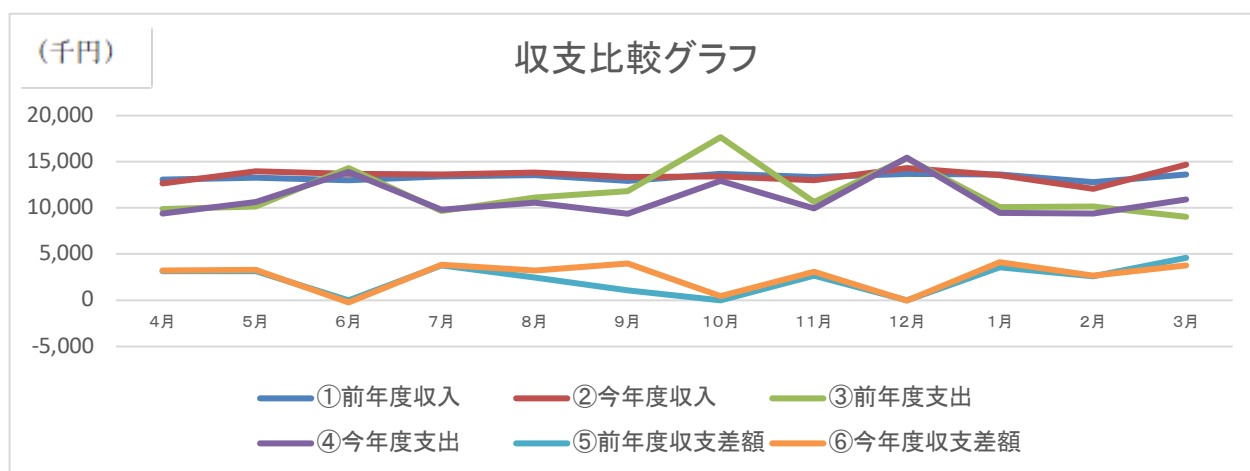
## 7. 事業運営について

99%以上の稼働率を目標としていたが、脳梗塞や転倒骨折による入院やターミナルケア退所者からの新規利用者受け入れに時間がかかり 98.6%となっている。特定職員処遇改善加算が算定できるようになった為、収入は増加しているが、昨年度半期分の支払いを行ったため収支に差は見られていない。本体施設の管理栄養士が不足していた為一時栄養マネジメント加算の算定が出来ていなかったが6月からは再度算定することが出来ている。10月からは管理栄養士を直接配置することで人件費が増加しているが食事や健康管理面では質の向上が見られる。

年間収支比較

(千円)

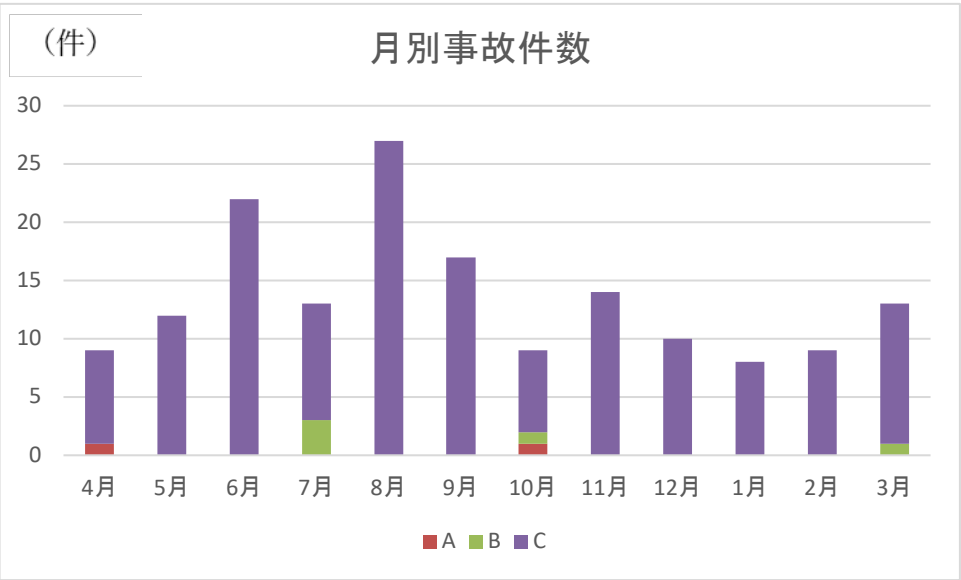
|          | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 小計      | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ①前年度収入   | 13,082 | 13,294 | 12,990 | 13,418 | 13,575 | 12,903 | 79,262  | —     |
| ②今年度収入   | 12,627 | 13,959 | 13,684 | 13,637 | 13,821 | 13,336 | 81,064  | 102.2 |
| ③前年度支出   | 9,912  | 10,165 | 14,343 | 9,667  | 11,123 | 11,847 | 67,057  | —     |
| ④今年度支出   | 9,382  | 10,653 | 13,910 | 9,790  | 10,585 | 9,374  | 63,694  | 94.9  |
| ⑤前年度収支差額 | 3,170  | 3,129  | ▲1,353 | 3,751  | 2,452  | 1,056  | 12,205  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 3,245  | 3,306  | -226   | 3,847  | 3,236  | 3,962  | 17,370  | 142.3 |
|          | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 合計      | 比率    |
| ①前年度収入   | 13,674 | 13,357 | 13,689 | 13,652 | 12,796 | 13,643 | 160,073 | —     |
| ②今年度収入   | 13,399 | 13,018 | 14,295 | 13,571 | 12,073 | 14,691 | 160,999 | 100.5 |
| ③前年度支出   | 17,664 | 10,657 | 15,356 | 10,097 | 10,161 | 9,041  | 140,033 | —     |
| ④今年度支出   | 12,929 | 9,961  | 15,446 | 9,444  | 9,421  | 10,922 | 131,817 | 94.1  |
| ⑤前年度収支差額 | ▲3,990 | 2,700  | ▲1,667 | 3,555  | 2,635  | 4,602  | 20,040  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 470    | 3,057  | ▲1,151 | 4,127  | 2,652  | 3,769  | 29,182  | 145.6 |



事故件数

(単位：件)

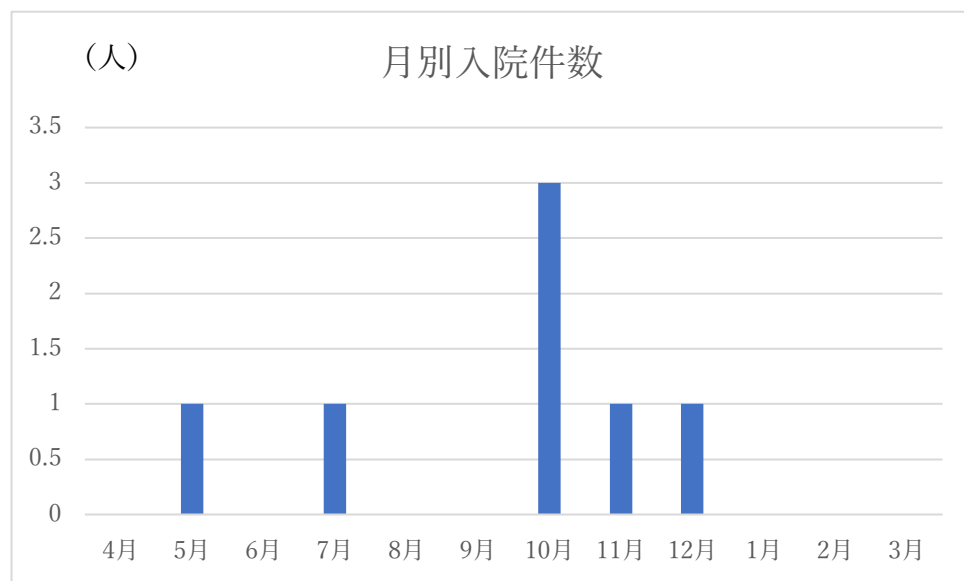
| 月  | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計  |
|----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 総数 | 9    | 12   | 22   | 13  | 27  | 17  | 100 |
| A  | 1    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 1   |
| B  | 0    | 0    | 0    | 3   | 0   | 0   | 3   |
| C  | 8    | 12   | 22   | 10  | 27  | 17  | 96  |
| 月  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |     |
| 総数 | 9    | 14   | 10   | 8   | 9   | 13  | 161 |
| A  | 1    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 1   |
| B  | 1    | 0    | 0    | 0   | 0   | 1   | 3   |
| C  | 7    | 14   | 10   | 8   | 9   | 12  | 157 |



入院者数

(単位：人)

|         | 4 月             | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計 |
|---------|-----------------|------|------|-----|-----|-----|----|
| 令和 2 年度 | 0               | 1    | 0    | 1   | 0   | 0   | 2  |
| 理由      |                 | 骨折   |      | 脳梗塞 |     |     |    |
|         | 10 月            | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
| 令和 2 年度 | 3               | 1    | 1    | 0   | 0   | 0   | 7  |
| 理由      | 肺炎<br>骨折<br>脳梗塞 | 検査   | 検査   |     |     |     |    |



# デイサービスサンライフ田寺

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度は、新型コロナウイルスへの感染予防対策を行うと共に、今までと異なる環境でも利用者様が安全に利用できるように環境整備を行った。

### 1. 感染症対策について

毎朝の検温とマスクの着用、パーティションの設置を行い感染予防に努めた。レクリエーションも緊急事態宣言中の外出を控えたりと特徴を生かせなかったが、新たなサービスの検討を行った。

### 2. 有給の取得と時間外

有給の取得はしっかりと取ることができており、体調不良の職員には積極的に休んでもらうようにして感染予防に努めた。時間外のほとんどが送迎となっており、職員の採用が上手くいかなかった。

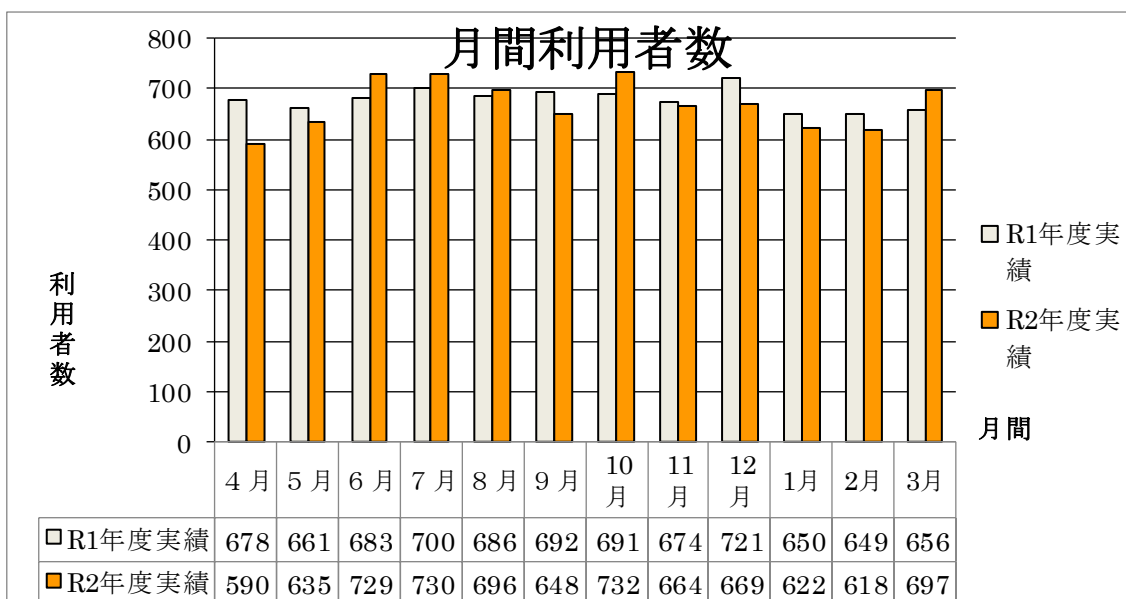
### 3. ふれあいレストランレストランテヴォーノ田寺

新型コロナウイルスの影響により開催はバラバラであったが、クリスマス会ではお弁当の持ち帰りを行うなど感染予防対策を徹底して行った。

### 4. 収支について

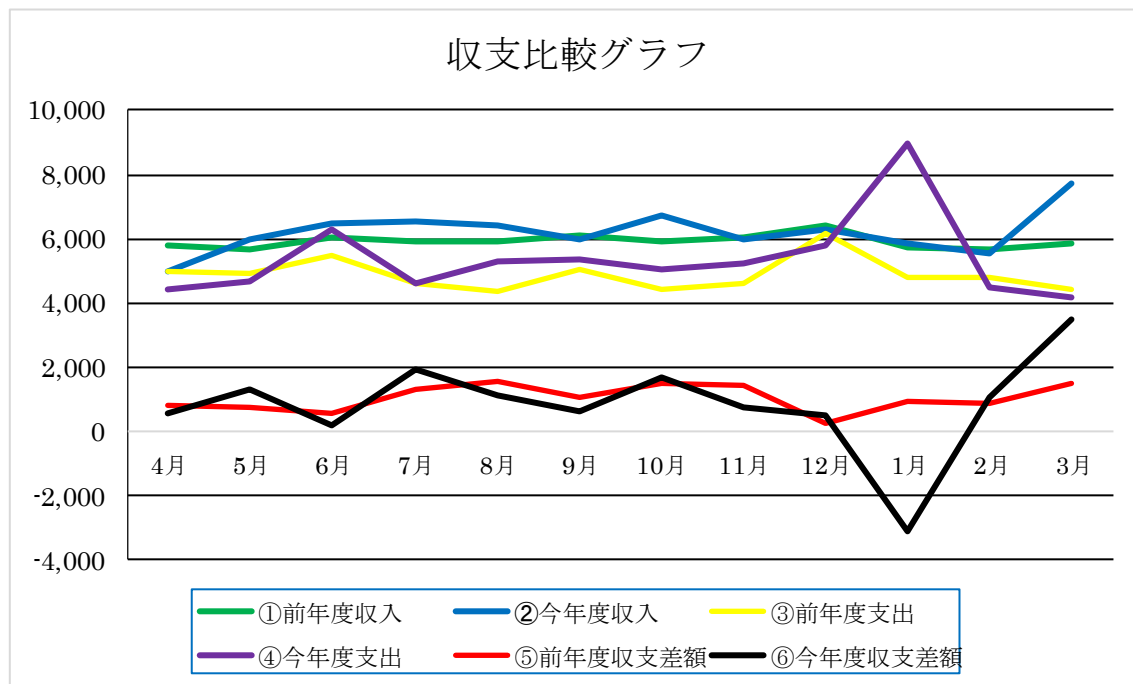
利用人数は緊急事態宣言による利用の控えもあり、111 名減少した。収入は一時的な新型コロナウイルスによる加算と口腔機能向上加算により、340 万円の増加が見られたが、建物に関する修理や車の購入などによる支出が目立ち、前年度に比べると収支は 240 万円減少した。

### 1. 月間利用者数



## 2. 前年度収支比較

|          | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月    | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率   |
|----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|------|
| ① 前年度収入  | 5,797 | 5,660 | 6,014 | 5,929  | 5,891 | 6,097 | 35,388 | —    |
| ② 今年度収入  | 5,007 | 5,955 | 6,454 | 6,555  | 6,391 | 5,974 | 36,336 | 102% |
| ③ 前年度支出  | 4,954 | 4,904 | 5,482 | 4,632  | 4,353 | 5,064 | 29,389 | —    |
| ④ 今年度支出  | 4,441 | 4,656 | 6,278 | 4,634  | 5,279 | 5,349 | 30,637 | 104% |
| ⑤ 前年度収支額 | 843   | 756   | 532   | 1,297  | 1,538 | 1,033 | 5,999  | —    |
| ⑥ 今年度収支額 | 566   | 1,299 | 176   | 1,921  | 1,112 | 625   | 5,699  | 94%  |
|          | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月    | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率   |
| ① 前年度収入  | 5,921 | 6,061 | 6,393 | 5,734  | 5,680 | 5,860 | 71,037 | —    |
| ② 今年度収入  | 6,746 | 5,989 | 6,290 | 5,872  | 5,533 | 7,704 | 74,470 | 104% |
| ③ 前年度支出  | 4,411 | 4,611 | 6,150 | 4,768  | 4,779 | 4,394 | 58,502 | —    |
| ④ 今年度支出  | 5,036 | 5,261 | 5,789 | 8,989  | 4,473 | 4,185 | 64,370 | 110% |
| ⑤ 前年度収支額 | 1,510 | 1,450 | 243   | 966    | 901   | 1,466 | 12,535 | —    |
| ⑥ 今年度収支額 | 1,710 | 728   | 501   | -3,117 | 1,060 | 3,519 | 10,100 | 80%  |



#### 4.職員充足度（R2年3月現在）

職員 19 名（正職員 3 名 非常勤看護師 3 名 非常勤歯科衛生士 1 名  
非常勤介護職員 16 名 ）

個別機能指導員（看護師）1 名含まない

|      | 営業<br>日数 | 利用者/<br>月 | 職員総時間数/<br>月 | 利用者/<br>日 | 職員<br>/日 | 職員<br>一人<br>対 | 職員/日 | 職員一人対 |
|------|----------|-----------|--------------|-----------|----------|---------------|------|-------|
| 4 月  | 25       | 590       | 1,784        | 23.60     | 10.6     | 2.2           | 9.6  | 2.5   |
| 5 月  | 27       | 635       | 1,963        | 23.50     | 11.7     | 2.0           | 10.7 | 2.2   |
| 6 月  | 26       | 729       | 1,867        | 28.04     | 11.1     | 2.5           | 10.1 | 2.8   |
| 7 月  | 26       | 730       | 2,115        | 28.08     | 12.6     | 2.2           | 11.6 | 2.4   |
| 8 月  | 27       | 696       | 2,099        | 25.78     | 12.5     | 2.1           | 11.5 | 2.2   |
| 9 月  | 25       | 648       | 1,914        | 25.90     | 11.4     | 2.3           | 10.4 | 2.5   |
| 10 月 | 27       | 732       | 1,946        | 27.10     | 11.6     | 2.3           | 10.6 | 2.6   |
| 11 月 | 26       | 664       | 1,781        | 25.54     | 10.6     | 2.4           | 9.6  | 2.7   |
| 12 月 | 26       | 669       | 2,009        | 25.73     | 12.0     | 2.2           | 11.0 | 2.3   |
| 1 月  | 25       | 622       | 1,812        | 24.88     | 10.8     | 2.3           | 9.8  | 2.5   |
| 2 月  | 24       | 618       | 1,739        | 25.75     | 10.4     | 2.5           | 9.4  | 2.7   |
| 3 月  | 26       | 697       | 1,861        | 26.81     | 11.1     | 2.4           | 10.1 | 2.7   |

#### 5.リストランテヴォーノ田寺

| 開催日       | 7/15 | 8/19 | 11/18 | 12/16 |
|-----------|------|------|-------|-------|
| 参加者（名）    | 16   | 18   | 11    | 15    |
| ボランティア（名） | 7    | 6    | 2     | 5     |

※新型コロナウイルスの影響により毎月の開催はできていない。



# ヘルパーステーションサンライフ御立

## 令和2年度 事業報告書

今年度目標に掲げた「助け合って目玉事業をきっちりやり遂げる」を念頭に全員が責任ある行動・サンライフ御立の看板を背負ってサービスさせて頂いているということを常に関心、サービスに努めた。

人材育成・介護力向上に向けた取り組みでは、研修（全体・個人）の充実化の継続。特にコロナ渦での感染予防の観点から、密での研修は避け、少人数及び個人研修に切り替えを行った。個人の実技能力及び利用者様の変化にいち早く気づく事の出来る「観察力」「聴く力」「コミュニケーション能力の向上」には特に力を入れた。目標に達していないと判断したヘルパーには、粘り強く納得出来る迄、職員同行研修を続け、その場で指示指摘を行なってきた。

少しずつ自身の欠点と向き合いそして受入れ、少しでも前進しようとする意欲を感じる事が出来た。

訪問介護は、見えない自宅内サービスであるが、決して個人プレーではない。全員の方向性は同じでなくてはならず、信頼関係構築の基本である「報・連・相」が職員間でさえも徹底されていなかったことは非常に残念ではある。日々の業務に追われる中でも、共有はチームワークの基本である事を全員に周知し、今一度徹底し、事業所内での信頼関係構築に引き続き努め、より一層、事業所全体の強化に力を注いで行きたい。

そして今後も、決して現状には満足せず、「利用し続けたい」「利用して良かった」と皆様に思ってもらえる運営を、日々心掛ける様、努めていきたい。

### 令和2年度 内部研修内容

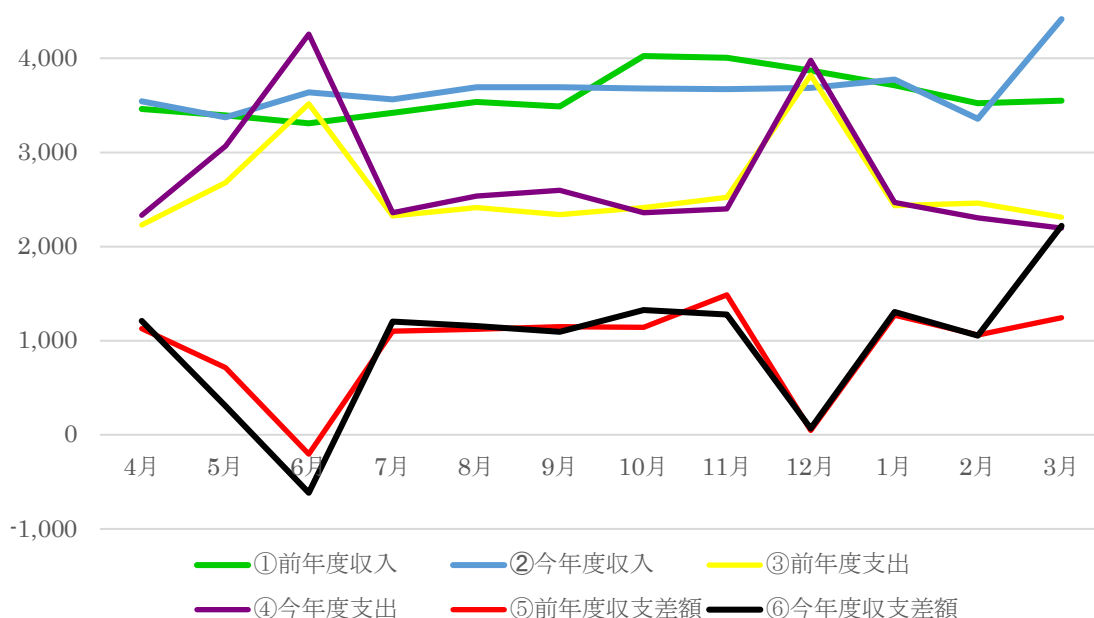
|      |                            |
|------|----------------------------|
| 4月   | 個人面談・接遇                    |
| 5月   | 声掛けの基本・吸入薬の正しい使い方          |
| 6月   | 熱中症の予防を救急の現場から学ぼう・熱中症の応急処置 |
| 7月   | 自宅学習「コロナ対応」「本部長通達・個人情報」    |
| 8月   | 生活援助の意味を改めて考える             |
| 9月   | 高齢者の低栄養                    |
| 10月  | 事例で考える介護術「排泄介助」高齢者の薬の影響    |
| 11月  | 個人面談・人事考課表                 |
| 12月  | 感染症テスト（中止）                 |
| 3年1月 | 洗濯・衣類の整理、補修                |
| 2月   | アンガーマネジメント                 |
| 3月   | クレーム対応・介護保険で出来る事、出来ない事     |

## 年間収支比較

(千円)

|          | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率  |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| ①前年度収入   | 3,488 | 3,415 | 3,350 | 3,444 | 3,574 | 3,510 | 20,781 | —   |
| ②今年度収入   | 3,543 | 3,372 | 3,640 | 3,563 | 3,691 | 3,692 | 21,501 | 103 |
| ③前年度支出   | 2,229 | 2,682 | 3,513 | 2,323 | 2,411 | 2,338 | 15,496 | —   |
| ④今年度支出   | 2,335 | 3,066 | 4,256 | 2,359 | 2,535 | 2,597 | 17,148 | 110 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,259 | 733   | -163  | 1,121 | 1,163 | 1,172 | 5,285  | —   |
| ⑥今年度収支差額 | 1,208 | 306   | -616  | 1,204 | 1,156 | 1,095 | 4,353  | 82  |
|          | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率  |
| ①前年度収入   | 4,050 | 4,032 | 3,890 | 3,742 | 3,719 | 3,577 | 43,791 |     |
| ②今年度収入   | 3,675 | 3,674 | 3,687 | 3,779 | 3,357 | 4,416 | 44,089 | 101 |
| ③前年度支出   | 2,414 | 2,521 | 3,820 | 2,441 | 2,460 | 2,309 | 31,461 | —   |
| ④今年度支出   | 2,356 | 2,399 | 3,981 | 2,468 | 2,303 | 2,196 | 32,851 | 104 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,636 | 1,511 | 70    | 1,301 | 1,259 | 1,268 | 12,330 | —   |
| ⑥今年度収支差額 | 1,319 | 1,275 | -294  | 1,311 | 1,054 | 2,220 | 11,238 | 91  |

収支比較グラフ



収入面では、コロナ禍でもあり、月平均 1～2 名の利用者様の訪問控えがあり、更に事業所内での大型備品購入が重なり、昨年度に比べ 1,092,000 円の収入減であった。来年度は大きな支出の予定もない為、引き続き全職員、感染予防に努め、体調管理には万全を期す。そして、精一杯利用者様に向き合い、事業所一丸となり訪問介護を全うする。

# サンライフ御立居宅介護支援事業所

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度のささゆり会経営スローガン「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」に対し、対人援助職として、わかりやすく説明することを心掛けた。

利用者様に満足して頂けるサービス利用であったかについては、令和 3 年 1 月のアンケート結果でみると、まだまだである。

### 1. 担当利用者の確保

常勤職員 3 名、非常勤職員 1 名の 4 名体勢で経過している。安定した事業所運営と稼働効率の向上のために各介護支援専門員の担当件数についての把握を定期的に行い、職員間で報告・連絡・相談を密に行うことで新規相談者への対応を迅速に行えるよう努めた。また、地域包括支援センター、他職種、他事業所に訪問する機会は少なかったが、担当者会議などを通して営業活動を強化し、新規利用者獲得に努めた。新規利用者は、1 年間で要介護者 68 名、要支援者 17 名を獲得できた。

### 2. 利用者人数の推移

(人)

|      |    | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計  |
|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 要支援  | R1 | 40  | 46  | 45  | 42  | 39  | 42  | 46   | 44   | 45   | 47  | 42  | 40  | 518 |
| 1. 2 | R2 | 40  | 44  | 41  | 44  | 43  | 44  | 42   | 44   | 44   | 43  | 41  | 43  | 513 |
|      | 差  | 0   | -2  | -4  | +2  | +4  | +2  | -4   | 0    | -1   | -4  | -1  | +3  | -5  |

(人)

|     |    | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計    |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 要介護 | R1 | 110 | 118 | 117 | 116 | 118 | 119 | 115  | 113  | 115  | 112 | 116 | 114 | 1,383 |
| 1～5 | R2 | 121 | 124 | 130 | 130 | 137 | 135 | 134  | 138  | 140  | 131 | 127 | 132 | 1,579 |
|     | 差  | +11 | +6  | +13 | +14 | +19 | +16 | +19  | +25  | +25  | +19 | +11 | +18 | +196  |

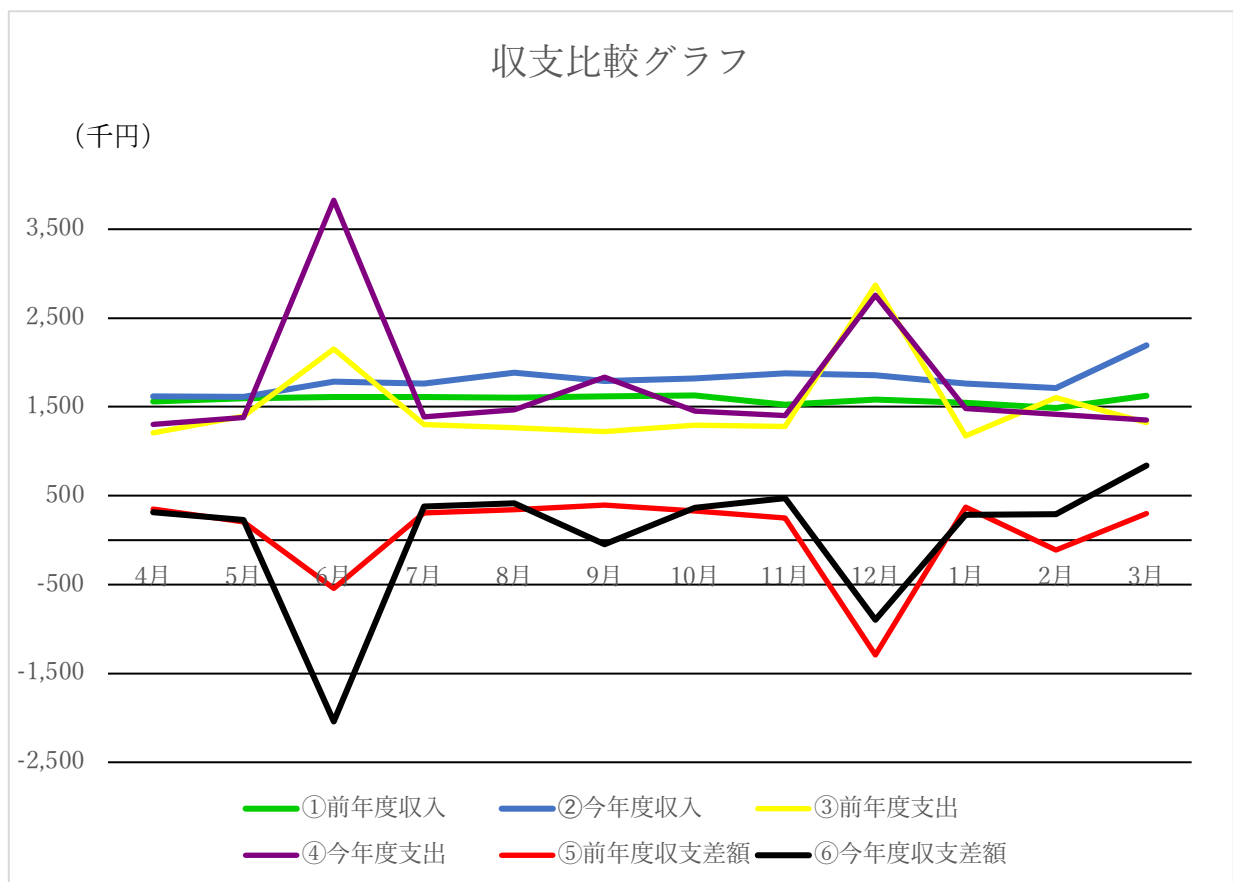
### 3. 収入の確保

ケアマネ人数が、昨年度 11 月までは常勤職員 2 名、非常勤職員 2 名で、昨年度 1 月からは常勤職員 3 名、非常勤職員 1 名に変更となり人件費が増えた。その為、令和元年度と令和 2 年度の比較は単純にはできないが、収入、支出共に増加し、収支差額は減少した。担当人数は定員いっぱいとなっているため、収入の増加は見込めない。

#### 4. 年間収支比較

(千円)

|          | 4 月   | 5 月   | 6 月    | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ①前年度収入   | 1,560 | 1,599 | 1,611  | 1,613 | 1,606 | 1,616 | 9,605  | —     |
| ②今年度収入   | 1,618 | 1,613 | 1,785  | 1,766 | 1,883 | 1,790 | 10,455 | 108.8 |
| ③前年度支出   | 1,211 | 1,392 | 2,155  | 1,305 | 1,265 | 1,221 | 8,549  | —     |
| ④今年度支出   | 1,303 | 1,384 | 3,826  | 1,387 | 1,466 | 1,837 | 11,203 | 131.0 |
| ⑤前年度収支差額 | 349   | 207   | -544   | 308   | 341   | 395   | 1,056  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 315   | 229   | -2,041 | 379   | 417   | -47   | -748   | -70.8 |
|          | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率    |
| ①前年度収入   | 1,629 | 1,528 | 1,579  | 1,545 | 1,488 | 1,625 | 18,999 | —     |
| ②今年度収入   | 1,822 | 1,876 | 1,858  | 1,764 | 1,709 | 2,193 | 21,677 | 114.1 |
| ③前年度支出   | 1,297 | 1,278 | 2,871  | 1,174 | 1,602 | 1,324 | 18,095 | —     |
| ④今年度支出   | 1,455 | 1,403 | 2,756  | 1,480 | 1,419 | 1,353 | 21,069 | 116.4 |
| ⑤前年度収支差額 | 332   | 250   | -1,292 | 371   | -114  | 301   | 904    | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 367   | 473   | -898   | 284   | 290   | 840   | 608    | 67.3  |



# デイサービスサンライフ安室

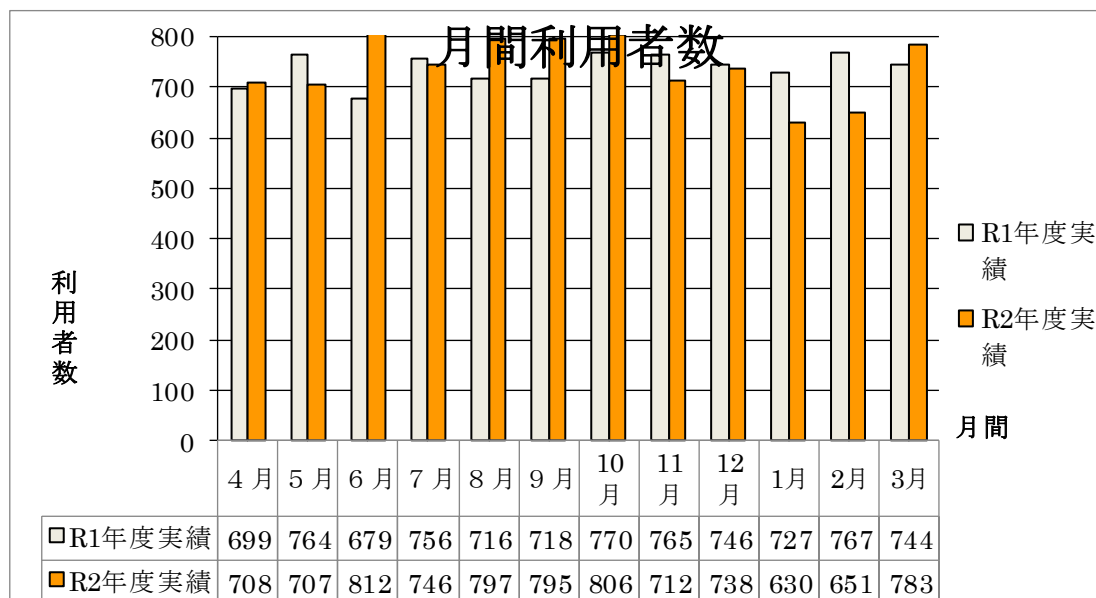
## 令和2年度 事業報告書

新型コロナウイルス感染症への対応が必要となり、施設内の感染症対策に加え、計画していたレクリエーションや外出企画の自粛、変更を余儀なくされた。施設内では、個別レクリエーションを増やすことや、外出については、屋外のものに限定して行うことで、利用者様に少しでも楽しんでいただけるよう工夫を行った。また、移動スーパーの訪問を定期的にお願ひし、デイサービスを利用しながら買い物を行える機会を作り、買い物を自粛している利用者様に喜んでいただけた。

有給休暇の取得について、上半期は職員の怪我等が重なり、一部職員が最低5日以上取得することができなかったが、下半期は全職員が取得できるように体制を整え、取得してもらうことができた。

収入については見学やケアマネジャーからの紹介が増えたことで利用人数が増え、前年度に比べて収入が増加した。支出については、デイサービスが開設してから9年が経過し、施設内で故障や不具合の発生する物が多くなったが、修理等を依頼することで支出を抑えることができ、大幅な支出の増加には繋がらなかった。

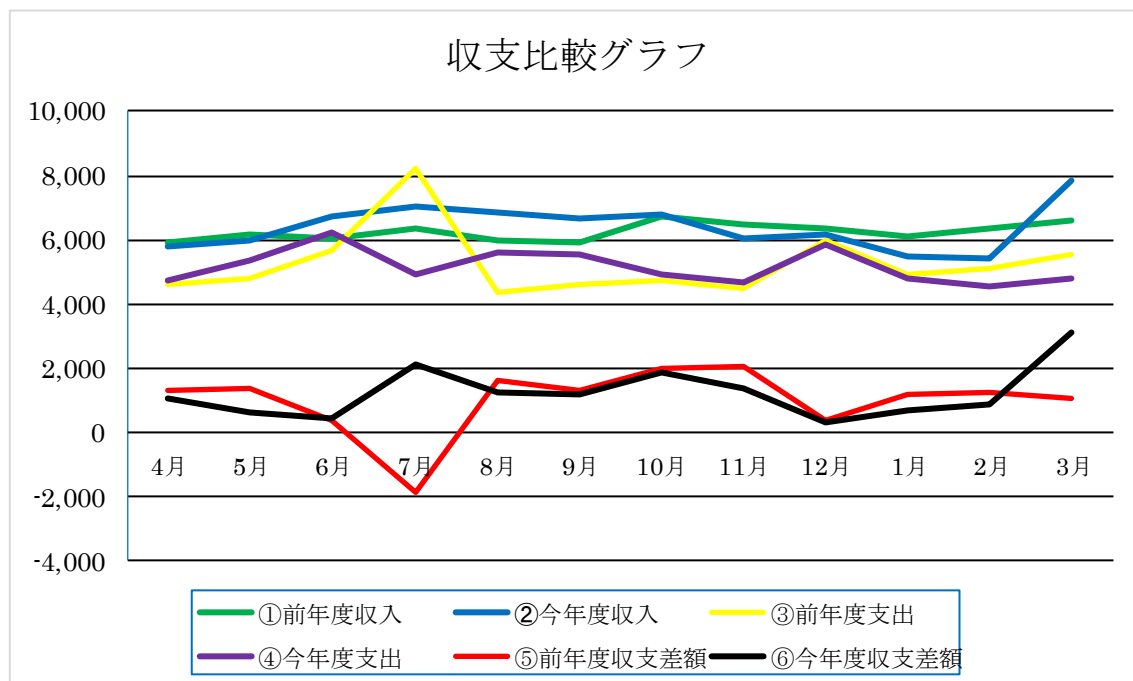
### 1. 利用者数



## 2. 年間収支比較

(千円)

|          | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月    | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
| ①前年度収入   | 5,937 | 6,160 | 6,053 | 6,354  | 5,967 | 5,934 | 36,405 | —     |
| ②今年度収入   | 5,784 | 5,993 | 6,720 | 7,049  | 6,836 | 6,692 | 39,074 | 107.3 |
| ③前年度支出   | 4,627 | 4,788 | 5,666 | 8,231  | 4,368 | 4,606 | 32,286 | —     |
| ④今年度支出   | 4,743 | 5,352 | 6,255 | 4,902  | 5,607 | 5,529 | 32,388 | 100.3 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,310 | 1,372 | 387   | -1,877 | 1,599 | 1,328 | 4,119  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 1,041 | 641   | 465   | 2,147  | 1,229 | 1,163 | 6,686  | 162.3 |
|          | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月    | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率    |
| ①前年度収入   | 6,729 | 6,507 | 6,358 | 6,124  | 6,353 | 6,600 | 75,076 | —     |
| ②今年度収入   | 6,810 | 6,026 | 6,166 | 5,504  | 5,443 | 7,867 | 76,890 | 102.4 |
| ③前年度支出   | 4,757 | 4,459 | 5,960 | 4,918  | 5,102 | 5,545 | 63,027 | —     |
| ④今年度支出   | 4,937 | 4,676 | 5,859 | 4,810  | 4,575 | 4,780 | 62,025 | 98.4  |
| ⑤前年度収支差額 | 1,972 | 2,048 | 398   | 1,206  | 1,251 | 1,055 | 12,049 | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 1,873 | 1,350 | 307   | 694    | 868   | 3,087 | 14,865 | 123.3 |



### 3. 介護度別平均年齢及び利用者数

|          | 4 月           | 5 月           | 6 月           | 7 月           | 8 月           | 9 月           | 10月           | 11月           | 12月           | 1 月           | 2 月           | 3 月           | 平均<br>(合計)      |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 要支援<br>1 | 85.63<br>(8)  | 85.79<br>(8)  | 86.79<br>(13) | 87.04<br>(15) | 86.71<br>(14) | 87.30<br>(16) | 87.57<br>(15) | 86.63<br>(13) | 87.15<br>(12) | 87.23<br>(12) | 85.88<br>(11) | 85.60<br>(13) | 86.70<br>(150)  |
| 要支援<br>2 | 86.49<br>(16) | 86.99<br>(14) | 86.87<br>(16) | 86.92<br>(14) | 87.01<br>(14) | 87.09<br>(14) | 87.55<br>(14) | 87.80<br>(15) | 87.12<br>(15) | 86.17<br>(13) | 86.25<br>(13) | 86.34<br>(13) | 86.90<br>(171)  |
| 要介護<br>1 | 82.10<br>(31) | 82.25<br>(29) | 82.55<br>(29) | 82.94<br>(34) | 82.97<br>(32) | 83.39<br>(32) | 83.30<br>(29) | 83.40<br>(27) | 83.94<br>(27) | 83.43<br>(25) | 83.51<br>(23) | 83.21<br>(26) | 83.0<br>6(344)  |
| 要介護<br>2 | 88.17<br>(12) | 87.54<br>(12) | 87.13<br>(13) | 86.46<br>(15) | 86.64<br>(16) | 86.54<br>(16) | 86.09<br>(18) | 87.00<br>(19) | 86.82<br>(18) | 86.57<br>(18) | 85.99<br>(15) | 86.71<br>(16) | 86.75<br>(188)  |
| 要介護<br>3 | 82.00<br>(12) | 81.80<br>(12) | 82.12<br>(12) | 83.00<br>(10) | 83.89<br>(8)  | 84.43<br>(8)  | 83.42<br>(7)  | 82.14<br>(7)  | 83.06<br>(9)  | 85.19<br>(8)  | 86.07<br>(8)  | 83.69<br>(8)  | 83.23<br>(110)  |
| 要介護<br>4 | 82.58<br>(1)  | 82.67<br>(1)  | 83.67<br>(2)  | 78.69<br>(3)  | 78.78<br>(3)  | 78.86<br>(3)  | 84.00<br>(2)  | 87.47<br>(3)  | 87.56<br>(3)  | 89.79<br>(2)  | 90.69<br>(3)  | 90.78<br>(3)  | 84.78<br>(29)   |
| 要介護<br>5 | 93.67<br>(1)  | 93.75<br>(1)  | 93.83<br>(1)  | 93.92<br>(1)  | 94.00<br>(1)  | 94.08<br>(1)  | 94.17<br>(1)  |               |               | 72.92<br>(1)  | 73.00<br>(81) | 73.08<br>(1)  | 87.64<br>(10)   |
| 合計       | 84.35<br>(81) | 84.39<br>(77) | 84.78<br>(86) | 84.78<br>(92) | 84.94<br>(88) | 82.28<br>(90) | 85.47<br>(86) | 85.50<br>(85) | 85.62<br>(84) | 85.38<br>(79) | 85.27<br>(74) | 85.01<br>(80) | 85.07<br>(1002) |

上段の数字は平均年齢、（ ）内の数字は実利用者人数を示しています

### 4. 職員充足度（R3年3月現在）

職員 19 名（正職員 2 名 非常勤看護師 3 名 非常勤介護職員 14 名）

個別機能指導員（看護師）1 名含まない

|      | 営業<br>日数 | 利用者/<br>月 | 職員総時間数/<br>月 | 利用者/<br>日 | 職員/<br>日 | 職員<br>一人対 | 職員/日 | 職員<br>一人対 |
|------|----------|-----------|--------------|-----------|----------|-----------|------|-----------|
| 4 月  | 26       | 708       | 2,131        | 27.2      | 12.7     | 2.1       | 11.7 | 2.3       |
| 5 月  | 26       | 707       | 2,103        | 27.2      | 12.5     | 2.2       | 11.6 | 2.3       |
| 6 月  | 26       | 812       | 1,993        | 31.2      | 11.9     | 2.6       | 10.8 | 2.9       |
| 7 月  | 27       | 846       | 2,039        | 31.3      | 12.1     | 2.6       | 11.1 | 2.8       |
| 8 月  | 26       | 797       | 2,023        | 30.6      | 12.0     | 2.5       | 11.0 | 2.8       |
| 9 月  | 26       | 795       | 1,855        | 30.6      | 11.0     | 2.8       | 10.1 | 3.0       |
| 10 月 | 27       | 806       | 1,974        | 29.9      | 11.7     | 2.5       | 10.7 | 2.8       |
| 11 月 | 25       | 712       | 1,839        | 28.5      | 10.9     | 2.6       | 10.0 | 2.8       |
| 12 月 | 27       | 738       | 2,060        | 27.3      | 12.3     | 2.2       | 11.2 | 2.4       |
| 1 月  | 24       | 630       | 1,861        | 26.3      | 11.1     | 2.4       | 10.1 | 2.6       |
| 2 月  | 24       | 651       | 1,889        | 27.1      | 11.2     | 2.4       | 10.3 | 2.6       |
| 3 月  | 27       | 783       | 2,085        | 29.0      | 12.4     | 2.3       | 11.4 | 2.5       |

## 姫路市安室地域包括支援センター

### 令和 2 年度 事業報告書

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の影響で、地域活動があまりできなかった。自粛でフレイルになる方が増えると想定し、今年度のテーマを『フレイル予防』としてチラシを作成し、啓発した。また、家でできる体操や認知症予防のためのチラシも配布した。

いきいき百歳体操については、3 月末より全会場において中止となり、6 月から再開となった。また、年末年始の緊急事態宣言時も安室校区については老人会の話し合いでしばらく休止となった。現在も自粛が続いており、昨年度全く活動がなかったグループもある。いきいき百歳体操を開催する際は、新型コロナウイルス感染症予防のための啓発を行った。今年度より長期休みの方へのアプローチを実施しており、世話人への聞き取りが殆どになっているが、疾患や ADL の低下など直接、聞き取りや訪問などにつながったケースもあった。

認知症サロンについては、今年度より姫路市への登録の基準が変更となり、登録基準が厳しくなり、書類等も煩雑となったが、該当グループ世話役に説明を行い、既存の 1 件については継続、昨年度から定期開催しており、認知症カフェへの移行を検討していた大池台カフェについては、新規立ち上げにつながった。残念ながら、大池台カフェが 1 回試しに開催したのみで、活動再開には至っておらず、今後も支援を継続していく。

姫路市において各地区ですすめられている生活支援体制検討会議については、昨年度に引き続き、安室地区において、既存の公民館講座（公民館の保健室）を活用し、第 2 回を開催することができた。コロナ等感染防止対策のため、参加人数を制限し、参加者をあらかじめ限定した形式となったが、自治会長始め老人会長、民生委員等地域役員が多く参加する形となり、昨年とはまた違った構成で開催することができた。安室東地区は連合自治会長への説明から進んでおらず、引き続き、姫路市地域包括支援課・社会福祉協議会地域福祉課・城乾東光準基幹地域包括支援センターと連携し、少しでも前進できるように自治会長を始めとし、地域に働きかけていきたい。

事業所内の連携については、今年度も引き続き毎日朝礼でミーティングを実施し、伝達事項や研修報告、地域役員からの情報、新たな相談者・継続相談者等の報告を行うことで、事業所内での情報共有を行った。今年度より、ヒヤリハット件数を朝礼で確認するようにし、職員に対して意識づけを行った。また、月 1 回の職員会議を継続して行い、ミニ研修については、実施が必要な研修内容に関しては担当者を決めて行った。

今年度も、センター便りを 3 ヶ月に 1 回、地域役員向け活動報告書を 2 ヶ月に 1 回発行し、感染防止対策のため、ポスティングなども活用し、情報提供、啓発を行えた。

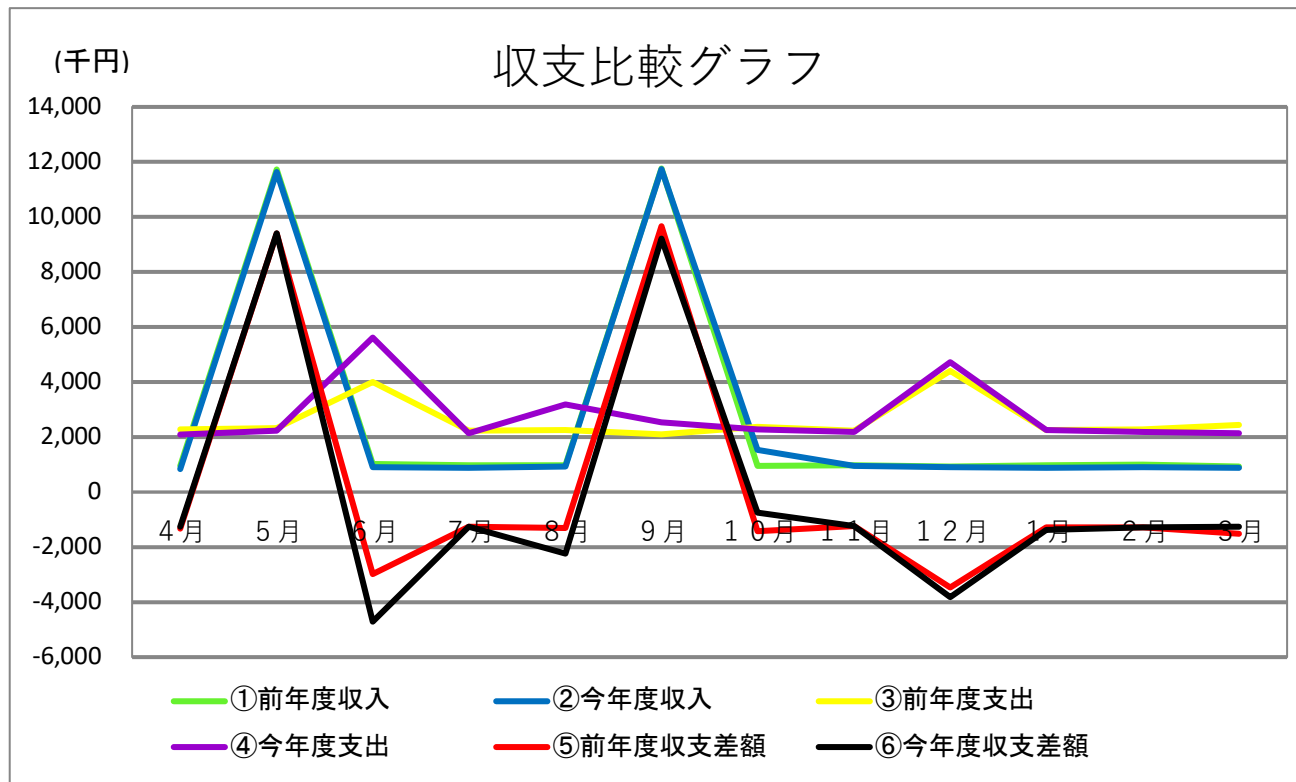
地域とのネットワーク構築については、コロナ禍で挨拶まわりがあまりできなかったが、状況をみながら、歯科医を中心に挨拶まわりを行い、一部の医院からは、チラシがなくなったので補充してほしいとの連絡も入るようになった。今後も引き続き連携をはかれるようにしていきたい。



年間収支比較

(千円)

|          | 4 月    | 5 月    | 6 月    | 7 月    | 8 月    | 9 月    | 小計     | 比率  |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| ①前年度収入   | 949    | 11,726 | 1,020  | 972    | 967    | 11,762 | 27,396 | -   |
| ②今年度収入   | 835    | 11,628 | 904    | 874    | 939    | 11,739 | 26,919 | 98  |
| ③前年度支出   | 2,283  | 2,327  | 4,000  | 2,241  | 2,266  | 2,098  | 15,215 | -   |
| ④今年度支出   | 2,090  | 2,222  | 5,615  | 2,144  | 3,185  | 2,531  | 17,787 | 117 |
| ⑤前年度収支差額 | -1,334 | 9,399  | -2,980 | -1,269 | -1,299 | 9,664  | 12,181 | -   |
| ⑥今年度収支差額 | -1,255 | 9,406  | -4,711 | -1,270 | -2,246 | 9,208  | 9,132  | 75  |
|          | 1 0 月  | 1 1 月  | 1 2 月  | 1 月    | 2 月    | 3 月    | 合計     | 比率  |
| ①前年度収入   | 960    | 980    | 937    | 967    | 988    | 929    | 33,157 | -   |
| ②今年度収入   | 1,538  | 947    | 909    | 880    | 902    | 874    | 32,969 | 99  |
| ③前年度支出   | 2,373  | 2,225  | 4,405  | 2,258  | 2,274  | 2,436  | 31,186 | -   |
| ④今年度支出   | 2,285  | 2,195  | 4,722  | 2,259  | 2,194  | 2,129  | 33,571 | 108 |
| ⑤前年度収支差額 | -1,413 | -1,245 | -3,468 | -1,291 | -1,286 | -1,507 | 1,971  | -   |
| ⑥今年度収支差額 | -747   | -1,248 | -3,813 | -1,379 | -1,292 | -1,255 | -602   | -31 |



## 総合相談支援事業の相談者（重複あり）

（件）

| 区分  | 家族・本人 | 行政<br>(市役所) | 行政<br>(警察等) | 地域包括<br>支援セン<br>ター | ケアマネ<br>ジャー | 介護保険<br>サービス事業<br>者 | 医療機関 | 民生委員 | 地域団体<br>等 | その他 |
|-----|-------|-------------|-------------|--------------------|-------------|---------------------|------|------|-----------|-----|
| 4月  | 153   | 7           | 0           | 3                  | 28          | 10                  | 4    | 6    | 2         | 1   |
| 5月  | 92    | 11          | 0           | 0                  | 32          | 4                   | 8    | 4    | 2         | 3   |
| 6月  | 116   | 3           | 3           | 0                  | 11          | 4                   | 10   | 7    | 7         | 7   |
| 7月  | 160   | 3           | 1           | 0                  | 27          | 1                   | 3    | 2    | 6         | 0   |
| 8月  | 132   | 7           | 0           | 3                  | 13          | 0                   | 8    | 5    | 10        | 1   |
| 9月  | 132   | 9           | 1           | 0                  | 8           | 4                   | 7    | 6    | 1         | 0   |
| 10月 | 90    | 10          | 1           | 0                  | 41          | 5                   | 7    | 8    | 4         | 3   |
| 11月 | 86    | 6           | 0           | 0                  | 26          | 4                   | 8    | 7    | 10        | 5   |
| 12月 | 80    | 5           | 0           | 1                  | 10          | 0                   | 1    | 6    | 3         | 2   |
| 1月  | 101   | 2           | 0           | 0                  | 14          | 4                   | 14   | 3    | 3         | 0   |
| 2月  | 114   | 1           | 1           | 0                  | 7           | 9                   | 3    | 5    | 2         | 2   |
| 3月  | 203   | 1           | 1           | 1                  | 14          | 5                   | 17   | 6    | 2         | 2   |
| 合計  | 1,459 | 65          | 8           | 8                  | 231         | 50                  | 90   | 65   | 52        | 26  |

## 特別養護老人ホームサンライフ土山

### 令和2年度 事業報告書

新型コロナウイルスの蔓延により、家族等とのコミュニケーションのあり方を見直す機会となった。行事等も縮小、中止となり、面会の制限がある中で家族との密接な関わりが求められた。数が限られた中でマスクや消毒用アルコールの使用も慎重に行い、補助金により検知式の非接触型体温計等の設置もおこなえた。

ただ、面会や他からの目がないことによる言葉遣いも含めた接遇マナーの低下を危惧するところにある。接遇委員会や他の委員会、朝礼で問題提起をおこない、職員同士でチェックし合うようすすめた。

レクリエーションや行事は縮小傾向ではあったが、100歳になられた方が3名おられ、お祝いの開催がおこなえた事は利用者様にも喜んでいただけた。

また、介護技術の指導に関しては、御立より指導者が来られ、各フロアを回られた。職員の様子を施設長や相談員にフィードバックし、日常業務の指導へ繋げることができた。

下半期では、初めてインドネシアからの技能実習生4名の受け入れをおこなったが、3名だけに留まり、残りの1名に関しては未だに入国が適っていない。

そして、サンライフ岡田の開設準備に伴い、職員の採用と異動の支援を行った。

昨年度の利用実績者数は24,416名で今年度は24,046名となり、370名の減少となった。減少理由として、同一入居者様の同疾患の入退院や入院者が多く、521名から982名に増加したことが原因であった。また、看取り対応であった方も嘱託医の治療が必要とのことで、入院なったケースもあり、協力医との連携は今後の課題であった。2021年1月からは担当医が変更となっている。

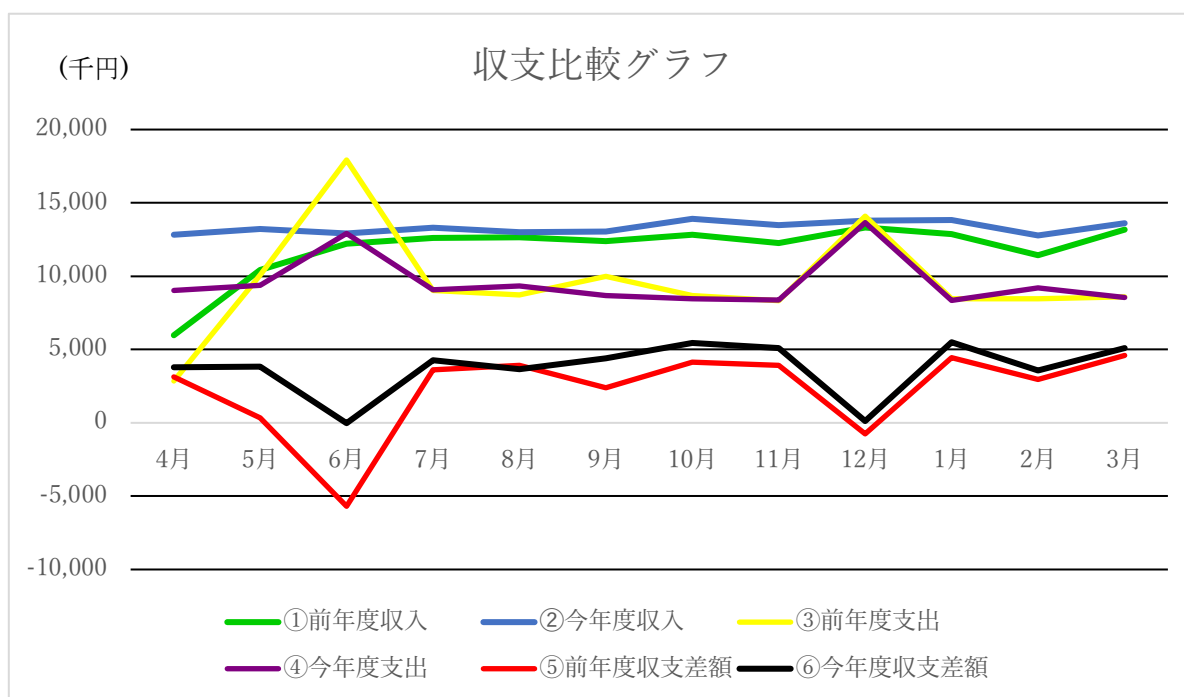
サンライフ土山 EPA 候補生4名が介護福祉士国家試験を受験し、受験者4名全員が合格に至った。

#### 1. 年間収支比較

(千円)

|          | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 小計      | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ① 前年度収入  | 29,276 | 29,919 | 29,763 | 29,945 | 29,713 | 27,992 | 176,608 | —     |
| ② 今年度収入  | 29,709 | 30,685 | 28,672 | 29,288 | 28,555 | 29,115 | 176,024 | 99.7  |
| ③ 前年度支出  | 20,417 | 21,035 | 29,877 | 21,391 | 20,465 | 22,452 | 135,637 | —     |
| ④ 今年度支出  | 22,797 | 21,412 | 36,068 | 20,683 | 21,164 | 20,831 | 142,955 | 105.4 |
| ⑤前年度収支差額 | 8,859  | 8,884  | -114   | 8,554  | 9,248  | 5,540  | 40,971  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 6,912  | 9,273  | -7,396 | 8,605  | 7,391  | 8,284  | 33,069  | 80.7  |

|          | 1 0 月  | 1 1 月  | 1 2 月  | 1 月    | 2 月    | 3 月    | 合計      | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ① 前年度収入  | 29,663 | 29,749 | 29,089 | 28,871 | 27,509 | 30,682 | 352,171 | —     |
| ② 今年度収入  | 29,818 | 28,671 | 29,966 | 29,994 | 26,794 | 29,567 | 350,834 | 99.6  |
| ③ 前年度支出  | 20,914 | 19,944 | 31,149 | 20,067 | 20,853 | 19,760 | 268,324 | —     |
| ④ 今年度支出  | 21,867 | 20,304 | 32,933 | 23,833 | 22,409 | 20,953 | 285,255 | 106.3 |
| ⑤前年度収支差額 | 8,749  | 9,805  | -2,060 | 8,804  | 6,656  | 10,922 | 83,847  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 7,951  | 8,367  | -2,967 | 6,161  | 4,385  | 8,614  | 65,579  | 78.2  |



## 2. 利用者数

(単位：人)

|         | 4 月    | 5 月    | 6 月    | 7 月    | 8 月    | 9 月    | 小計      |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| R 元年度実績 | 2, 073 | 2, 141 | 2, 056 | 2, 091 | 2, 085 | 1, 964 | 12, 612 |
| R2 年度実績 | 2, 041 | 2, 106 | 1, 958 | 1, 997 | 1, 990 | 1, 963 | 12, 055 |
| 前年度との差異 | 32     | -35    | -94    | -94    | -95    | -1     | -557    |
|         | 10 月   | 11 月   | 12 月   | 1 月    | 2 月    | 3 月    | 合計      |
| R 元年度実績 | 2, 082 | 1, 987 | 1, 982 | 1, 958 | 1, 907 | 2, 090 | 24, 416 |
| R2 年度実績 | 2, 041 | 1, 966 | 2, 047 | 2, 071 | 1, 833 | 2, 033 | 24, 046 |
| 前年度との差異 | -41    | -21    | 65     | 113    | -74    | -57    | -370    |

### 3. 入院者数

(単位：人)

|         | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|---------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| R 元年度実績 | 19   | 19   | 29   | 54   | 86  | 75  | 282 |
| R2 年度実績 | 44   | 47   | 93   | 135  | 144 | 77  | 540 |
| 前年度との差異 | 25   | 28   | 64   | 81   | 58  | 2   | 258 |
|         | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月  | 2 月 | 3 月 | 合計  |
| R 元年度実績 | 77   | 84   | 179  | 174  | 80  | 76  | 521 |
| R2 年度実績 | 95   | 64   | 94   | 44   | 86  | 59  | 982 |
| 前年度との差異 | 18   | -20  | -85  | -130 | 6   | -17 | 461 |

### 4. 稼働率

(単位：%)

|         | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  | 小計   |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| R 元年度実績 | 98.7 | 98.7 | 97.9 | 96.3 | 96.0 | 93.4 | 96.8 |
| R2 年度実績 | 97.1 | 97.0 | 93.2 | 92.0 | 91.7 | 93.4 | 96.8 |
|         | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月  | 2 月  | 3 月  | 合計   |
| R 元年度実績 | 95.9 | 94.6 | 91.3 | 90.2 | 93.9 | 96.3 | 94.1 |
| R2 年度実績 | 93.4 | 93.4 | 94.3 | 95.4 | 93.5 | 93.7 | 94.0 |

### 5. 令和2年度別要介護度別利用者数

|             | 要介護3       | 要介護4        | 要介護5       | 合計          |
|-------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 65歳未満       | 0          | 316 (11)    | 31 (1)     | 347 (12)    |
| 65歳以上～75歳未満 | 0          | 0           | 465 (16)   | 465 (16)    |
| 75歳以上～85歳未満 | 1026 (39)  | 3128 (107)  | 1854 (62)  | 5981 (208)  |
| 85歳以上～95歳未満 | 2103 (72)  | 6525 (226)  | 5114 (177) | 13742 (475) |
| 95歳以上       | 319 (12)   | 1144 (39)   | 764 (27)   | 2227 (78)   |
| 100歳以上      | 730 (24)   | 351 (12)    | 203 (7)    | 1284 (43)   |
| 合計          | 4178 (147) | 11464 (395) | 8404 (290) | 24046 (832) |

前半の数字は延べ日数、() 内の数字は実人数を示しています。

### 6. 令和2年度 事故分類別発生者数

|    | A | B | C   | 合計  |
|----|---|---|-----|-----|
| 合計 | 2 | 3 | 244 | 256 |

A：入院加療を要する事故 B：受診・通院を要する事故 C：受診・通院を要さない事故

#### 【Aランク】

M様 フロアにてコールクッションと本人の声がきこえたため食堂へ行くと、ズボンの右足に両足が入った状態で、床に右側臥位で横になっている本人を発見する。右大腿

部に痛み有。 受診の結果、右大腿骨頸部骨折。

S様 フロアにて、椅子より立たれ数歩歩かれた際、バランスを崩し右側臥位に転倒。ツカザキ病院受診し、受診の結果、右大腿骨頸部骨折にて入院。

#### 7. 令和元年度 退所者数

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月 | 8月 | 9月 | 小計 |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 看取り介護 | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 2  | 4  |
| 病院    | 1   | 1   | 0   | 0  | 2  | 0  | 4  |
| 急死    | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他   | 0   | 0   | 3   | 1  | 2  | 0  | 6  |
| 合計    | 2   | 2   | 3   | 1  | 4  | 2  | 14 |
|       | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 看取り介護 | 1   | 0   | 0   | 2  | 1  | 0  | 8  |
| 病院    | 1   | 1   | 0   | 0  | 1  | 1  | 8  |
| 急死    | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他   | 1   | 0   | 0   | 0  | 1  | 1  | 9  |
| 合計    | 3   | 1   | 0   | 2  | 3  | 2  | 25 |

# サンライフ土山ショートステイ

## 令和2年度 事業報告書

今年度は岡田の小規模多機能がオープンすることにより職員入れ替わりが多く、現場業務における混乱が予想される為、職員一人ひとりが業務をしっかりと遂行し、報告・連絡・相談の徹底及び漏れや忘れ物をなくし入居者様に安心して過ごして頂ける事を目標に取り組んだ。

生活相談員・ユニットリーダーも10月から変わったことによりまだまだ力量不足な点がみられるが、責任感を持って業務にあたっている。この半年でどの部分が苦手かなど明確化している為、改善に繋げていく必要がある。

忘れ物に関しては、写真チェックを行うことにより改善に繋がったが、個々の撮影の仕方によっては、明るさや銘柄などバラバラな点もみられるので統一した場所での撮影や細かな記入を指導し取り組みの中である。衣類や日用品の忘れ物は減少したが、薬の小さいジップなどの忘れ物が目立ったので単純なミスをしないよう指導を行った。

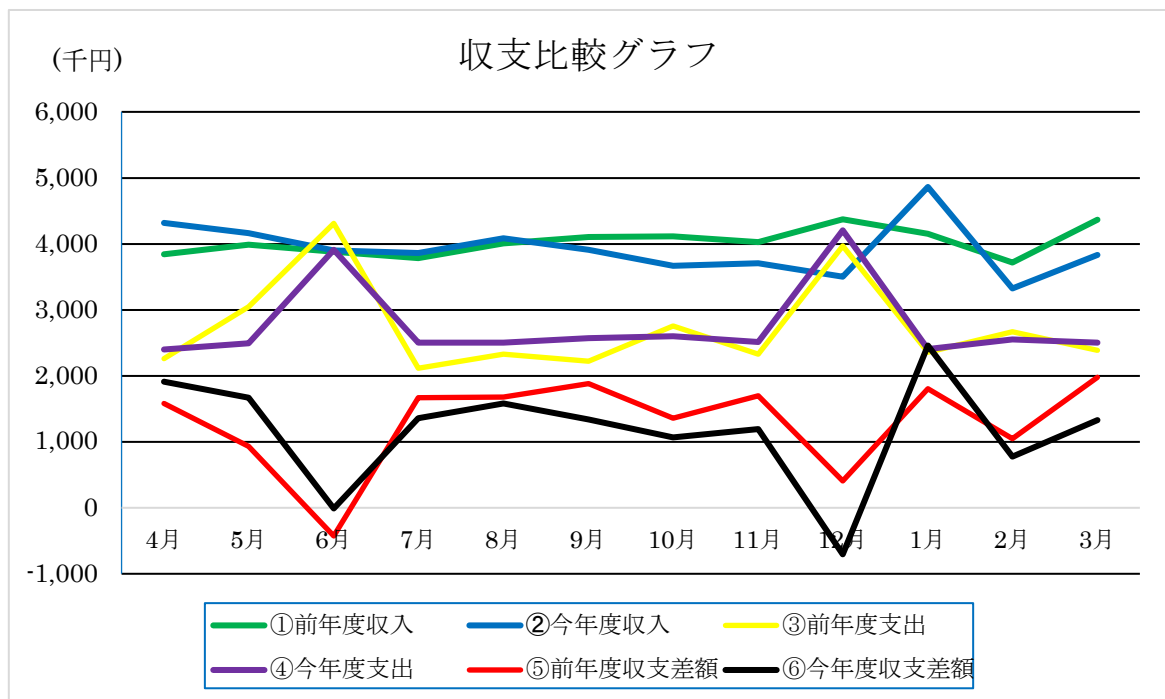
今年度の事故件数は利用人数もあるが件数としては大きく減少した。Cランクの事故件数においては薬の飲み忘れなどが昨年度同様に続いている為、服薬までの手順の見直しを行い、改善に繋がっている。日々利用者様も変わるのでユニット間で連携していくよう指導を行った。

収入面では、目標である稼働率98.5%を達成することが出来ず、今年度の平均稼働率は86.5%。利用人数・宿泊人数・収入すべてが前年を下回る結果となった。今年度、ロングから土山特養スムーズに次のロングの方を入所させることが出来なかったのが収入減の原因と考える。また上半期では、常勤職員人数も小規模多機能の件もあり、人件費がかかっている状況と下半期では社用車の車検費用・事故に修理費用・パソコン2台の購入と大きい金額の費用がみられた。

### 1. 年間収支比較

(千円)

|          | 4月    | 5月    | 6月     | 7月    | 8月    | 9月    | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ①前年度収入   | 4,314 | 4,166 | 3,904  | 3,863 | 4,083 | 3,906 | 24,236 | -     |
| ②今年度収入   | 3,905 | 3,572 | 4,425  | 3,791 | 4,251 | 3,157 | 23,101 | 95.3  |
| ③前年度支出   | 2,399 | 2,495 | 3,912  | 2,504 | 2,501 | 2,572 | 16,383 | -     |
| ④今年度支出   | 2,594 | 2,716 | 4,927  | 2,819 | 2,785 | 2,695 | 18,538 | 113   |
| ⑤前年度収支差額 | 1,915 | 1,671 | -8     | 1,360 | 1,582 | 1,334 | 7,854  | -     |
| ⑥今年度収支差額 | 1,311 | 856   | -502   | 972   | 1,466 | 462   | 4,565  | 58.1  |
|          | 10月   | 11月   | 12月    | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 比率    |
| ①前年度収入   | 3,672 | 3,705 | 3,500  | 4,862 | 3,324 | 3,834 | 47,133 | -     |
| ②今年度収入   | 2,560 | 2,840 | 3,218  | 3,991 | 3,735 | 3,320 | 42,765 | 90.7  |
| ③前年度支出   | 2,603 | 2,513 | 4,205  | 2,403 | 2,549 | 2,507 | 33,163 | -     |
| ④今年度支出   | 2,672 | 2,359 | 5,363  | 2,725 | 2,893 | 2,553 | 37,105 | 111.9 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,069 | 1,192 | -705   | 2,459 | 773   | 1,325 | 13,967 | -     |
| ⑥今年度収支差額 | -112  | 481   | -2,145 | 1,266 | 842   | 767   | 5,664  | 40.6  |



## 2. 令和元年度・令和2年度 利用人数比較 (人)

|        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 元年度実績  | 298 | 313 | 297 | 289 | 311 | 295 | 1,803 |
| 2年度実績  | 272 | 273 | 319 | 281 | 310 | 237 | 1,692 |
| 前年との差異 | -26 | -40 | 21  | -8  | -1  | -79 | -133  |
|        | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
| 元年度実績  | 268 | 272 | 306 | 308 | 257 | 297 | 3,511 |
| 2年度実績  | 184 | 214 | 247 | 294 | 282 | 243 | 3,156 |
| 前年との差異 | -84 | -58 | -59 | -14 | 25  | -54 | -377  |

## 3. 令和元年度・令和2年度 宿泊人数比較 (人)

|        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 元年度実績  | 274 | 287 | 277 | 258 | 287 | 270 | 1,653 |
| 2年度実績  | 248 | 247 | 296 | 246 | 272 | 200 | 1,509 |
| 前年との差異 | -26 | -40 | 19  | -12 | -15 | -70 | -144  |
|        | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
| 元年度実績  | 236 | 247 | 283 | 285 | 229 | 264 | 3,197 |
| 2年度実績  | 147 | 184 | 212 | 263 | 244 | 208 | 2,767 |
| 前年との差異 | -89 | -63 | -71 | -22 | 15  | -56 | -430  |



4. 令和元年度・令和2年度 月ごとの稼働率 (%)

|         | 4月   | 5月   | 6月    | 7月   | 8月    | 9月   |      |
|---------|------|------|-------|------|-------|------|------|
| 稼働率（元年） | 99.3 | 101  | 99    | 93.2 | 100.3 | 98.3 |      |
| 稼働率（2年） | 90.7 | 88.1 | 106.3 | 90.6 | 100   | 79.0 |      |
|         | 10月  | 11月  | 12月   | 1月   | 2月    | 3月   | 平均   |
| 稼働率（元年） | 86.5 | 90.7 | 98.7  | 99.4 | 88.6  | 95.8 | 95.9 |
| 稼働率（2年） | 59.4 | 71.3 | 79.6  | 94.8 | 100.7 | 78.3 | 86.5 |

5. 令和2年度年齢別・介護度別利用者数

|                 | 要支援1 | 要支援2       | 要介護1        | 要介護2        | 要介護3          | 要介護4        | 要介護5        | 合計            |
|-----------------|------|------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| 65歳未満           |      |            | 10<br>(3)   |             |               |             | 34<br>(2)   | 44<br>(5)     |
| 65歳以上～<br>75歳未満 |      |            | 7<br>(1)    | 20<br>(2)   | 41<br>(6)     |             | 11<br>(3)   | 79<br>(12)    |
| 75歳以上～<br>85歳未満 |      | 33<br>(12) | 73<br>(14)  | 79<br>(12)  | 542<br>(32)   | 125<br>(10) | 131<br>(9)  | 983<br>(89)   |
| 85歳以上           |      | 45<br>(11) | 398<br>(53) | 363<br>(50) | 618<br>(64)   | 475<br>(26) | 146<br>(12) | 2045<br>(216) |
| 合計              |      | 78<br>(23) | 488<br>(71) | 462<br>(64) | 1201<br>(102) | 600<br>(36) | 322<br>(26) | 3151<br>(322) |

前半の数字は延べ日数、( ) 内の数字は実人数を示しています

6. 令和元年度・令和2年度 事故件数比較

|            | A | B | C  | 合計 |
|------------|---|---|----|----|
| 事故件数（令和元年） | 2 | 2 | 70 | 74 |
| 事故件数（2年）   | 1 | 1 | 26 | 28 |

A：入院加療を要する事故 B：受診・通院を要する事故 C：受診・通院を要さない事故

R元年度Aランク事故

A 他者の対応中にフロアにて転倒 右大腿骨骨折

B ベッドからの臥床時に痛みの訴えあり、右肋骨部第7番目と8番目にひびあり。

# 特別養護老人ホームサンライフ土山（医務）

## 令和２年度 事業報告書

令和２年度サンライフ土山は、医療と介護を必要とする入居者に、多職種と協働し、安全で質の高いサービスが提供できるように取り組んだ。看取り期にも、家族様と面談し、施設で８名看取った。

平均要介護度 4.12 と高く、入居者の高齢化、重度化している状況の中、他職種と情報共有・チームケアをし、入居者の身体・精神状態や生活機能をアセスメントし、介護度が重度化しないよう、生活機能が維持できるよう支援していった。しかし、褥瘡発症、入院者数が多くなった。入院者数 43 名、延べ入院日数 982 日、稼働率 94 となった。肺炎での入院は 17 名（このうち誤嚥性肺炎 5 名）、尿路感染症 5 名、骨折 3 名、蜂窩織炎 2 名、その他であった。利用者の高齢化、機能低下により繰り返される入院は、今後も考えられるが、これに関しては、肺炎予防に努め、施設で実施できる医療処置（点滴、在宅酸素等）の説明を行い本人および家族の同意の下、できるだけ施設で対応していきたい。自力喀痰喀出できない入居者に、3 名の介護士（認定特定行為業務従事者）と連携し、必要時吸引ができ、入居者の誤嚥や窒息、肺炎予防につながっていると思われる。また、適切な時期に、受診につなげる判断や、必要に応じて日頃から嘱託医に、入居者の状態を適切に報告するようにした。熱発時や呼吸器症状のある時、嘱託医に報告、コロナ PCR 検査を 6 名医師会に受けに行き、全て陰性であった。

想定外の事故や骨折が 4 件、誤薬が 5 件あった。リスク委員の開催、安全管理のためのマニュアル、業務手順の見直し、職員の再教育・研修を実施し再発防止にむけて安全管理に取り組んだ。研修においては、心肺蘇生法の実施を 10 月に実施した。

職員の健康（健診、メンタルヘルス対策、腰痛予防等）の保持増進にも配慮した。日頃から感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルス、感染性胃腸炎、インフルエンザ等の感染症発症はなかった。感染防止対策として、入居者様の日頃からの健康状態の把握、職員に対しては、出勤前、休憩中の 2 回体温測定実施。また、発熱、呼吸器症状等が認められる時は、施設に報告し出勤を行わないこと、換気、消毒等も徹底し行った。面会制限し、外部から施設に立ち入る際には、施設長の許可、問診票、マスクの徹底をした。

業務の簡素化・効率化をはかるため、今後、他科受診の薬、臨時薬も定期薬につけてもらえるよう等薬局と調整していきたい。

ユニット毎の看護師の担当等決められなかったが、医務室で毎日カンファレンスし、全員が方向性を共有し、責任をもって入居者の異常の早期発見や日々の細かなケアに繋がられているのではないかとと思われる。また、このことを目指した看護体制が築いていけるよう努力していきたいと考えています。

## 1. 褥瘡

| 項目  | 令和元年度 | 令和3年3月状況 |
|-----|-------|----------|
| 褥瘡者 | 2名    | 4名       |

- I. 4名の入居者（2名は持ち込み）にステージⅡ～Ⅲの褥瘡が発症した。専門病院受診、定期的にあセスメントし、治療過程の評価とケアの見直しを行い軽快傾向にある。褥瘡のリスクのある入居者に対し、褥瘡予防のための計画作成、好発部位だけでなく、全身管理や環境調整し予防に努めている。

## 2. 看取り

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| R.2年度 | 1名 | 1名 | 1名 | 0名 | 0名 | 2名 | 1名  | 0名  | 1名  | 0名 | 1名 | 0名 | 8名 |

## 3. 利用者数・稼働率・入院者数・延べ入院日数・退所者数

|             | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 計     |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 利用者数<br>(人) | 2041 | 2106 | 1958 | 1977 | 1990 | 1962 | 2041 | 1966 | 2047 | 2071 | 1833 | 2033 | 24045 |
| 稼働率<br>(%)  | 97.1 | 97.0 | 93.2 | 92.0 | 91.7 | 93.4 | 94.1 | 93.6 | 94.3 | 95.4 | 93.5 | 93.7 | 94.1  |
| 入院者数<br>(人) | 1    | 6    | 3    | 9    | 3    | 5    | 3    | 1    | 5    | 1    | 2    | 4    | 43    |
| 延べ入院<br>日数  | 44   | 47   | 93   | 135  | 144  | 77   | 95   | 64   | 94   | 44   | 86   | 59   | 982   |
| 退所者<br>(人)  | 2    | 2    | 4    | 1    | 1    | 4    | 3    | 1    | 1    | 2    | 3    | 2    | 26    |

- I. 入院の多くが肺炎であった。口腔内をいつもきれいにしておくことや寝る寝る姿勢等日常生活の工夫をし、誤嚥しないように唾液腺マッサージや嚥下体操を施行し肺炎予防に努めたい。

## 4. 令和2年度 事故

|      | 計   |
|------|-----|
| Aランク | 2   |
| Bランク | 3   |
| Cランク | 256 |
| 合計   | 261 |

A：入院加療を要する事故 B：受診・通院を要する事故 C：受診・通院を要さない事故

Aランク：歩行可の入居者転倒右大腿骨頸部骨折 杖歩行入居者転倒右大腿骨頸部骨折

Bランク：つたい歩き入居者転倒にて坐骨骨折

Cランク：誤薬5件あり

## 5. 研修

|      |              | 参加人数 |
|------|--------------|------|
| 6 月  | バイタルサインについて  | 17 人 |
| 7 月  | 尿路感染について     | 13 人 |
| 10 月 | 急変時の対応 心肺蘇生法 | 25 人 |
| 1 月  | 看取りについて      | 16 人 |

## 特別養護老人ホームサンライフ土山(厨房)

### 令和2年度 事業報告書

令和2年度は、異物混入が5件起きてしまった。内訳はラップの混入が2件、食材が入っているビニール袋や容器の破片の混入が2件、毛髪の混入が1件となった。

ラップの混入に関しては、ラップの素材上どうしても小さな破片が出てしまう。小さな破片が出てしまうことを認識しており、気を付けているつもりであったが料理への混入が発生してしまった。原因は盛りつけ後の食器にラップをする際、刃に引っかかった破片が落ちたことによると思われる。そのため使用前に破片が刃やラップの容器に付いていないか確認後使用し、ラップ後に破片の混入がないか目視で確認するようにした。

また、食材の入っている袋や容器の破片の混入は、昨年度異物混入が発生しないようマニュアルを作成したにもかかわらず起きてしまった。今回の件もマニュアルに追加し、袋の切り方を徹底するようにした。

毛髪の混入に関しては、30 cm程の長さがあり、当日調理・盛り付けに長髪の職員はいなかった。そのため食材に付着していた可能性があるが、調理時に毛髪の付着に気付くことができなかった。現在は、調理時食材に異変がないか気にするようにしている。

上半期に4件も異物混入が続いたこともあり、下半期にかけては盛り付け台の小さなラップの破片を気にする様子も見られ、異物混入に対する職員の意識が向上してきたように思われる。しかし、慣れからラップの確認やマニュアルが形骸化しないよう注意していく必要がある。

その他に、4月には未遂で済んだがサラダに傷んだハムを使用してしまった。盛り付け・提供までに気付ける機会があったはずであるが、残念ながら気づくことができなかった。その原因に、納品時の温度に異常がなかったこと、ハムを切る際臭い等を確認していなかったこと、ハムが傷んでいるかもしれないと疑いもせず、安全なものであると信用しきっていたこと、味見の際ハム以外の野菜しかしていなかったことが挙げられる。

微生物学検査の結果、食中毒菌ではなかったが人から付着した菌であることが分かった。また、肉屋からは商品の管理温度、商品を加工（スライス）後の管理が悪いため起きたと思われるとの報告をもらっている。

根菜類を柔らかく提供することについては、たけのことれんこんのみであるが概ね元より柔らかくはできている。上半期、たけのこの千切りは濃度を濃くしても時間を長くしても柔らかくならず、素材の問題もあるのではないかと考え商品を変更したところ、以前よりは柔らかくなるようになった。

非常食については、計画的に献立に組み込むことができた。しかし、アルファ化米だけは使用が難しく半分を廃棄することになってしまった。

指示通り調理しても出来上がりが硬いため、数種類のクッパにして提供したが10箱全

てを使用することはできなかった。現状アルファ化米に代わるものがないため今回も非常食として購入したが、5年後の賞味期限までに良い使用方法を検討しておく必要がある。

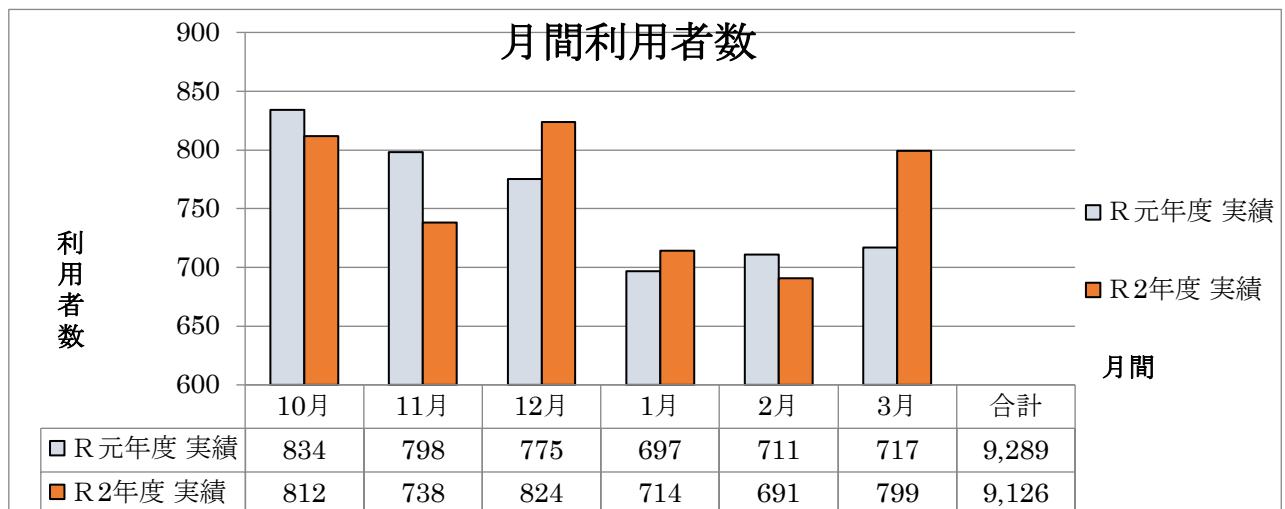
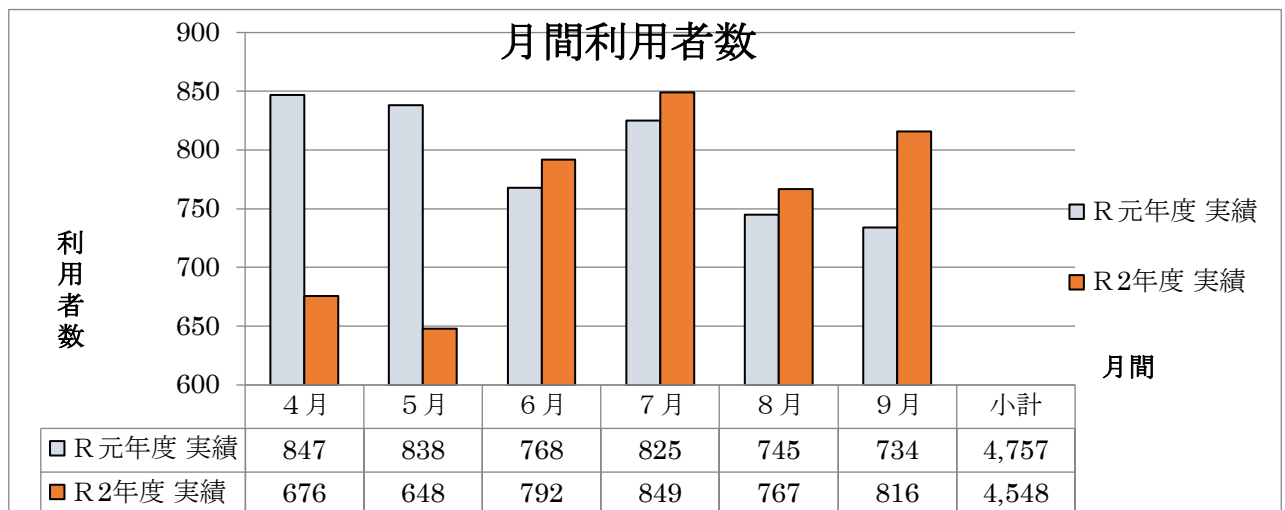
厨房の人員について、8月と11月に長年勤務されていた非常勤職員が退職された。コロナ流行前は短時間勤務の希望者が多かったが、コロナ流行後は長時間勤務の希望者が多く、募集をしてもこちらの希望とマッチせず採用に至っていない。現在は今いる非常勤職員の勤務日数を増やし、管理栄養士も現場に入ることによって回している。ただ、今いる職員も70歳以上が2名おり無理が出ないように勤務を配慮する必要がある。職員の採用募集を継続し、人員の安定に努めていきたい。

# デイサービスサンライフ土山

## 令和2年度 事業報告書

令和2年度は、利用者様意欲の引き出し、レクの充実に力を入れていく予定であったが、コロナウィルスの影響により、3密を避ける為の制限があり、集団レクを行う機会の減少、ボランティアの受け入れ中止による外部との関りや楽しみの機会の減少等、本来の計画通りの実施が出来なかった。収入面では、利用者様が安心・快適に過ごしていただけるようパーティションの設置、マスク着用の啓発、室内・車内の常時換気、アルコール消毒等様々な感染予防対策を実施し、クラスターが発生しないように努めたが、緊急事態宣言発令時には、サービス付き高齢者住宅の利用者様の利用控え等があり、収入減となった。引き続き、感染予防対策を徹底し、コロナ禍でもデイサービスを利用する事で、他者との交流や外出する楽しみを持っていただき、閉じこもり防止や社会参加に繋がるよう支援していきたい。

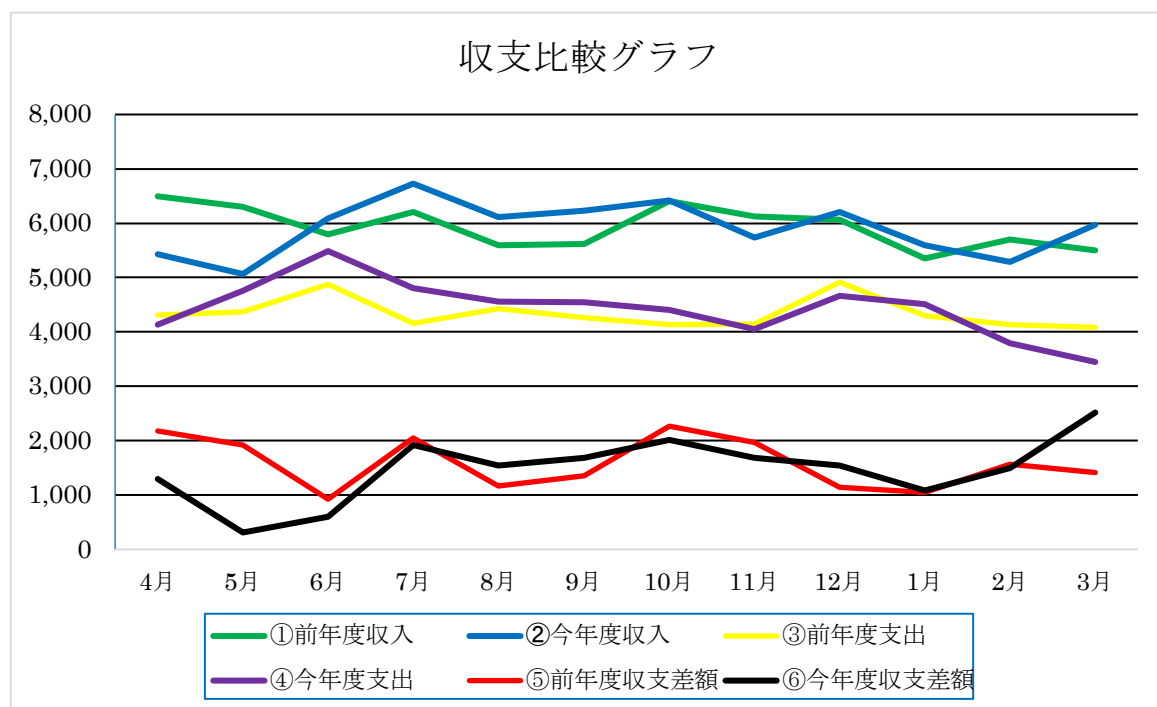
### 1. 利用者数



## 2. 年間収支比較

(千円)

|           | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| ① 前年度収入   | 6,495 | 6,298 | 5,796 | 6,202 | 5,596 | 5,615 | 36,002 | —    |
| ② 今年度収入   | 5,434 | 5,066 | 6,089 | 6,728 | 6,109 | 6,231 | 35,657 | 99.0 |
| ③ 前年度支出   | 4,311 | 4,372 | 4,872 | 4,154 | 4,430 | 4,261 | 26,400 | —    |
| ④ 今年度支出   | 4,133 | 4,755 | 5,488 | 4,804 | 4,563 | 4,542 | 28,285 | 107  |
| ⑤ 前年度収支差額 | 2,184 | 1,926 | 924   | 2,048 | 1,166 | 1,354 | 9,602  | —    |
| ⑥ 今年度収支差額 | 1,301 | 311   | 601   | 1,924 | 1,546 | 1,689 | 7,372  | 76.8 |
|           | 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     | 比率   |
| ① 前年度収入   | 6,403 | 6,121 | 6,062 | 5,352 | 5,696 | 5,500 | 71,136 | —    |
| ② 今年度収入   | 6,414 | 5,740 | 6,204 | 5,596 | 5,294 | 5,966 | 70,871 | 99.6 |
| ③ 前年度支出   | 4,136 | 4,150 | 4,915 | 4,302 | 4,132 | 4,084 | 52,119 | —    |
| ④ 今年度支出   | 4,403 | 4,053 | 4,663 | 4,509 | 3,792 | 3,448 | 53,153 | 102  |
| ⑤ 前年度収支差額 | 2,267 | 1,971 | 1,147 | 1,050 | 1,564 | 1,416 | 19,017 | —    |
| ⑥ 今年度収支差額 | 2,011 | 1,687 | 1,541 | 1,087 | 1,502 | 2,518 | 17,718 | 93.2 |





### 3. 年齢別・介護度別利用者数

|                | 事業対象者 | 要支援1        | 要支援2          | 要介護1          | 要介護2          | 要介護3        | 要介護4        | 要介護5        | 合計            |
|----------------|-------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 65歳未満          |       |             |               |               |               |             |             |             |               |
| 65歳以上<br>75歳未満 |       |             | 197<br>(23)   | 287<br>(34)   | 24<br>(2)     | 74<br>(4)   | 97<br>(12)  |             | 679<br>(75)   |
| 75歳以上<br>85歳未満 |       | 169<br>(43) | 776<br>(98)   | 688<br>(60)   | 1537<br>(106) | 45<br>(12)  | 93<br>(17)  | 2<br>(1)    | 3310<br>(337) |
| 85歳以上          |       | 218<br>(54) | 821<br>(127)  | 2502<br>(234) | 647<br>(75)   | 616<br>(42) | 158<br>(21) | 175<br>(10) | 5137<br>(563) |
| 合計             |       | 387<br>(97) | 1794<br>(248) | 3477<br>(328) | 2208<br>(183) | 735<br>(58) | 348<br>(50) | 177<br>(11) | 9126<br>(975) |

前半の数字は延べ回数、（ ）内の数字は実人数を示しています

### 4. 職員充足度（R3年3月現在）

職員 18 名（正職員 2 名 非常勤看護師 2 名 非常勤介護職員 14 名）

個別機能指導員（看護師）1 名含まない

|      | 営業<br>日数 | 利用者/<br>月 | 職員総時間数/<br>月 | 利用者/<br>日 | 職員<br>/日 | 職員<br>一人<br>対 | 職員/日 | 職員一人対 |
|------|----------|-----------|--------------|-----------|----------|---------------|------|-------|
| 4 月  | 26       | 676       | 2029         | 26.0      | 11.0     | 2.4           | 10.1 | 2.6   |
| 5 月  | 26       | 648       | 2015         | 24.9      | 10.6     | 2.3           | 9.6  | 2.6   |
| 6 月  | 26       | 792       | 2061         | 30.5      | 11.2     | 2.7           | 10.2 | 3.0   |
| 7 月  | 27       | 849       | 2050         | 31.4      | 10.6     | 3.0           | 9.6  | 3.3   |
| 8 月  | 26       | 767       | 2108         | 29.5      | 10.8     | 2.7           | 9.8  | 3.0   |
| 9 月  | 26       | 816       | 2033         | 31.4      | 10.9     | 2.9           | 9.9  | 3.2   |
| 10 月 | 27       | 812       | 1968         | 30.1      | 10.3     | 2.9           | 9.3  | 3.2   |
| 11 月 | 25       | 738       | 1937         | 29.5      | 10.4     | 2.8           | 9.4  | 3.1   |
| 12 月 | 27       | 824       | 2228         | 30.5      | 11.7     | 2.6           | 10.7 | 2.9   |
| 1 月  | 24       | 714       | 1791         | 29.8      | 11.5     | 2.6           | 10.5 | 2.8   |
| 2 月  | 24       | 691       | 1672         | 28.8      | 10.0     | 2.9           | 9.0  | 3.2   |
| 3 月  | 27       | 799       | 1909         | 29.6      | 10.1     | 2.9           | 9.1  | 3.3   |

# サンライフ土山居宅介護支援事業所

## 令和 2 年度 事業報告書

今年度は、職員 1 名退職となり、一時的に新規依頼を断る事もあった。新型コロナ感染予防のため、前年度の営業活動は、303 件だったが、今年度は 100 件まで減少した。新規依頼も大幅に増える事は無く、予防委託件数も、年間通して大きな変動はなかった。今年度から、在宅認調査の件数を増やす事で、大幅な収入減にならないようにした。調査依頼件数も、新型コロナの影響で、一時的に減ったが、1 回目の緊急事態宣言解除後から徐々に、依頼件数も戻り、毎月 20 件前後の調査を行うようになっている。今後も、できる営業活動を行ない、要介護者の新規獲得に力を入れ、同時に在宅調査の依頼も受け、事業所全体の収入が減少しないようにしたい。

### 1. 営業・新規獲得実績

(単位: 件)

|      | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計  |
|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 営業実績 | 4    | 6    | 5    | 9   | 21  | 6   | 51  |
| 新規獲得 | 3    | 1    | 1    | 0   | 3   | 2   | 35  |
|      | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計  |
| 営業実績 | 7    | 3    | 5    | 17  | 7   | 10  | 100 |
| 新規獲得 | 3    | 1    | 3    | 3   | 1   | 4   | 25  |

### 2. 居宅介護料収入

(単位: 千円)

|         | 4 月   | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月   | 9 月 | 小計     |
|---------|-------|------|------|-----|-------|-----|--------|
| 令和元年度   | 904   | 898  | 894  | 915 | 884   | 900 | 5,398  |
| 令和 2 年度 | 980   | 981  | 937  | 894 | 967   | 921 | 5,680  |
|         | 10 月  | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月   | 3 月 | 合計     |
| 令和元年度   | 1,034 | 955  | 925  | 913 | 1,000 | 966 | 11,194 |
| 令和 2 年度 | 994   | 856  | 899  | 888 | 887   | 906 | 11,110 |

### 3. 予防委託料収入

(単位: 千円)

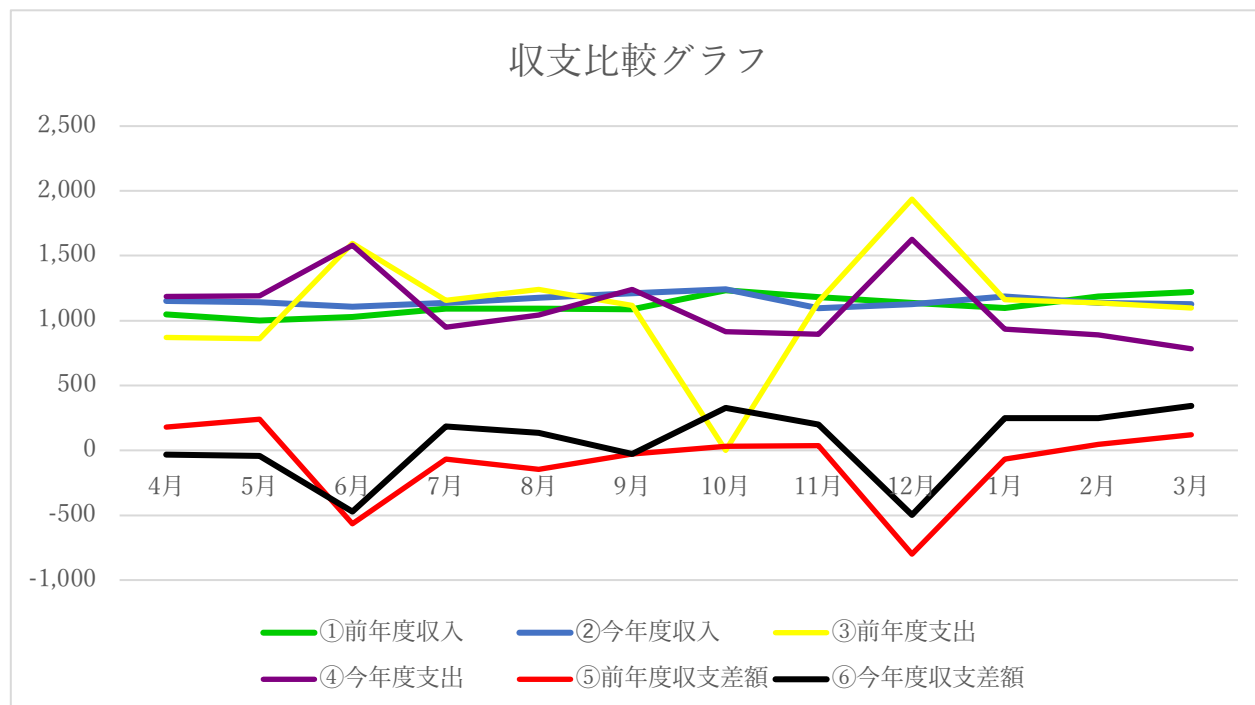
|         | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計    |
|---------|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 令和元年度   | 81   | 92   | 85   | 119 | 143 | 153 | 676   |
| 令和 2 年度 | 167  | 160  | 167  | 167 | 171 | 171 | 1,003 |
|         | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計    |
| 令和元年度   | 180  | 180  | 170  | 173 | 174 | 174 | 1,730 |
| 令和 2 年度 | 171  | 174  | 167  | 177 | 152 | 152 | 1,996 |

## 4.年間収支比較

(千円)

|          | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 小計     | 比率 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|----|
| ① 前年度収入  | 1,049 | 1,001 | 1,029 | 1,092 | 1,094 | 1,089 | 6,354  | —  |
| ② 今年度収入  | 1,153 | 1,144 | 1,105 | 1,137 | 1,177 | 1,212 | 6,928  |    |
| ③ 前年度支出  | 871   | 861   | 1,594 | 1,158 | 1,240 | 1,115 | 6,841  | —  |
| ④ 今年度支出  | 1,188 | 1,189 | 1,579 | 951   | 1,041 | 1,239 | 7,191  |    |
| ⑤前年度収支差額 | 178   | 240   | —565  | —66   | —146  | —26   | —487   | —  |
| ⑥今年度収支差額 | —35   | —45   | —474  | 186   | 136   | —27   | —263   |    |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 比率 |
| ① 前年度収入  | 1,234 | 1,183 | 1,137 | 1,098 | 1,186 | 1,219 | 13,411 | —  |
| ② 今年度収入  | 1,242 | 1,096 | 1,129 | 1,184 | 1,139 | 1,126 | 12,658 |    |
| ③ 前年度支出  | 1,204 | 1,145 | 1,937 | 1,163 | 1,139 | 1,097 | 14,529 | —  |
| ④ 今年度支出  | 914   | 895   | 1,627 | 936   | 889   | 783   | 13,238 |    |
| ⑤前年度収支差額 | 30    | 38    | —800  | —65   | 47    | 122   | —1,118 | —  |
| ⑥今年度収支差額 | 328   | 201   | —498  | 248   | 250   | 343   | —580   |    |

収支比較グラフ



## リハビリデイサービス サンライフ御立西

### 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度ささゆり会経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」に基づき、コロナ禍で多岐にわたり制限がある中で、利用者様に安心して利用していただき、またコロナ禍でも楽しんでいただける新たな試みを行うことに努めた。

#### 1. サービスの質向上に向けた職員教育

職員の資質向上の為、職員間で疑問点、不安点、問題点等常に問いかけ、確認しあう体制を整え、介護経験の少ない職員も介護職員として役割を果たせるよう努めた。また、それぞれの職種がより専門性を活かせるよう介護、看護それぞれの立場から、常に状況を報告・申し送りを行う事を徹底し、意見交換ができる環境を整えた。

#### 2. 有給取得

年 5 日以上の有給は取得できたが、送迎職員の確保が出来ず、希望時季の取得・連続取得の実施には至らなかった。今後は、人員の充足を図り、希望時季の取得・連続取得できる環境を整えていきたい。

#### 3. 食事内容の見直し

月 3 回の炊き込みご飯の提供に加え、月 1～2 回の施設内調理による温かい手作りメニューの提供を実施し、利用者様には好評を得ることが出来た。今後は、月 2 回実施の定着と、新メニューの開発に努めていきたい。

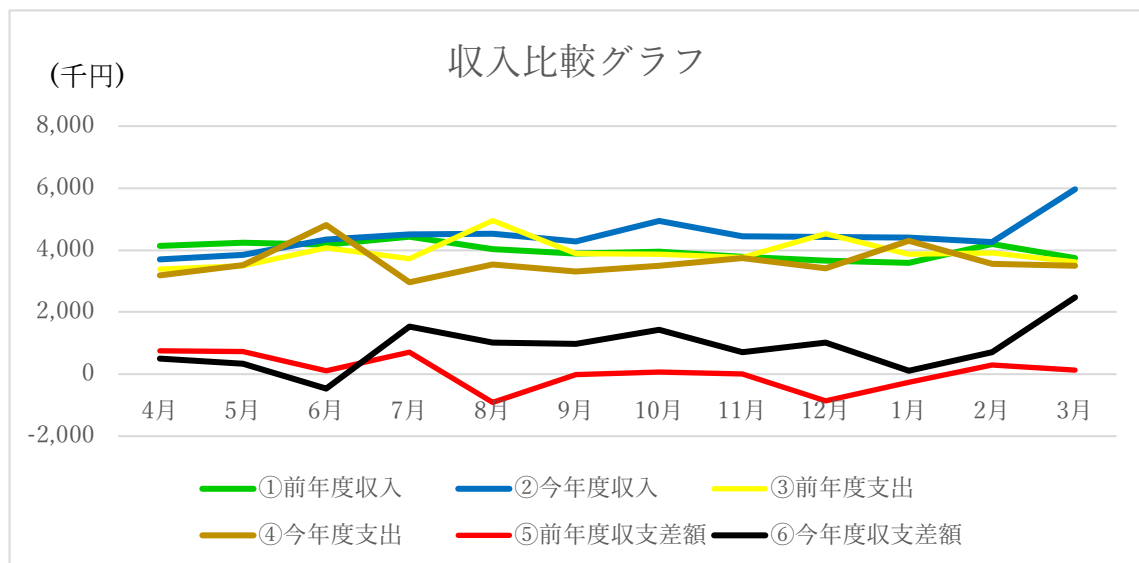
#### 4. 収入と利用者の確保

収入に関しては、緊急事態宣言時の 4 月 5 月は、前年度より 83 万円の減収となったが、6 月以降は利用者平均 20 名以上を維持し、収益も約 5 8 5 万円の増加となった。

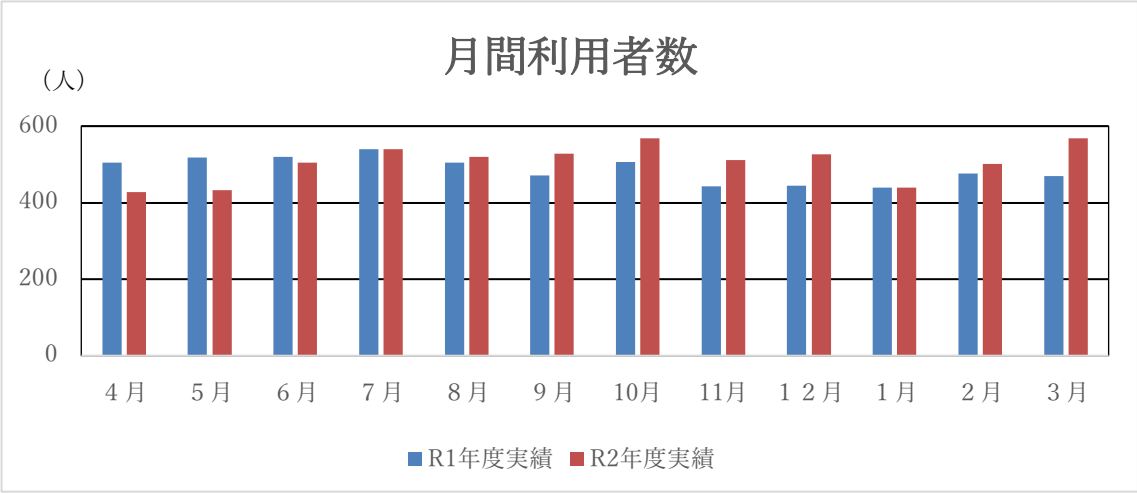
支出に関しては、紹介料、派遣人件費が昨年より約 290 万円減少等もあり、純利益が 960 万円増加することができた。

年間比較収支

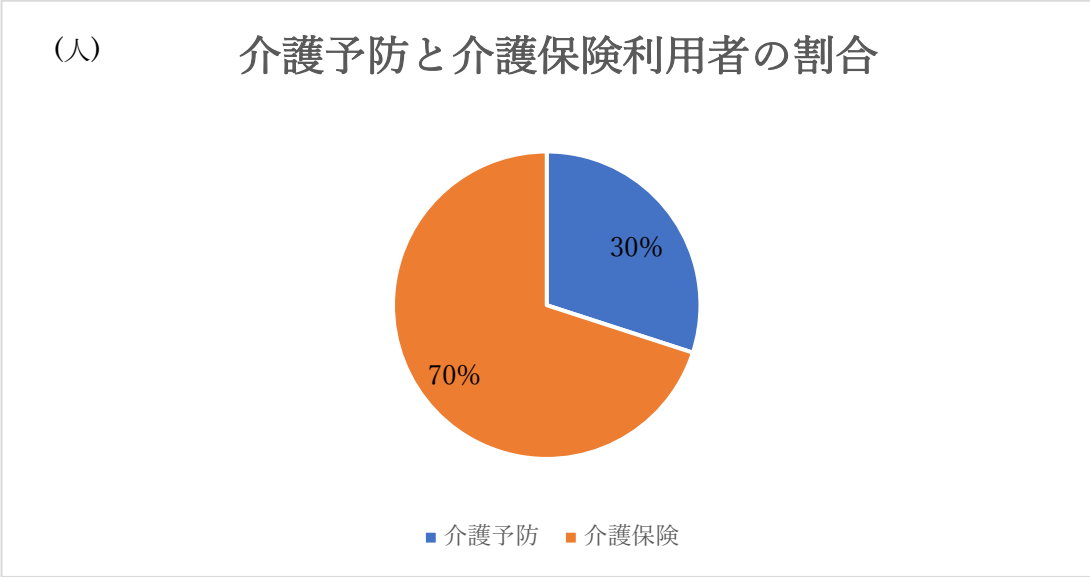
|          | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   | 小計     | 比率     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| ①前年度収入   | 4,141 | 4,235 | 4,178 | 4,434 | 4,043 | 3,881 | 24,912 |        |
| ②今年度収入   | 3,702 | 3,842 | 4,345 | 4,503 | 4,536 | 4,290 | 25,218 | 101.2  |
| ③前年度支出   | 3,388 | 3,498 | 4,074 | 3,734 | 4,954 | 3,898 | 23,546 |        |
| ④今年度支出   | 3,190 | 3,507 | 4,811 | 2,964 | 3,528 | 3,317 | 21,317 | 90.5   |
| ⑤前年度収支差額 | 753   | 737   | 104   | 700   | -911  | -17   | 1,366  |        |
| ⑥今年度収支差額 | 512   | 335   | -466  | 1,539 | 1,008 | 973   | 3,901  | 285.6  |
|          | 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   |        |        |
| ①前年度収入   | 3,941 | 3,778 | 3,662 | 3,590 | 4,203 | 3,741 | 47,827 |        |
| ②今年度収入   | 4,943 | 4,453 | 4,431 | 4,406 | 4,267 | 5,964 | 53,682 | 112.2  |
| ③前年度支出   | 3,871 | 3,762 | 4,528 | 3,860 | 3,908 | 3,612 | 47,087 |        |
| ④今年度支出   | 3,504 | 3,738 | 3,421 | 4,294 | 3,557 | 3,488 | 43,319 | 92.0   |
| ⑤前年度収支差額 | 70    | 16    | -866  | -270  | 295   | 129   | 740    |        |
| ⑥今年度収支差額 | 1,439 | 715   | 1,010 | 112   | 710   | 2,476 | 10,363 | 1400.4 |



令和 2 年度利用者数



令和 2 年度介護予防と介護保険利用者の割合



# 特別養護老人ホームサンライフ西庄

## 令和２年度 事業報告書

令和２年度経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」をもとに、職員の質の向上に向けバラツキ管理や介護技術指導を実施しサービスの向上、職員スキルの向上及び社員満足度の向上に努めた。

### １．業務のバラツキの低減

#### Ⅰ．ユニット毎に２４時間チェックシート作成

業務の標準化とサービスの徹底の為、業務２４時間シートを作成し、業務をどの時間帯に実施するか、また機能訓練や離床間を入居者様毎に管理すると共に体位変換の仕方についても病院のPTと連携し写真を貼るなど見える化を行い職員間で共有し大切な業務にはチェックを付ける事で管理の定着を図った。

#### Ⅱ．QCサークル活動による業務バラツキの低減への挑戦

入浴介助の時間及びサービスの質のバラツキの低減を目指し入居者毎に個別目標を設定し、職員が統一された質・決まった時間内でのサービス提供が出来るように活動を行い、意識を変えムダを省くことにより午前の入浴は３人が多かったが、現在は全員が午前中に４～５人を入浴が出来るようになっている。

### ２．介護技術指導の強化

法人の介護技術指導担当者より、介護技術に不安がある者を選定し現場でのマンツーマン指導を含め定期的な指導を実施したが、指導される側が業務を助けて貰えるとの意識があった為、下半期は指導者が業務のチェックのみ実施し、課題をユニットと共有し、PDCAを回し成長を促せるようにしたかったが、担当者の不在により活動が停止してしまった。

### ３．ケアプランの充実と徹底

#### Ⅰ．居室担当者ケアプラン原本の作成

入居者様に提供するサービスの徹底及び、入居者様を観る力・介護を考える力を育むため、施設長・相談員・リーダーが担当分けし指導することで居室担当が入居者様・家族様のニーズを確認しケアプラン原本を作成した、概ね作成は出来ているが、専門職との連携・PDCAサイクルを回す意識・徹底する力が弱い部分があり、また個人的な責任感が足りていない職員も居る為、施設長・相談員より個別に指導を行った。

#### Ⅱ．担当者会議の実施

居室担当者と専門職を中心にケアプラン原本を見直し、サービス方針を決めることで居室担当の知識向上及び専門職間での統一意識を持ったケアの提供を目指したが、職員が集まる時

間がとれない為、現在はケアマネージャー各担当者、専門職と話をを行い仲介役となって担当者会議を実施する形をとった。

#### 4. 職員のリフレッシュ及び健康管理の推進

人員の補充と定着を図り、有給取得5日以上取得と生活支援休暇が2日をとれるように計画し、1年以上勤務している者については全員が生活支援休暇もしくは有給取得にて7日の取得が出来た。

しかし、人間ドッグ推進をしていたが、対象者1名は実施に至らなかった。

#### 5. 次期リーダー育成及び資格取得

##### I. 資格取得の向上

職員のスキルアップの為、介護福祉士及びケアマネージャーの受験資格がある者については施設で確認し、受験の要請を行い、ケアマネージャーの受験をした者はいなかったが、介護福祉士は3名については全員合格することが出来た。

##### II. 次期リーダーの育成

現リーダーにより次期リーダー候補の育成を図っており、各業務に責任を持たせ実施することから始めている。課題としてはユニット会議や居室担当からの意見が出にくい為、多くの意見やアイデアが出る環境づくりをして行きたい。

#### 6. 地域貢献

リストランテ・ヴォーノやいきいき100歳体操を継続して実施する予定であったが、コロナ禍でのいきいき100歳体操の再開が難しかった為、いきいき100歳体操は地域の公民館での実施に変更となった。

また、リストランテ・ヴォーノについてもコロナの影響の中、状況を見て感染対策を行い定員15名にての開催を行った。コロナ拡大期の12月はクリスマス会として参加者にお弁当とプレゼントの配布をしたが、それ以降は感染防止の為、中止した。

#### 7. 収入の確保と支出

収入に関してはショートステイ・病院との連携及び施設内での点滴治療等の医療力を高め入院を防ぎ入所率98%を目標とし上半期は98.5%を達成出来、収益も約340万円の増加となった。

支出に関しては、紹介料が昨年より約145万円減少等もあり、純利益が約225万円増加することが出来た。

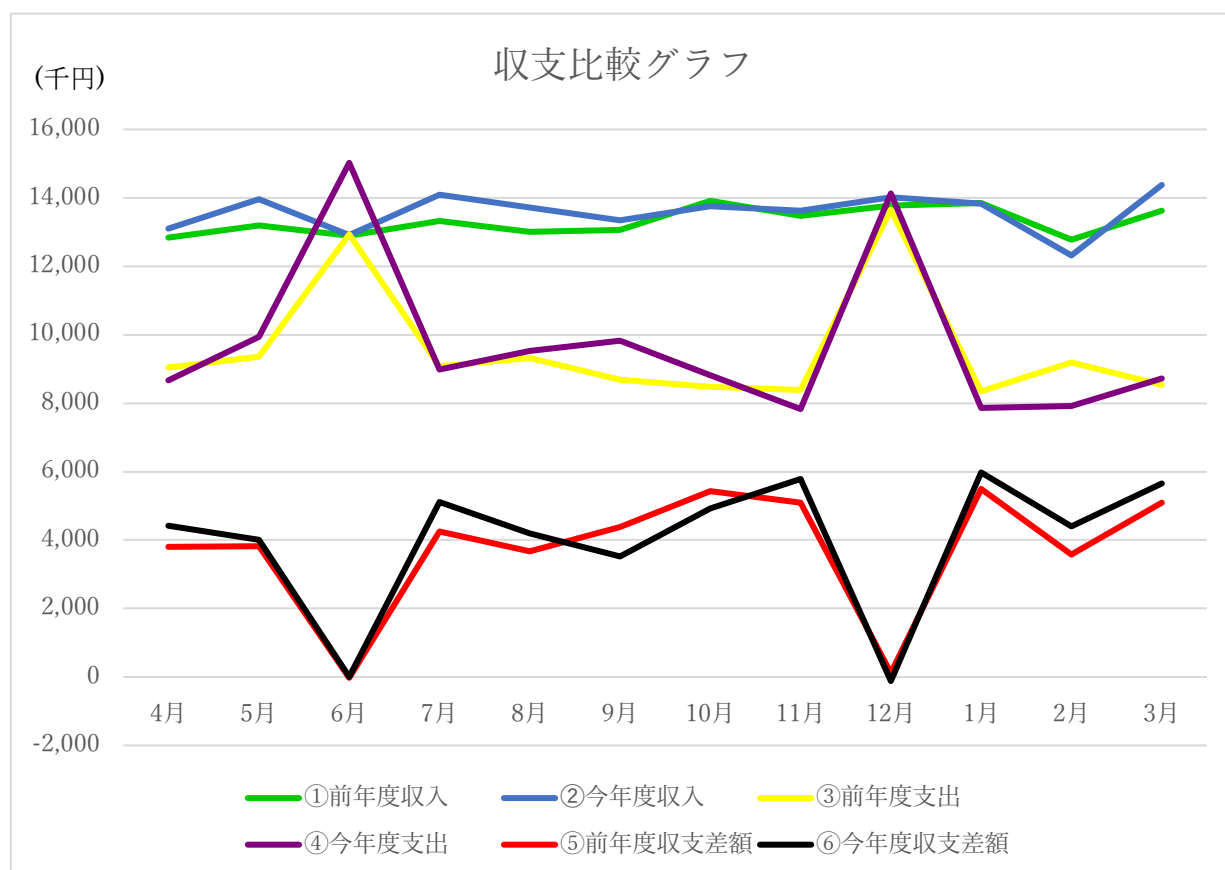
しかし、ミャンマーからの特定技能実習生が来日できず、地域密着型特養の人員配置、全国平均1:1.65に対し3月末時点西庄は1:2.18と職員数が少なく、長続きしない現状がある為、人員の確保に大きな課題が残る結果となった。



## 年間収支比較

(千円)

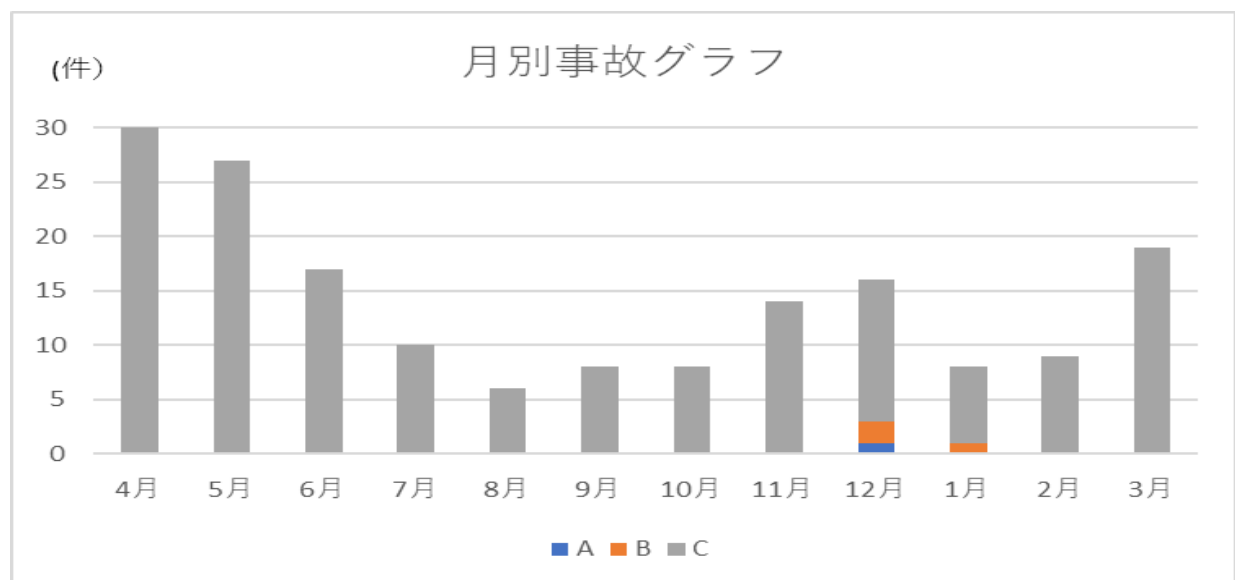
|          | 4 月    | 5 月    | 6 月    | 7 月    | 8 月    | 9 月    | 小計      | 比率    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ①前年度収入   | 12,847 | 13,198 | 12,901 | 13,326 | 13,002 | 13,062 | 78,336  | —     |
| ②今年度収入   | 13,102 | 13,954 | 12,923 | 14,093 | 13,727 | 13,348 | 81,147  | 103.6 |
| ③前年度支出   | 9,047  | 9,368  | 12,924 | 9,078  | 9,326  | 8,679  | 58,422  | —     |
| ④今年度支出   | 8,674  | 9,945  | 15,023 | 8,976  | 9,534  | 9,831  | 61,983  | 106.1 |
| ⑤前年度収支差額 | 3,800  | 3,830  | -23    | 4,248  | 3,676  | 4,383  | 19,914  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 4,428  | 4,009  | -2100  | 5,117  | 4,193  | 3,517  | 19,164  | 96.2  |
|          | 1 0 月  | 1 1 月  | 1 2 月  | 1 月    | 2 月    | 3 月    | 合計      | 比率    |
| ①前年度収入   | 13,913 | 13,471 | 13,769 | 13,844 | 12,778 | 13,623 | 159,734 | —     |
| ②今年度収入   | 13,747 | 13,621 | 14,012 | 13,834 | 12,318 | 14,378 | 163,057 | 102.1 |
| ③前年度支出   | 8,475  | 8,379  | 13,654 | 8,348  | 9,195  | 8,529  | 115,002 | —     |
| ④今年度支出   | 8,816  | 7,830  | 14,130 | 7,857  | 7,920  | 8,727  | 117,263 | 102.0 |
| ⑤前年度収支差額 | 5,438  | 5,092  | 115    | 5,496  | 3,583  | 5,094  | 44,732  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 4,931  | 5,791  | -118   | 5,977  | 4,398  | 5,651  | 45,794  | 102.4 |



## 事故件数

(単位：件)

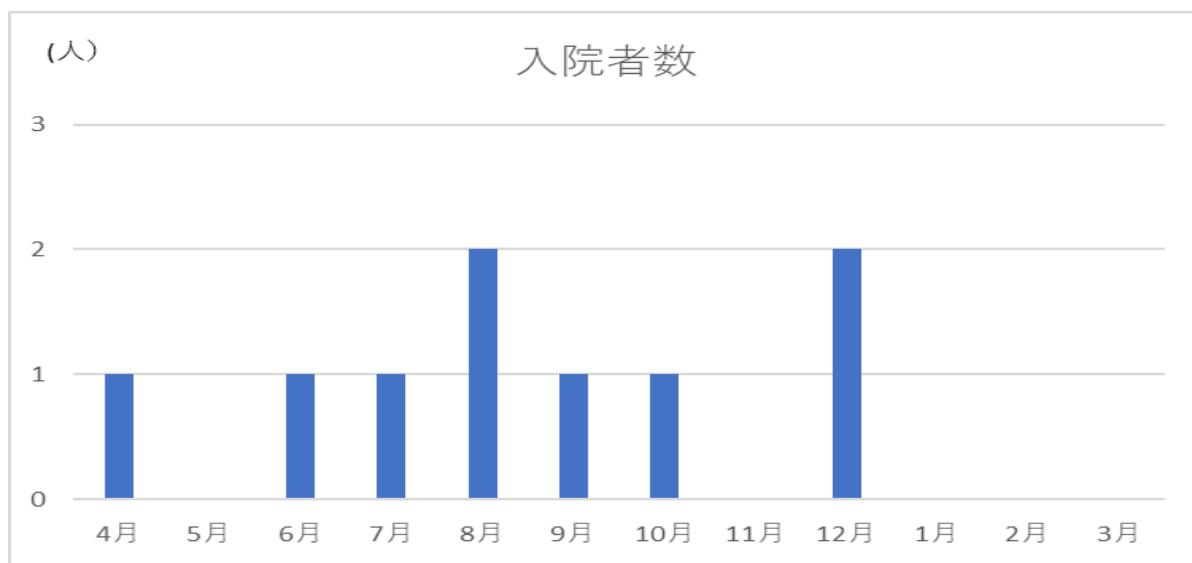
| 月  | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 合計  |
|----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 総数 | 30   | 27   | 17   | 10  | 6   | 8   | 98  |
| A  | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   |
| B  | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   |
| C  | 30   | 27   | 17   | 10  | 6   | 8   | 98  |
| 月  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |     |
| 総数 | 8    | 14   | 16   | 8   | 9   | 8   | 161 |
| A  | 0    | 0    | 1    | 0   | 0   | 0   | 1   |
| B  | 0    | 0    | 2    | 1   | 0   | 0   | 3   |
| C  | 8    | 14   | 13   | 7   | 9   | 8   | 157 |



## 入院者数

(単位：人)

|         | 4 月  | 5 月  | 6 月        | 7 月 | 8 月     | 9 月  | 合計 |
|---------|------|------|------------|-----|---------|------|----|
| 令和 2 年度 | 1    | 0    | 1          | 1   | 2       | 1    | 6  |
| 理由      | 高血糖  |      | 肺炎         | 肺炎  | 肺炎・蜂窩織炎 | 検査入院 |    |
|         | 10 月 | 11 月 | 12 月       | 1 月 | 2 月     | 3 月  | 合計 |
| 令和 2 年度 | 1    | 0    | 2          | 0   | 0       | 0    | 9  |
| 理由      | 肺炎   |      | 蜂窩織炎<br>骨折 |     |         |      |    |

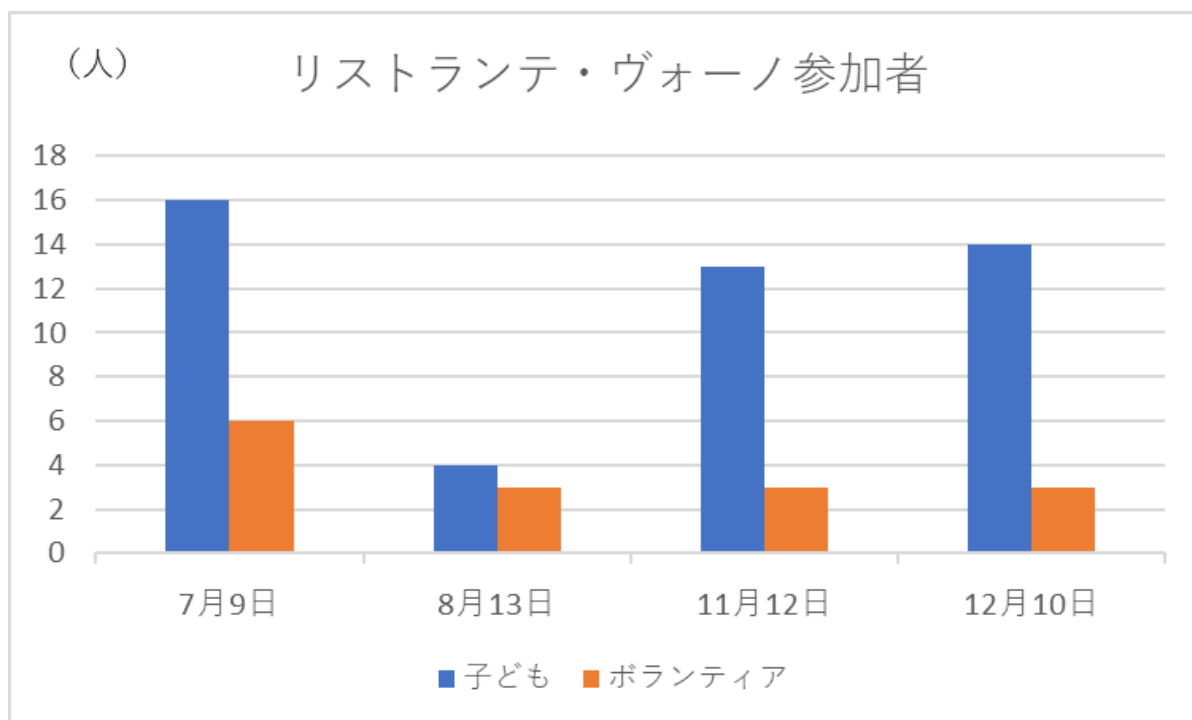


リストランテ・ヴォーノ参加状況

(人)

|        | 7月9日 | 8月13日 | 11月12日 | 12月10日 |
|--------|------|-------|--------|--------|
| 子ども人数  | 16   | 4     | 13     | 14     |
| ボランティア | 6    | 3     | 3      | 3      |

※12月はお弁当・プレゼントの配布のみ



# サンライフ西庄 ショートステイ 令和2年度 事業報告書

令和2年度経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」をもとに、職員の質の向上に向けバラツキ管理や介護技術指導を実施しサービスの向上、職員スキルの向上及び社員満足度の向上に努めた。

## 1. 業務のバラツキの低減

### I. ユニット毎に24時間チェックシート作成

業務の標準化とサービスの徹底の為、業務の24時間シートを作成し、業務の着替えや口腔衛生・機能訓練・排泄介助・離床時間・水分補給・レクリエーション等が、どの時間帯に実施するかを見える化し、職員間で共有し大切な業務にはチェックや押印する事で管理の定着を図った。

### II. QC サークル活動による業務バラツキの低減への挑戦

入浴介助の時間及びサービスの質のバラツキの低減を目指し入居者毎に個別目標を設定し、職員が統一された質・決まった時間内でのサービス提供が出来るように努めた。現在はユニット全員が午前中に同じ人数の入浴介助が出来るようになっている。

## 2. 介護技術指導の強化

法人の介護技術指導担当者より、介護技術に不安がある者を選定し現場でのマンツーマン指導を含め定期的な指導を実施したが、指導される側が業務を助けて貰えるとの意識があった為、下半期は指導者が業務のチェックのみ実施し、課題をユニットと共有し、PDCAを回し成長を促せるようにしたかったが、担当者の不在により活動が停止となった。

## 3. 職員のリフレッシュ及び健康管理の推進

人員の補充と定着を図り、有給取得5日以上取得と生活支援休暇が2日をとれるように計画し、1年以上勤務している者については全員が生活支援休暇もしくは有給取得を合計し7日の休暇取得が出来た。

## 4. 次期リーダー育成及び資格取得

### I. 資格取得の向上

職員のスキルアップの為、介護福祉士及びケアマネジャーの受験資格がある者については施設で確認し、来年度は1名の介護福祉士受験の希望がある。

### II. 次期リーダーの育成

現リーダーにより次期リーダー候補の育成を図っており、各業務や担当に責任を持たせ実施することから始めている。ユニット会議を実施することにより意見やアイデアが出ている為、引き続き継続していきたい。

## 5. 営業活動の実施

現在ロングショートの利用者様の急な入院や退所の際、すぐに空床の部屋を埋められない為、居宅介護支援事業所等への営業活動を目標とした。

上半期は新型コロナウイルスの影響や職員の定着率、欠勤等の問題等により営業活動が進まず、数件しか訪問できなかった。下半期も同様営業活動が進まなかった。訪問しケアマネジャー等からメールアドレスを聞き取り、空床が出る場合には一斉メールを送ることにより空床の部屋を減らすようにしたいが、事業所によってはメールでの知らせでなく、FAXや電話で知らせてほしいと言われる事業所もあった。今後も空きが出れば電話をかけ、各事業所を訪問しながらケアマネジャーへの営業活動を継続したい。

## 6. 収入の確保と支出

収入に関しては病院との連携及び、施設内での点滴治療等の医療力を高め入院を防ぎ入所率98%を目標とし上半期は99.8%を達成出来たが、下半期は97.2%と目標には及ばなかった。

1年間の平均では98.5%となり収益は約23万円の増加となった。

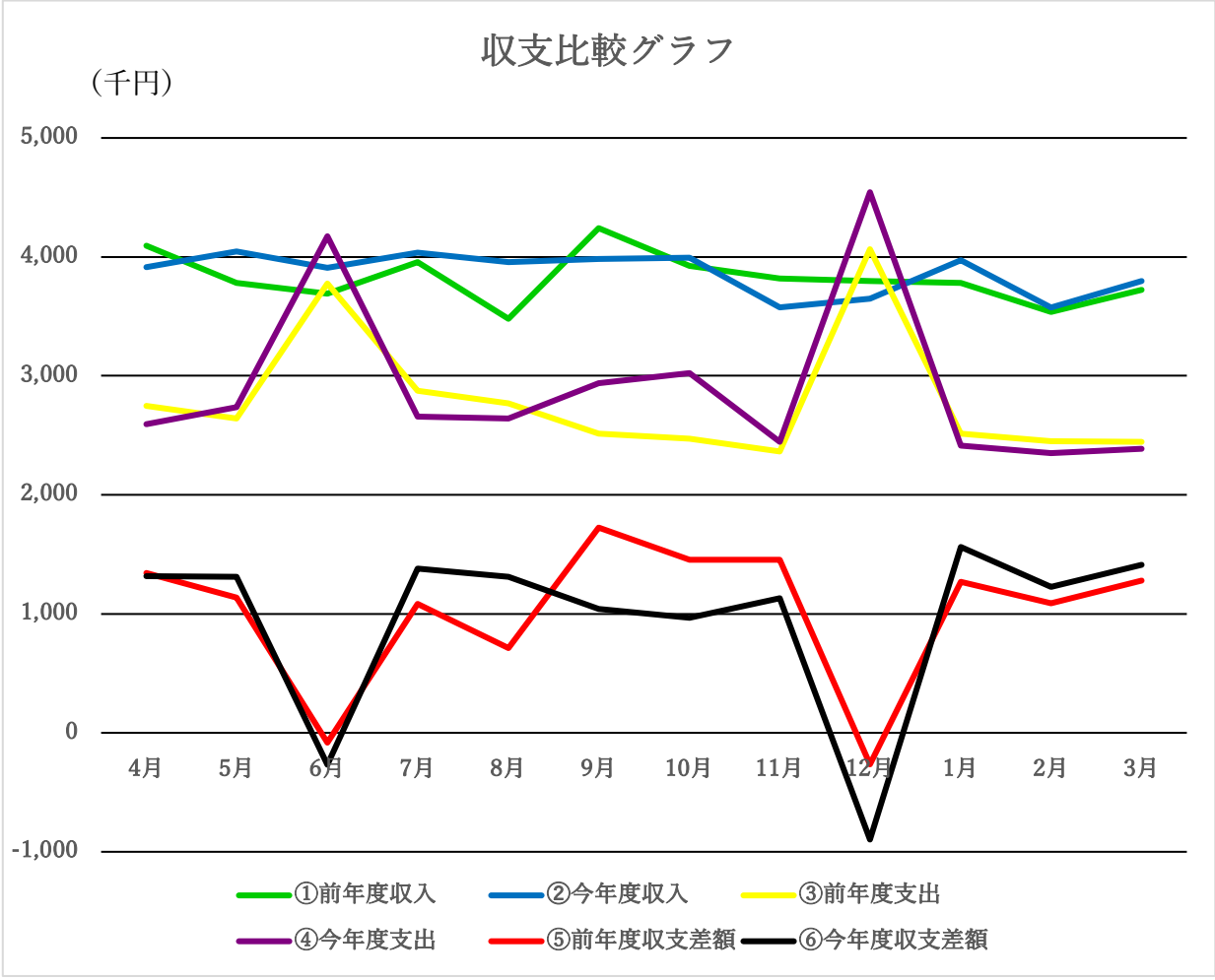
支出に関しては、退職・異動により紹介料が約27万円で昨年より113万円減少したが、その他の支出があり純利益としては約5万円減少した。

地域密着型の人員配置は、全国平均1:1.65に対し3月末時点で西庄は1:1.81と職員数が少なく、長続きしない現状がある為、日勤勤務者が確実に配置できるような環境整備が課題となった。

### 年間収支比較

(単位:千円)

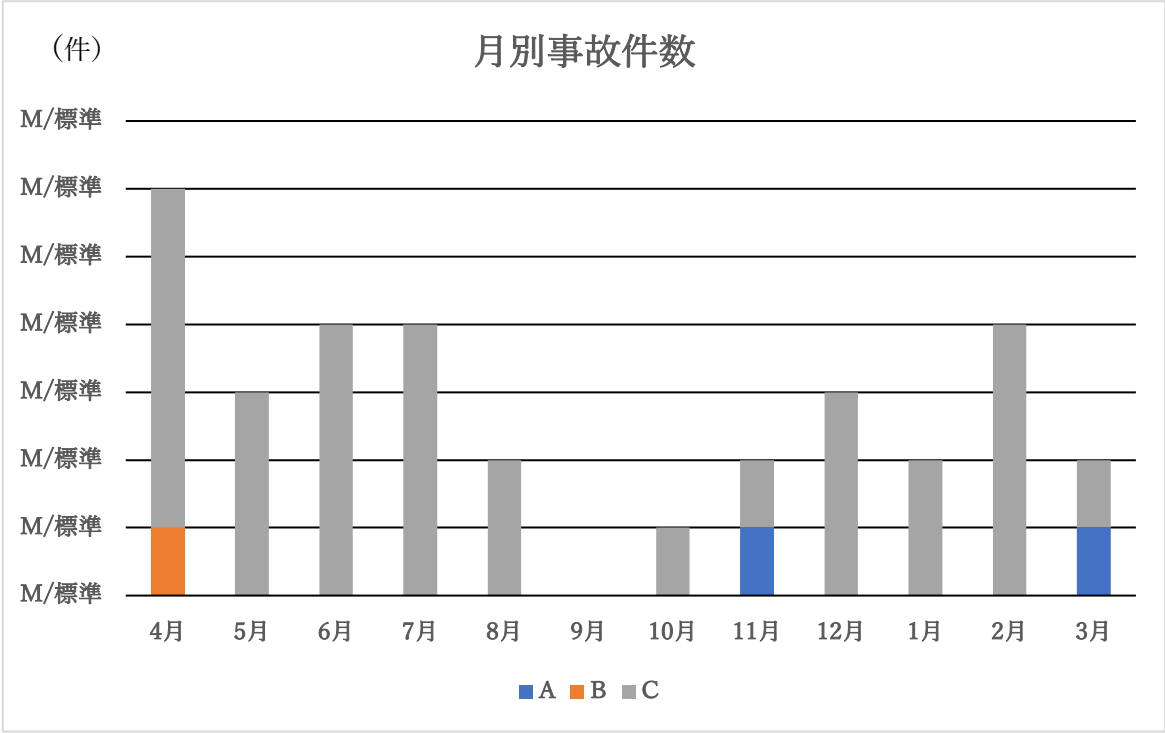
|          | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ①前年度収入   | 4,092 | 3,779 | 3,694 | 3,957 | 3,480 | 4,242 | 23,244 | —     |
| ②今年度収入   | 3,913 | 4,046 | 3,908 | 4,038 | 3,954 | 3,982 | 23,841 | 102.5 |
| ③前年度支出   | 2,750 | 2,644 | 3,777 | 2,875 | 2,767 | 2,517 | 17,330 | —     |
| ④今年度支出   | 2,596 | 2,736 | 4,175 | 2,659 | 2,642 | 2,939 | 17,747 | 102.4 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,342 | 1,135 | -83   | 1,082 | 713   | 1,725 | 5,914  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 1,317 | 1,310 | -267  | 1,379 | 1,312 | 1,043 | 6,094  | 103   |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 比率    |
| ①前年度収入   | 3,926 | 3,820 | 3,800 | 3,784 | 3,539 | 3,723 | 22,592 | —     |
| ②今年度収入   | 3,992 | 3,576 | 3,647 | 3,975 | 3,577 | 3,798 | 22,565 | 99.8  |
| ③前年度支出   | 2,474 | 2,365 | 4,065 | 2,517 | 2,452 | 2,445 | 16,318 | —     |
| ④今年度支出   | 3,023 | 2,445 | 4,544 | 2,413 | 2,351 | 2,387 | 17,163 | 105.1 |
| ⑤前年度収支差額 | 1,452 | 1,455 | -265  | 1,267 | 1,087 | 1,278 | 6,274  | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 969   | 1,131 | -897  | 1,562 | 1,226 | 1,411 | 5,402  | 86.1  |



事故件数

(単位 :  
件)

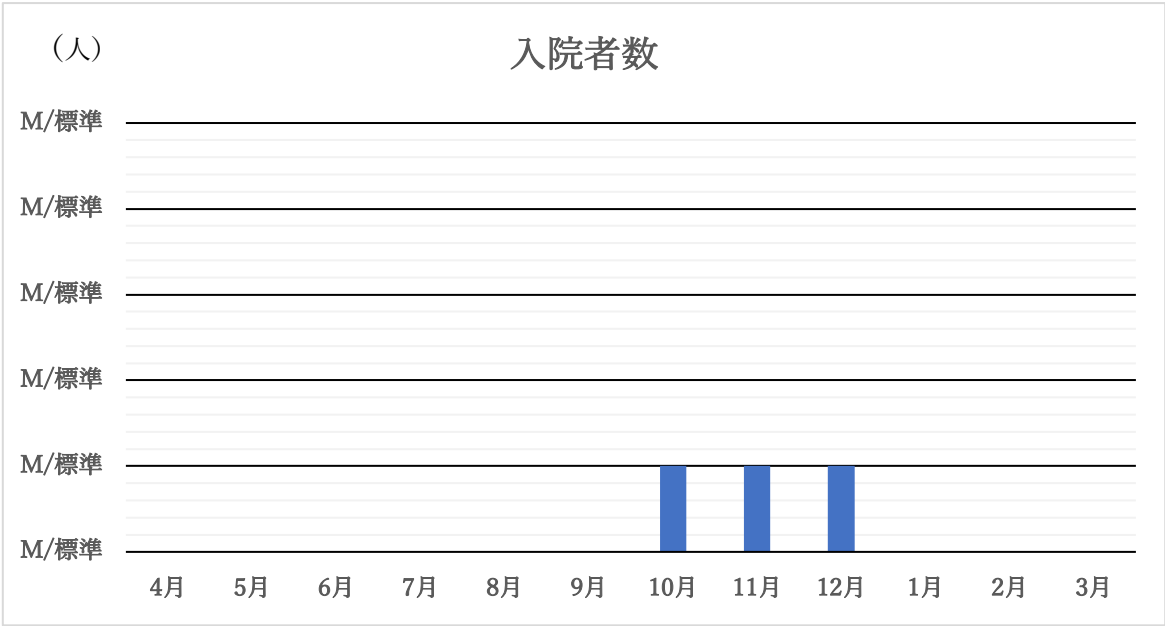
| 令和 2 年 | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 小計 |
|--------|------|------|------|-----|-----|-----|----|
| 総数     | 6    | 3    | 4    | 4   | 2   | 0   | 19 |
| A      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0  |
| B      | 1    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 1  |
| C      | 5    | 3    | 4    | 4   | 2   | 0   | 18 |
| 令和 2 年 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
| 総数     | 1    | 2    | 3    | 2   | 4   | 2   | 33 |
| A      | 0    | 1    | 0    | 0   | 0   | 1   | 2  |
| B      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 1  |
| C      | 1    | 1    | 3    | 2   | 4   | 1   | 30 |



入院者数

(単位：人)

|      |     |     |      |    |    |    |    |
|------|-----|-----|------|----|----|----|----|
| 令和2年 | 4月  | 5月  | 6月   | 7月 | 8月 | 9月 | 小計 |
| 入院者数 | 0   | 0   | 0    | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 理由   |     |     |      |    |    |    |    |
| 令和2年 | 10月 | 11月 | 12月  | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 入院者数 | 1   | 1   | 1    | 0  | 0  | 0  | 3  |
| 理由   | 肺炎  | 骨折  | 結核疑い |    |    |    |    |



# グループホーム サンライフ西庄

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度ささゆり会経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」をもとに、グループホームならではの家事支援に着目し、入居者様それぞれが役割を持った生活をしていただけるよう適切なサービスを提供することに務めた。

### 1. 個人のニーズに合わせた「個別ケアサービス」の実現

#### I. 下肢筋力の維持・向上

毎日の日課（ラジオ体操、散歩、口腔体操、口腔衛生）の中に入居者様・家族様からのニーズが多い足の運動を取り入れた。地域交流でも参加していた「100歳体操」を、毎日取り入れる事で下肢筋力の維持を目指したが、職員により運動時間や内容にばらつきがあった。

#### II. 認知症に特化したレクリエーション活動の充実

壁面づくりは職員の得意不得意の差があるため、関連本を利用しながら 2 ユニット同じ壁面を入居者様と製作した。個々に「出来る事」や「したい事」の役割分担をしながら、1 つの作品を皆で完成させた。皆と一緒にやってみようかと挑戦し、出来る喜びが自信に繋がった。完成するまでの楽しみや作品が出来た達成感を感じられ、脳の活性化を促すことができた。また、家庭菜園ではキュウリ、ズッキーニ、トマトなどを育てた。野菜を育てることで昔のことを思い出し、土を触ったり外気浴などして気分転換に繋がった。

### 2. 地域交流

週 1 回開催されていた「いきいき 100 歳体操」は、グループホーム入居者様の参加や地域の方との顔馴染みの関係も増えてきていたが、コロナ禍での再開が難しく地域の公民館での実施に変更となった。

### 3. サービスの質の向上と人財育成

#### I. 施設内外の研修の参加及び資格取得

月ごとに研修担当と内容を決めた西庄職員全体の施設内研修を行い、職員の介護の質の向上に努めた。外部研修では、認知症実践者研修に 2 名参加することができ、サービスの質の向上に繋げることができた。また、3 名の職員が目標であった介護福祉士の資格を取得した。

#### II. QC サークル活動の展開

グループホームでは、初めての QC サークル活動を実施した。初めて経験する職員構成である為、知識不足や職員の人員不足などにより時間を要した。全員の入居者様に役割を持った生活を送っていただくために、利用者様の家事の参加率の向上を目指し取り組ん



だ。職員のサービスの提供のバラツキが改善され目標が達成できた。

### 3. 休暇が取れる環境づくり

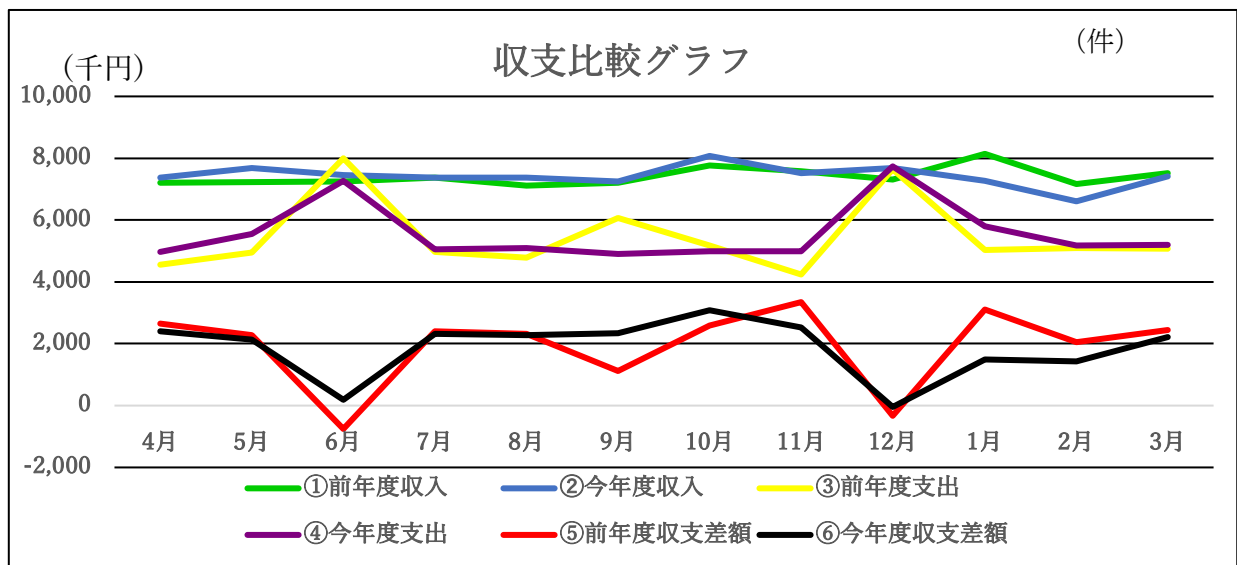
上半期は職員の退職や体調不良による欠勤が続き、有給休暇の取得が難しかったが、下半期ではバランス良く取得できた。生活支援休は、ほぼ全員取得することができた。

### 4. 収入の確保

昨年度より収益が約26万の増加となったが、入院が続き入退居の調整が上手くいかず、年間の平均稼働率は95%であった。職員支出に関しては、派遣の人件費や紹介料が昨年より約76万円減少したが、その他の支出があり純利益としては約3千円減少した。

年間収支比較 (千円)

|          | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 小計     | 比率    |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| ①前年度収入   | 7,214 | 7,222 | 7,244 | 7,375 | 7,114 | 7,199 | 43,368 | —     |
| ②今年度収入   | 7,374 | 7,679 | 7,464 | 7,370 | 7,378 | 7,251 | 44,516 | 102.6 |
| ③前年度支出   | 4,553 | 4,949 | 7,999 | 4,981 | 4,786 | 6,075 | 33,343 | —     |
| ④今年度支出   | 4,979 | 5,543 | 7,271 | 5,057 | 5,092 | 4,904 | 32,846 | 98.5  |
| ⑤前年度収支差額 | 2,661 | 2,273 | -755  | 2,394 | 2,328 | 1,124 | 10,025 | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 2,395 | 2,136 | 193   | 2,313 | 2,286 | 2,347 | 11,670 | 116.4 |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     | 比率    |
| ①前年度収入   | 7,769 | 7,587 | 7,307 | 8,142 | 7,161 | 7,512 | 88,846 | —     |
| ②今年度収入   | 8,075 | 7,527 | 7,693 | 7,275 | 6,607 | 7,414 | 89,107 | 100.3 |
| ③前年度支出   | 5,187 | 4,240 | 7,632 | 5,026 | 5,104 | 5,071 | 65,603 | —     |
| ④今年度支出   | 4,991 | 4,997 | 7,737 | 5,792 | 5,187 | 5,205 | 66,755 | 51.7  |
| ⑤前年度収支差額 | 2,582 | 3,347 | -325  | 3,116 | 2,057 | 2,441 | 23,243 | —     |
| ⑥今年度収支差額 | 3,084 | 2,530 | -44   | 1,483 | 1,420 | 2,209 | 22,352 | 96.2  |



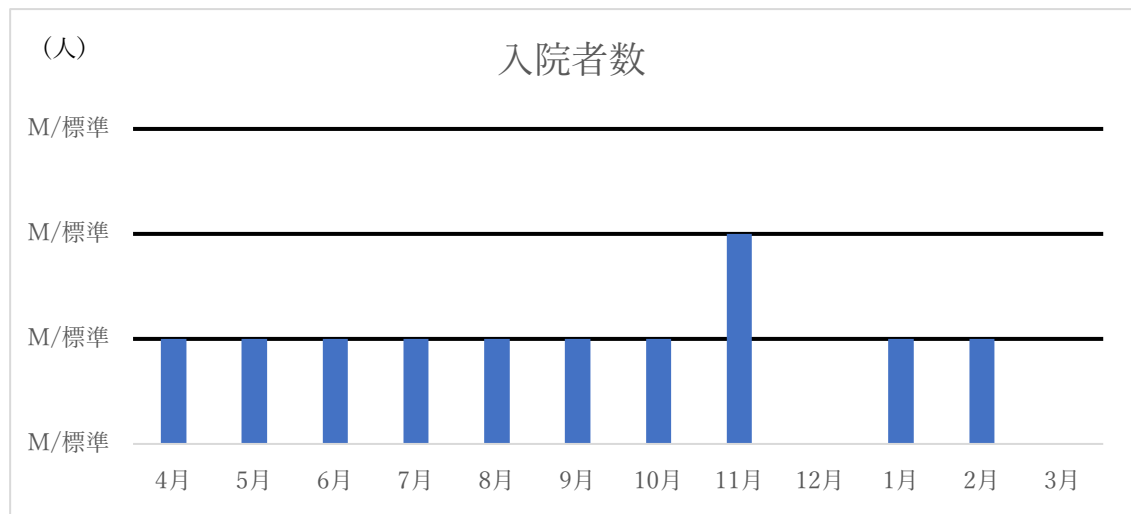
### 事故件数

| 令和2年度           | 4月  | 5月  | 6月  | 7月 | 8月 | 9月 | 小計  |
|-----------------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| A (入院加療を要する事故)  | 0   | 0   | 0   | 0  | 1  | 1  | 2   |
| B (受診・通院を要する事故) | 0   | 2   | 0   | 1  | 1  | 0  | 4   |
| C (痛み・外傷を伴わない)  | 7   | 13  | 7   | 20 | 11 | 6  | 64  |
| 合計              | 7   | 15  | 7   | 21 | 13 | 7  | 70  |
|                 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| A (入院加療を要する事故)  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   |
| B (受診・通院を要する事故) | 0   | 1   | 0   | 1  | 0  | 0  | 6   |
| C (痛み・外傷を伴わない)  | 13  | 6   | 7   | 6  | 2  | 9  | 107 |
| 合計              | 12  | 7   | 7   | 7  | 2  | 9  | 114 |

### 入院者数

(人)

|      | 4月  | 5月       | 6月  | 7月  | 8月 | 9月 | 小計 |
|------|-----|----------|-----|-----|----|----|----|
| R2年度 | 1   | 1        | 1   | 1   | 1  | 1  | 6  |
| 理由   | 頚椎症 | 腎機能障害    | 糖尿病 | 脳梗塞 | 骨折 | 骨折 |    |
|      | 10月 | 11月      | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 | 合計 |
| R2年度 | 1   | 2        | 0   | 1   | 1  | 0  | 11 |
| 理由   | 胆嚢炎 | 胆管結石・胆管炎 |     | 肺炎  | 肺炎 |    |    |



### 施設内研修

| 実施月 | 研修内容          | 参加人数 | 実施月  | 研修内容    | 参加人数 |
|-----|---------------|------|------|---------|------|
| 4 月 | QC 活動         | 6 名  | 10 月 | 感染性     | 5 名  |
| 5 月 | ケアプラン         | 3 名  | 11 月 | 車両規程    | 5 名  |
| 6 月 | 衛生管理          | 6 名  | 12 月 | 看取り     | 5 名  |
| 7 月 | 排泄            | 4 名  | 1 月  | 緊急時対応   | 7 名  |
| 8 月 | リスクマネジメン<br>ト | 4 名  | 2 月  | 身体拘束・虐待 | 9 名  |
| 9 月 | 医療行為          | 10 名 | 3 月  | 認知症     | 10 名 |

## 特別養護老人ホームサンライフ西庄 医務

### 令和2年度 事業報告書

利用者様・利用者様家族が、安心して過ごせる、また介護を任せいただける環境作りを目指すとともに、職員が安全で働きやすく自分の家族を入所させたいと思えるような職場環境づくりに努めた。それに応えるべく施設長、相談員、介護士、栄養士、ケアマネ、医師、看護師で連携し、入居者様の日々の観察、体調管理を行い、身体的異常の早期発見、対応が出来るよう実施した。

#### 1. 褥瘡を0にする

2名褥瘡が発生した。栄養状態が悪化しており、下痢のある利用者様での発生であった。高齢者で皮膚の脆弱化がすすみ、栄養状態の悪化や関節拘縮の進行、便失禁等様々な要因で容易に褥瘡形成に至ってしまうため、リスクのある利用者様の皮膚の観察、スキンケアの方法の検討、良肢位の保持等援助方法を介護職、栄養士とともに情報共有を行い、施設での褥瘡発生件数を出来る限り少なくすることができた。

#### 2. 連携の強化と早期発見治療によるベッドコントロール

誤嚥性肺炎、蜂窩織炎、骨折等で入院された利用者が年間で9名おられた。状態が改善し退院できた方もおられるが、入院が長期化したり、退所となった利用者もおられた。利用者の早期回復・退院ができるように施設でできる対応（点滴加療や受診対応等）を医療機関にも働きかけて連携していくことで、入院をせずに施設での療養で回復されたことも多くなった。そのためにも利用者の状態把握するためにバイタル測定を毎日実施することで異状の早期発見に努めた。また、受診についてもできるだけ早期に対応し、医療機関との連携を行うことができた。

#### 3. 日常生活機能訓練の強化

介護士と日々の状況を情報交換しながら、理学療法士から利用者の生活行動に合わせた機能訓練を検討している。日々のADLの中でできるリハビリを中心に行う事で現在の機能ができるだけ長く維持できるよう努めた。高齢者に起こりやすい誤嚥に対しては栄養士を含めた食事の形態調整や訪問歯科による口腔内の保清など様々な職種と調整しながら予防ケアに努めることができた。

# 特別養護老人ホームサンライフ西庄(厨房)

## 令和2年度 事業報告書

昨年度は常勤調理師の異動や非常勤職員の体調不良等の欠勤が続き、下半期は管理栄養士業務に十分な時間をとることが困難であった。

そして、昨年度は利用者様の入退院等の連絡漏れを防ぐため食事伝票を新たに作成した。しかし、提出漏れが多かったため、その都度厨房から提出を促した。

### I 人材の定着・育成

昨年度は、業務に関する変更事項を非常勤職員が忘れてしまうことが多かったため、特に大事なことは付箋に書き目の届く場所に貼ったり、調理に関することは調理師より、その他のことは管理栄養士より業務前に注意・指示をする等の工夫を行った。そして、分からないこと・疑問に思ったことを解決しないまま業務をすることが間違いの原因になると考え、いつでも質問しやすい雰囲気づくりのためにコミュニケーションをとることを心掛けた。

調理技術の研修会は開催されなかったが、意見を出し合い業務内容の見直しを行い、効率よく業務がまわるよう改善し、無駄を省くことができた。

### II 献立の充実

昨年度は、献立の作成の際に管理栄養士と調理師が意見を出し合い、偏ったメニューにならないよう気を付けた。そして計11回の行事食（正月・節分・バレンタイン・お彼岸・ひな祭り・子供の日・七夕・敬老の日・ハロウィン・クリスマス・大晦日）を取り入れ、利用者様に季節を感じて頂けるようにした。また、ミールラウンドの際に利用者様からリクエストがあればできる限り献立に取り入れるよう心掛けた。

盛り付けに関しては、調理師が配膳に上がった際にフロア配膳後の盛り付けが雑であったり食器の置く位置がバラバラなことに気付き注意を行った。

食材費に関して、在庫食材とそうでないものの区別をつけるため、在庫食材を分けて置いたり、在庫食材リストを作成し期限内に使用することで食材廃棄を大幅に減らすことができた。

そして、発注に関しては、各業者から相見積もりを取り、良い品をより安い業者から仕入れる工夫を行った。

### III 衛生管理

昨年度は、非常勤職員の衛生に対する意識が低くなっていると感じる時があったが、その都度注意をすることで再度衛生に対する意識を高めるようにした。また、6月には「衛生的な手洗いの方法」について施設内研修を行い、厨房職員にも実演を交え指導した。

異物混入に関して、昨年度は 1 件の報告があった（鮭に骨があった（職員食））。業者には報告し注意を促している。盛り付け時、魚をほぐす際は骨を見逃さないよう各自が意識をもっていたので利用者様の食事への混入は防ぐことができた。

#### IV 栄養ケアマネジメントの充実

昨年度、上半期は管理栄養士・調理師も食事介助を行うことにより、どのように食べておられるか、味や食べやすさ等の率直な意見を聞くことができ、献立や調理に活かすことができた。しかし、下半期は職員の異動や欠勤により厨房業務中心になり、管理栄養士業務に十分な時間をとることが困難であった。

#### V 食事形態

昨年度、退院後は食形態が落ちている方が多かったことや義歯の調整等もあり、極刻み食の利用者が増えていた。

令和 3 年 3 月時点での食事形態は以下のとおりである。

|            | 普通食  | 刻み食 | 極刻み食 | ミキサー食 | 経管栄養 |
|------------|------|-----|------|-------|------|
| 令和 2 年 3 月 | 14 名 | 4 名 | 4 名  | 7 名   | 0 名  |
| 令和 3 年 3 月 | 13 名 | 4 名 | 5 名  | 7 名   | 0 名  |

すべての食事の形態アップは難しくても、「おやつだけ普通食」「寿司の日だけ普通食」というように食べれるものだけでも形態をアップする対応を行った。

そして、食思の低い方には必要に応じ栄養補助食品を提供し必要栄養量の確保に努めた。

#### VI 子供食堂の充実

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、7 月・8 月・11 月・12 月の 4 回の開催であった。

参加者数は以下のとおりである。

|      | 7 月 9 日<br>たこ焼き・ポテト<br>お菓子詰め合わせ | 8 月 13 日<br>唐揚げカレー<br>コアラのマーチ | 11 月 12 日<br>ハンバーグカレー<br>ポッキー（抹茶） | 12 月 10 日<br>クリスマス弁当<br>クリスマスプレゼント |
|------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 参加者数 | 16 名（ボランティア 3 名）                | 6 名（ボランティア 3 名）               | 13 名（ボランティア 3 名）                  | 14 名（ボランティア 5 名）                   |

新型コロナウイルス感染症の流行により地域行事の中止が相次いだため、7 月のメニューは屋台の定番のたこ焼き・フライドポテトにし、夏祭り気分を味わってもらえるよう工夫した。

また、12 月はクリスマス会を行うことができずクリスマスキラキラ弁当とプレゼントの配布のみとなったが好評であった。

そして、子供食堂開催時はテーブルのレイアウトを変えたり、おかわりを中止して 3 密にならないように細心の注意を払い感染予防に努めた。

# 小規模多機能ホームサンライフ岡田

## 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年 10 月に小規模多機能ホームサンライフ岡田がオープンし、半年が経過した。ささゆり会の基本理念である「基本的人権の尊重、健全育成・援護の実現、社会的自立の助長、地域福祉への貢献」に基づき、①利用者様一人ひとりのそれまでの生活習慣への配慮、②自身の生き方が尊重される日常生活の支援、③住み慣れた地域で安心かつ満足して暮らしていただけるサービスの提供を目指した。

### 1. 個人に応じた利用計画作成

利用者様が在宅での生活が継続できるよう、個々の特性に応じた小規模多機能型居宅介護計画を作成し、支援の提供を行った。利用者様・家族様の利用希望日程をすべて受け入れると、すぐに 1 日の利用定員に達してしまう為、サービスの調整が難しい面がある。登録人数が増えてくるとよりサービスの調整が難しくなってくるため、来年はより気を付けて利用計画を立てていきたい。

### 2. 人材育成

法人で初めての小規模多機能ホームで、訪問・通い・宿泊と 3 つのサービスを提供しなければならない為、開設当初は職員にも戸惑いが多かった。職員間で話し合いする場を設け、分かること、分からないこと、出来ること、出来ないことを確認していった。また、小規模多機能ホームについてもよく知らない職員がほとんどだったため、人員基準や定員、料金体制などの勉強も行った。

### 3. 忘れ物

宿泊の方には荷物チェックアプリを使用し、荷物チェックを行っているが、上着や小物などの返却し忘れが度々みられた。チェックした荷物の置き場所を決め、上着などは最終帰る際にも再度確認するようにし、後半は返却ミスが減少したように感じる。

### 4. 感染症対策

新型コロナウイルスを含めた感染症対策として、うがい・手洗い・更衣・マスクの着用、消毒を行った。また、送迎時の体温測定や、毎日 10 時に体温測定を行ない、異常の早期発見に繋げた。

### 5. 収支について

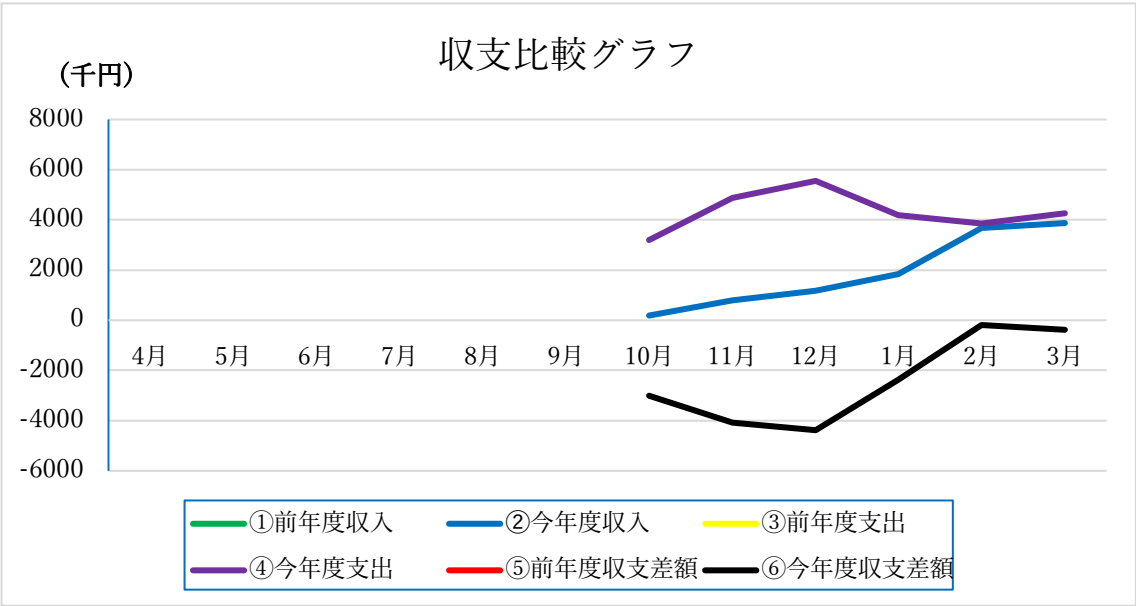
新型コロナウイルスにより、施設見学者の減少や、病院入院中の利用希望者様への面

会禁止などにより、営業活動がうまくいかないことも多かったが、来てくださっている利用者様が満足してくださるようにサービスの充実に力を入れた。3月現在登録利用者数16名の為、来年度はMAX定員の29名になるよう営業活動を行っていきたい。また、今後は通い（最大18名）・宿泊（最大9名）・訪問をバランスよく利用して頂けるようサービスの調整を行ない、利用者様・家族様のニーズに合ったサービスの内容を提供していくことを心がけていく。

### 1. 年間収支比較

(千円)

|          | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月    | 9月    | 小計      | 比率 |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|----|
| ①前年度収入   |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ②今年度収入   |        |        |        |        |       |       |         |    |
| ③前年度支出   |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ④今年度支出   |        |        |        |        |       |       |         |    |
| ⑤前年度収支差額 |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ⑥今年度収支差額 |        |        |        |        |       |       |         |    |
|          | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月    | 3月    | 合計      | 比率 |
| ①前年度収入   |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ②今年度収入   | 188    | 786    | 1,173  | 1,829  | 3,669 | 3,874 | 11,519  |    |
| ③前年度支出   |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ④今年度支出   | 3,196  | 4,867  | 5,554  | 4,190  | 3,859 | 4,251 | 25,917  |    |
| ⑤前年度収支差額 |        |        |        |        |       |       |         | —  |
| ⑥今年度収支差額 | -3,008 | -4,081 | -4,381 | -2,361 | -190  | -377  | -14,398 |    |





2. 令和2年度登録者数 (MAX29名) (名)

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|
| R2登録者 |     |     |     |    |    |    |
|       | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| R2登録者 | 2   | 3   | 7   | 11 | 14 | 16 |

3. 令和2年度延べ利用人数 (通い・訪問・宿泊) (名)

|    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 小計   |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 通い |     |     |     |     |     |     |      |
| 宿泊 |     |     |     |     |     |     |      |
| 訪問 |     |     |     |     |     |     |      |
|    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   |
| 通い | 26  | 64  | 103 | 227 | 276 | 365 | 1061 |
| 宿泊 | 10  | 35  | 72  | 149 | 151 | 190 | 607  |
| 訪問 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 38  | 38   |

4. 令和2年度 事故件数

|            | A | B | C | 合計 |
|------------|---|---|---|----|
| 事故件数 (R2年) | 0 | 0 | 9 | 9  |

A : 入院加療を要する事故

B : 受診・通院を要する事故

C : 受診・通院を要さない事故

# デイサービスサンライフ岡田

## 令和2年度 事業報告書

令和3年1月に開設し、社会福祉法人ささゆり会の基本理念である「基本的人権の尊重、健全育成・援護の実現、社会的自立の助長、地域福祉への貢献」に基づき、利用者様一人ひとりのそれまでの生活習慣が十分配慮され、自身の生き方（価値観）が尊重される日常生活を支援し、住み慣れた市街地で安心かつ満足して暮らしていただくことのできる施設運営を目指すことに努めた。

午前中はリハビリと入浴を中心に行い、午後からはボール体操・棒体操、ゲームレクリエーションを行った。3月下旬から、毎日午後から外出レクリエーションを行った。

職員の資質向上として、デイサービスの営業時間や1日の流れ等の基本情報や送迎車（ハイエース・タント）の操作の研修を行った。

感染症対策では、利用者はマスクの着用、送迎時の体温測定、来所後に手洗い（手指消毒）うがいをし、換気など感染症の予防対策を行った。

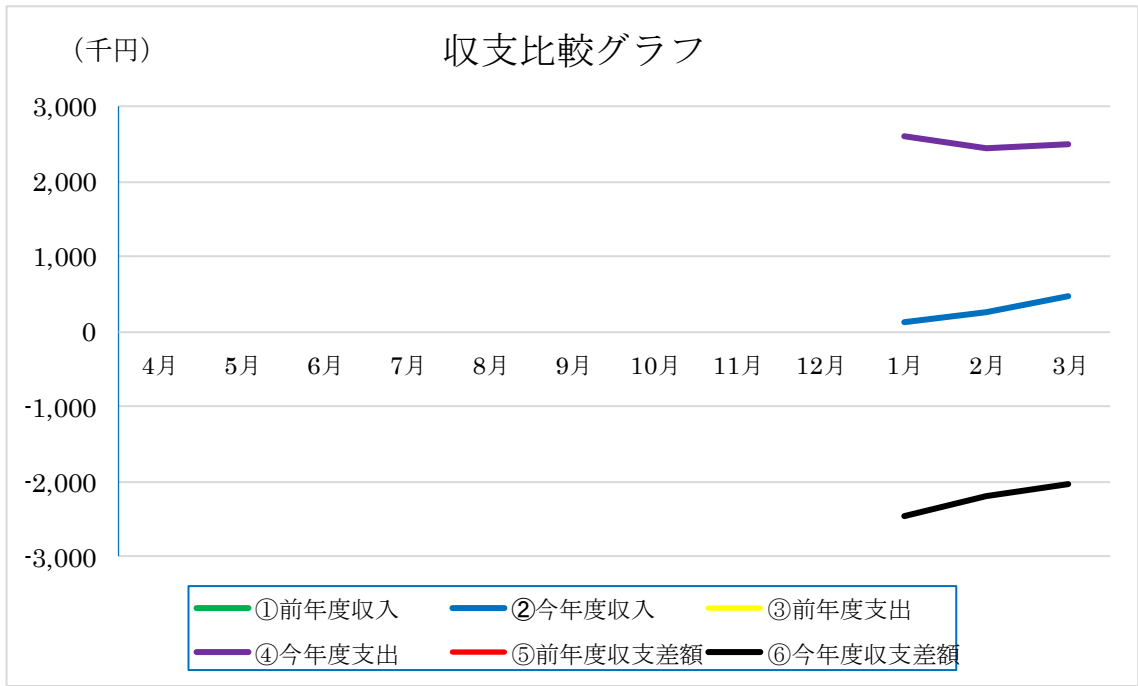
収入と利用者数の確保について、契約数は令和2年12月に2件、令和3年1月3件、2月3件、3月4件で利用登録人数は12名であった。1日平均の利用者数は3月末で2.8名であった。

### 1. 月間利用者数



# 2.前年度収支比較

|           | 4月  | 5月  | 6月  | 7月     | 8月     | 9月     | 小計     | 比率 |
|-----------|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|----|
| ① 前年度収入   |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ② 今年度収入   |     |     |     |        |        |        |        |    |
| ③ 前年度支出   |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ④ 今年度支出   |     |     |     |        |        |        |        |    |
| ⑤ 前年度収支差額 |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ⑥ 今年度収支差額 |     |     |     |        |        |        |        |    |
|           | 10月 | 11月 | 12月 | 1月     | 2月     | 3月     | 合計     | 比率 |
| ① 前年度収入   |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ② 今年度収入   |     |     |     | 133    | 257    | 480    | 870    |    |
| ⑦ 前年度支出   |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ⑧ 今年度支出   |     |     |     | 2,599  | 2,455  | 2,505  | 7,559  |    |
| ④ 前年度収支差額 |     |     |     |        |        |        |        | —  |
| ⑤ 今年度収支差額 |     |     |     | -2,466 | -2,198 | -2,025 | -6,689 |    |



#### 4.職員充足度（R2年3月現在）

職員 9 名（正職員 2 名 非常勤看護師 2 名 非常勤介護職員 5 名）

個別機能指導員（看護師）  
1 名含まない

|      | 営業<br>日数 | 利用者/月 | 職員総時間数/月 | 利用者/<br>日 | 職員<br>/日 | 職員<br>一人<br>対 | 職員/日 | 職員一人対 |
|------|----------|-------|----------|-----------|----------|---------------|------|-------|
| 4 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 5 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 6 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 7 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 8 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 9 月  |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 10 月 |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 11 月 |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 12 月 |          |       |          |           |          |               |      |       |
| 1 月  | 24       | 22    | 992.5    | 0.9       | 4.1      | 0.21          | 3.1  | 0.29  |
| 2 月  | 24       | 40    | 940      | 1.7       | 4.9      | 0.34          | 3.9  | 0.43  |
| 3 月  | 27       | 78    | 1118     | 2.8       | 4.9      | 0.57          | 3.9  | 0.71  |

# 特別養護老人ホームサンライフ魚崎

## 令和2年度 事業報告書

令和2度は「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」を経営スローガンに掲げ、「ノーリフティングケア」を目玉事業に設定し、取り組みを行う。低床ベッド及びスライディングボードや介護用リフトを導入し、職員の腰痛予防、介護負担の軽減に繋がる取り組みを実施することができた。また、コロナウィルス感染症対策を徹底するために感染症対策の研修及び訓練（ゾーニングや防護服の着脱等）を実施し、コロナウィルス感染症への対応を強化することができた。

### 1. ノーリフティングケアの推進

- ①ノーリフティングケアの推進に伴い、福祉用具（スライディングボード及びフレックスボード）、介護用リフトを積極的に使用し、低床ベッドも3台導入することができた。以前の移乗方法（抱える介助）よりも職員の腰痛予防、介護負担の軽減に繋がっている。
- ②福祉用具を導入する際、福祉用具の使い方や技術の確認に時間が掛かり、スムーズに導入することができなかった。また、既存の施設物品（車いす）ではアームレストが可動式ではない物が多く、スライディングボードを使用することができないケースもあり、「ノーリフティングケア」を推進していく上での課題が残った。次年度は今年度で習得した介護技術を活かし、入居者様に適した車いすを選定し、「ノーリフティングケア」を継続していきたい。

### 2. コロナ感染症対策への取り組み

- ①以前はショートステイと同時に入浴を行っていたが、コロナウィルス感染症対策として、入浴順番を変更し、特養入居者様とショートステイ利用者様が交わることがないように対応している。（午前と午後で分けて対応している）
- ②発熱者が発生した際、コロナウィルス感染者と同様にゾーニングを行い、防護着脱方法を確認する等、実践方式でのシュミレーションを行うことができた。多床室の為、感染症が発生した居室の場所によって、ゾーニングの方法が異なることを確認し、職員間で情報の共有を行っている。
- ③1階入居者様の共用スペースは居室廊下前で過ごしており、天気の良い日には日光浴を企画し、気分転換が図れる取り組みを実施している。
- ④手すりやドアノブ、居室のベッド柵及び収納棚、車いすのハンドル等、職員が手で触れる頻度が多い部分や場所を毎日消毒している。また、定時での換気を行う時間を設定し、実施している。

### 3. 経営の安定化への取り組み

#### I. 年間稼働率目標値 98.5%以上への取り組み

利用者数・稼働率・入院者数・空室数・入所者数・退所者数・看取り人数

|         |          | 4 月     | 5 月    | 6 月    | 7 月    | 8 月  | 9 月     | 上半期     |
|---------|----------|---------|--------|--------|--------|------|---------|---------|
| 令和 2 年度 | 利用者数（人）  | 878     | 924    | 895    | 920    | 923  | 878     | 5418    |
|         | 稼働率（%）   | 97.6    | 99.4   | 99.4   | 98.9   | 99.2 | 97.6    | 98.7    |
|         | 入院者数（人）  | 22（1 名） | 6（1 名） | 2（1 名） | 8（1 名） | 0    | 22（1 名） | 60（4 名） |
|         | 空室数（人）   | 0       | 0      | 3      | 2      | 7    | 0       | 12      |
|         | 入所者数（人）  | 0       | 0      | 1      | 0      | 1    | 0       | 2       |
|         | 退所者数（人）  | 0       | 0      | 1      | 1      | 0    | 0       | 2       |
|         | 看取り人数（人） | 0       | 0      | 1      | 0      | 0    | 0       | 1       |
|         |          | 1 0 月   | 1 1 月  | 1 2 月  | 1 月    | 2 月  | 3 月     | 合計      |
| 令和 2 年度 | 利用者数（人）  | 907     | 900    | 903    | 930    | 837  | 930     | 10825   |
|         | 稼働率（%）   | 97.5    | 100    | 97.1   | 100    | 99.6 | 100     | 98.9    |
|         | 入院者数（人）  | 17（2 名） | 0      | 9（2 名） | 0      | 0    | 0       | 26（4 名） |
|         | 空室数（人）   | 6       | 0      | 18     | 0      | 3    | 0       | 39      |
|         | 入所者数（人）  | 1       | 0      | 2      | 0      | 0    | 1       | 6       |
|         | 退所者数（人）  | 1       | 0      | 2      | 0      | 1    | 0       | 6       |
|         | 看取り人数（人） | 1       | 0      | 1      | 0      | 1    | 0       | 4       |

- ①年間稼働率 98.9%と目標数値を上回ることができた。入院した際、状態確認の問い合わせを頻繁に行い、状態が安定すれば、直ぐに施設での受入れ体制が可能である事を病院に伝え、連携強化に取り組むことができた。
- ②ショートステイと連携し、ロングショート利用の方 4 名以上確保し、空室が出た際、直ぐに特養入所へ繋げることができた。その際、ロングショートに空室が出る為、特養入所希望者でロングショートを希望する対象者を選定し、ロングショート利用へ繋げる事ができた。
- ③施設での看取りを希望しない退所者が 2 名おられ、1 名は病院へ入院後に療養型の施設へ入所。1 名は家族が希望される病院へ入院するケースがあり、施設での看取りの意向ではないケースが増えている。入居者様の状態に変化があれば、看取りの可能性を含めて報告し、家族の意向を確認していく必要がある。

## Ⅱ．年間収支結果

(単位:千円)

|             | 4 月    | 5 月    | 6 月    | 7 月    | 8 月    | 9 月     | 小計      | 前年度比    |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| R1 年度年度収入   | 11,810 | 12,060 | 11,940 | 16,690 | 12,140 | 15,000  | 79,640  |         |
| R2 年度年度収入   | 11,635 | 12,216 | 11,871 | 12,390 | 11,822 | 12,039  | 71,973  | -7,667  |
| R1 年度年度支出   | 9,180  | 15,350 | 17,260 | 11,380 | 9,720  | 26,200  | 89,090  |         |
| R2 年度支出     | 9,806  | 14,569 | 17,053 | 13,220 | 13,572 | 9,379   | 77,599  | -11,491 |
| R1 年度年度収支差額 | 2,630  | -3,290 | -5,320 | 5,310  | 2,420  | -11,200 | -9,450  |         |
| R2 年度収支差額   | 1,829  | -2,353 | -5,182 | -830   | -1,750 | 2,660   | -5,626  | 3,824   |
|             | 10 月   | 11 月   | 12 月   | 1 月    | 2 月    | 3 月     | 合計      |         |
| R1 年度年度収入   | 12,240 | 11,230 | 11,450 | 11,800 | 10,880 | 12,160  | 149,400 |         |
| R2 年度年度収入   | 12,246 | 11,914 | 12,079 | 12,334 | 11,184 | 13,446  | 145,176 | -4,224  |
| R1 年度年度支出   | 9,970  | 11,410 | 17,560 | 11,530 | 9,620  | 10,220  | 159,400 |         |
| R2 年度支出     | 10,463 | 9,264  | 18,464 | 11,163 | 8,820  | 15,224  | 150,997 | -8,403  |
| R1 年度年度収支差額 | 2,270  | -180   | -6,110 | 270    | 1,260  | 1,940   | -10,000 |         |
| R2 年度収支差額   | 1,783  | 2,650  | -6,385 | 1,171  | 2,364  | -1,778  | -5,821  | 4,179   |

- ・令和2年度の収支差額は令和1年度よりも増収となる。
- ・介護事業収入が稼働率目標数値よりも+0.3%となっている。
- ・令和2年度はコロナウィルス感染症対策に必要な物品購入や光熱費の増加（水道代、電気代）により支出が増加している。
- ・次年度の収支差額において、稼働率を上げることで収入増加を目指す。令和2年度と同様（98.9%）又は99%を目指す。支出においてはコスト削減が必須となり、介護物品が高騰している為、物品使用の節約を行い、光熱費の削減を徹底し、支出を減らす。

### 3. その他

- Ⅰ. EPA 候補生2名が介護福祉士国家試験に受験し、2名ともに合格している。
- Ⅱ. コロナ禍において、外出における自粛期間が続いているが職員がリフレッシュが図れるよう、有給休暇や生活支援休暇を積極的に取得することができた。
- Ⅲ. 相談員や介護リーダーを中心に介護物品や光熱費の節約を発信しているが、一人ひとりのコスト削減の意識が低いことが課題となった。不必要な電気の点灯や介護物品の使用方法等で改善する課題がある為、次年度はコスト削減の意識が高める取り組みを実施していきたい。

以上

# 魚崎高齢者介護支援センター(短期入所生活介護)

## 令和 2 年度 事業報告書

今年度は、職員間の声の掛け合いや意見の出し合い、知識や経験の共有等を強化し、サービス充実と働きやすい職場を作っていく事をメイン事業としていたが、3月中旬より、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、利用者数が減少。安心して出来るだけ多くの方が利用して頂ける様、新型コロナウイルスの感染対策をメインに行う事となった。

その中においても、出来る限り安定した利用者を獲る為に、ロングショート等の長期間のショート受け入れ上限を定めず、積極的に受け入れを行ったが、リピーターやロング利用者の入所等で、利用者数増加には繋がられず。平均 84%の稼働率に留まった。

### 1. 日中利用者数の減少

単位 (人)

|          | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計    |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 平成 30 年度 | 632 | 664 | 648 | 711 | 716 | 689 | 667  | 620  | 602  | 550 | 540 | 591 | 7,630 |
| 令和 1 年度  | 590 | 585 | 575 | 570 | 562 | 485 | 527  | 500  | 549  | 483 | 514 | 427 | 6,367 |
| 令和 2 年度  | 416 | 480 | 514 | 546 | 572 | 549 | 539  | 523  | 513  | 511 | 468 | 528 | 6,154 |

前前年度比 76% 前年度比 97%

### 稼働率

単位 (%)

|          | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 平均   |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|
| 平成 30 年度 | 104% | 107% | 108% | 114% | 115% | 115% | 107% | 107% | 97%  | 88% | 96% | 95% | 104% |
| 令和 1 年度  | 98%  | 94%  | 96%  | 92%  | 91%  | 81%  | 85%  | 83%  | 89%  | 78% | 92% | 69% | 80%  |
| 令和 2 年度  | 69%  | 77%  | 86%  | 88%  | 92%  | 92%  | 87%  | 87%  | 82%  | 82% | 83% | 85% | 84%  |

- I. 4～5 月にかけては、新型コロナウイルスの蔓延や緊急事態宣言等の影響により、利用者数が大幅に落ち込むも、安定した利用者数獲得を目指し、月の利用日数が 25 日以上のロングショート方を上限定めずに、受け入れを実施。多い月には、10 名を確保出来た事で、7 月以降の大幅な利用者数の落ち込みに、歯止めを掛ける事が出来た。しかし、ロング



ショートやリピータの方の入院や入所が重なり、利用者数増加には繋げられず。安定した利用者数確保の為、ロングショート 10 名以上の確保が急務となっている。

- II. 新型コロナウイルス感染症の影響で、他事業所のケアマネージャーにお会いする機会等が減少。疎遠にならない様に、積極的に電話や FAX で、利用者様のご様子や変化等を積極的にお伝えし、関係性を築いた。

## 2. 収支金額

|             | 4 月   | 5 月   | 6 月    | 7 月    | 8 月   | 9 月    | 小計     | 前年度比 |
|-------------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|------|
| 令和 1 年度収入実績 | 6,971 | 6,946 | 6,739  | 6,807  | 6,072 | 5,732  | 39,267 |      |
| 令和 2 年度収入実績 | 4,940 | 5,657 | 6,175  | 6,918  | 6,586 | 7,331  | 37,610 | 96%  |
| 令和 1 年度支出実績 | 5,874 | 5,698 | 9,917  | 6,264  | 5,168 | 13,039 | 45,960 |      |
| 令和 2 年度支出実績 | 5,867 | 5,924 | 9,824  | 8,373  | 5,970 | 5,800  | 39,652 | 84%  |
| 令和 1 年度収支差額 | 1,097 | 1,248 | -3,178 | 543    | 904   | -7,307 | -6,693 |      |
| 令和 2 年度収支差額 | -927  | -267  | -3,649 | -1,455 | 616   | 1,531  | -4,151 | 62%  |
|             | 10 月  | 11 月  | 12 月   | 1 月    | 2 月   | 3 月    | 合計     | 前年度比 |
| 令和 1 年度収入実績 | 6,343 | 6,113 | 6,571  | 5,812  | 5,991 | 4,980  | 75,077 |      |
| 令和 2 年度収入実績 | 6,745 | 6,254 | 6,827  | 5,949  | 6,312 | 9,323  | 79,020 | 105% |
| 令和 1 年度支出実績 | 5,339 | 5,508 | 10,118 | 6,185  | 5,365 | 5,684  | 84,159 |      |
| 令和 2 年度支出実績 | 6,623 | 5,732 | 10,699 | 6,277  | 5,291 | 9,233  | 83,507 | 99%  |
| 令和 1 年度収支差額 | 1,004 | 605   | -3,547 | -373   | 626   | -704   | -9,082 |      |
| 令和 2 年度収支差額 | 122   | 522   | -3,872 | -328   | 1,021 | 90     | -6,596 | 99%  |

## 3. 新型コロナウイルス感染対策

- I. 感染対策として、特養とショーステイのエリア区分けを実施。食事やレク、入浴の場面で、出来る限り一緒にならない様に、入浴時間調整や動線、ショーステイ利用者様の荷物置き場や職員休憩場所の変更等、調整を行った。
- II. 利用者様の飲食前手洗いやこまめな換気、テーブル等の消毒等の 1 日の流れチェックリストを作成。確認していく事で、忘れが無い様に行う事が出来た。
- III. 飛沫感染防止を目的に、1 テーブル対角線上に 1 人しか座らない様、制限。その間にアクリル板設置を行った。
- IV. ショーステイ利用前の体温や体調確認を徹底。また、不特定多数の非常に多くの人が利用する大病院を受診、もしくは入院を行った方への利用方法等、家族様にも、利用できる基準を明確にする事で、入所前にウイルス侵入を防げる様、対策を行った。
- V. 送迎時における車内換気。送り迎え後、1 日 2 回の車内消毒を行った。

#### 4. 声を掛け合い、考え、知識や経験を持ち寄り、ケアの充実へと繋げる取り組み

- I. 情報共有しにくい日常業務の検討や各委員会、介護ケアや研修等を行う職員会議や相・主・リーダー会議等が、新型コロナウイルスの影響で、一同に会する事を懸念し、検討方法を変更。職員会議の開催数を減らし、毎日、午前と午後に行う申し送りの時間を活用する事で、情報の共有や業務の検討等を図った。
- II. 利用者様のケアの充実を図る為、昼の申し送りの時間を活用し、ロングショートの方々に対して、ケアの話し合いをロング利用者担当を中心に実施。これまで、スムーズに抽出出来ていなかったニーズについても、素早く対応できるようになってきた。しかし、ショート利用者全員に対して、スムーズなニーズ抽出には至っておらず。より多くの方々に対し、的確なケア方法を素早く確立させる為の、システム構築が急務である。
- III. 悩みや要望等、各職員の思いや考えを共有する為には、日常的に話をするだけでは不十分であったが、日々の業務の中で、相談員との個人面談を行う事が出来ず。

#### 5. 事故件数と重大事故報告

A：入院加療を要する事故

B：受診・通院を要する事故

C：受診・通院を要さない事故

単位：件

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| A  |    |    |    | 1  |    |    |     |     |     |    |    |    | 1   |
| B  |    |    | 1  | 1  |    |    |     | 2   |     | 1  |    |    | 4   |
| C  | 4  | 5  | 11 | 3  | 13 | 14 | 8   | 11  | 12  | 3  | 8  | 7  | 99  |
| 合計 | 4  | 5  | 12 | 5  | 13 | 14 | 8   | 13  | 12  | 4  | 8  | 7  | 104 |

- I. 事故件数については、前年度の170件と比べ、減少している。しかし、利用者数も減少しており、割合としては、去年と変化ない状況だと考えられる。
- II. 重大事故報告。女性85歳。7/13、12:05頃、食事中職員が食事を喉詰めし、脱力しているのを発見。すぐに、吸引、タッピングを施工し、詰まらせている食物や痰等を除去。意識も取り戻されたが、次の日に発熱され、病院受診を行い、誤嚥性肺炎が判明。1か月近くの入院となる。

#### 6. その他

- I. 連続5日間のリフレッシュ休暇の希望者はいなかったが、出来る限り希望する休暇が取得できるように調整する事が出来た。
- II. 利用者様の安全の為、11月に離床センサー付きベッド2台を購入。離座位センサーの導入や見守りカメラの有効的な活用方法を職員間で検討する等行った。

以上

## 特別養護老人ホームサンライフ魚崎特養・短期入所 医務

### 令和2年度 事業報告書

今年度の医務はコロナ感染対応に追われる1年であった。幸いにして利用者様・職員共に感染者を出すことなく新年度を迎えられることとなったが、今後は、陽性者が発生した場合に、最小限に拡大を食い止められる感染対応を考え遂行していかなければならないと考える。

#### 1. 感染症対策について

熱発者は昨年並みで確定診断はされていないが尿路感染が大半となっており、単発で同一者の繰り返しとなっている。熱発＝感染対応となる事で訪床回数が制限され水分摂取不足になる傾向が続いた為、プランを立てて、目標水分量提供できるよう看護師からその都度発信する事を心がけた。

死亡退所が6件、内看取りが5件であったが、緊急事態宣言中はご家族も理解され、面会制限に対しても慎重に受け取って頂いていたが、今後、看取りの方のご家族との面会をどのようにすすめていけるかが課題となっている。

コロナに限らず、感染症全般の予防を心がけるよう定期的に、「広げない」意識づける為に特に、「流れ作業をしない」と「迷ったら感染対応」を繰り返し発信し続けた。

#### 2. 褥瘡について

毎年、梅雨時期頃から多発していたが、前年度末より、発生しても集中して洗浄・除圧対策することで改善できるようになり、数か月はゼロの更新ができていたが、4名の同様部位に繰り返し発生する事が続いている。

パットの当て方や、パット交換の回数・タイミング、体位変換の手技の徹底が検討される。

#### 3. 事故について

確認不足による内服忘れが続いていたが、屯用薬・臨時薬の表示を作り夕方の申し送りの徹底を図る事で改善されてきている

車椅子からのずり落ち事故が上半期から続き下半期にも5件 いずれも経過観察できるもので緊急対応は無かった。

爪剥がれの事故が改善せず続いており、又、足部のケア不足からの皮膚トラブルも増えてきている。

足先までしっかりとケア・観察できる介護・看護を根気よく発信していきたい

|                        |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| (1) 疾病発生状況             |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|                        | 上半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    | 前年比 |
| 発熱・風邪罹患者数              | 28  | 3   | 5   | 2   | 7   | 3   | 1   | 49   | 102 |
| その他の疾患罹患者数             | 66  | 8   | 14  | 13  | 17  | 19  | 9   | 146  | 180 |
| Ns付き添い受診回数             | 3   | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 7    | 28  |
| (2) 入院・退院・入退所者数        |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|                        | 上半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    | 前年比 |
| 入院者数                   | 4   | 2   | 0   | 2   | 0   | 0   | 0   | 8    | 72  |
| 退院者数                   | 3   | 1   | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 6    | 50  |
| 退所・死亡者数                | 2   | 1   | 0   | 2   | 0   | 1   | 0   | 6    | 46  |
| 入所者数                   | 2   | 1   | 0   | 2   | 0   | 0   | 1   | 6    | 46  |
| (3) 特変緊急対応の回数          |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|                        | 上半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    | 前年比 |
| 特養                     | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2    | 33  |
| ショートステイ                | 3   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 4    | 66  |
| (4) 医療診療件数（受診・往診）・診療人数 |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|                        | 上半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    | 前年比 |
| 特養ショート件数               | 227 | 28  | 28  | 28  | 40  | 21  | 30  | 402  | 107 |
| 特養ショート人数               | 643 | 121 | 98  | 109 | 120 | 127 | 140 | 1358 | 96  |
| (5) 研修受講状況             |     |     |     |     |     |     |     |      |     |
|                        | 上半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    | 前年比 |
| 外部件数                   | 0   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2    | 28  |
| 外部人数                   | 0   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2    | 28  |
| 内部件数                   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 内部人数                   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |

以上

## 魚崎高齢者介護支援センター（通所介護）

### 令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染による、緊急事態宣言発令や、利用者様のご利用自粛があり、大幅な利用者数減・収入減となった。例年行っていた行事や外出、レクリエーションが行えなくなり、ボランティアの受け入れもできず、楽しんで頂ける内容ではなかった。だが、その中でも感染予防を徹底し、夏祭り・敬老会・クリスマス週間を設け、少しでも気分を味わっていただけるよう努めた。

今年度のデイサービスは、経営スローガンでもある「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」をもとに「職員一人一人が利用者様との触れ合いの時間を多く持ち、従来の考えばかりにとらわれず、新しいことや変化に対応できるよう、日々の業務改善を職員 1 人 1 人が意識し、いつでも発言できる働きやすい環境を作り、人材確保・維持にもつなげる」を目玉事業とし、利用者様が「毎日行きたいデイサービス」を目指した。感染予防を行いながらのご利用となり、レクリエーション等の内容が充実したものではなかったが、「休まずに営業してくれてよかった」といった、本人様や家族様のお言葉をいただく事が多く、改めてデイサービスの必要性を痛感した 1 年となった。また、利用者数・収入が減少してしまったが、感染リスクの高いデイサービスでご利用されている利用者様・業務にあたった職員が 1 人も感染することなく 1 年を過ごせたことは、大きな成果であり、令和 2 年度は退職者もなくチームワークを高める事ができた 1 年となった。

#### 1. 感染対応

##### （Ⅰ）新型コロナウイルス感染予防の取り組み

- ① 職員の休日外出できる限りの自粛。マスク着用。朝・夕の検温記録実施。  
1 作業 1 手洗いの徹底。
- ② 利用者様に送迎前の検温実施、37℃以上の場合はその時点で利用中止とした。また、家族に対しても症状があれば、利用を控えて頂くよう通知した。
- ③ 利用者様の玄関での入念な手洗い（出来ない利用者様には消毒）・うがいの徹底。食事前・おやつ前の手指消毒の徹底。
- ④ 利用中の利用者様全員マスク着用。持参されていない利用者様には施設からガーゼマスクを配布。
- ⑤ 手すり・トイレ等の 1 日 3 回の消毒実施。
- ⑥ 1 時間おきの換気の徹底。
- ⑦ 家族様、居宅事業所へ、体調管理・感染予防・利用自粛等の適宜状況に応じた手紙の通知。

## 2. 利用者獲得への取り組み

- (Ⅰ) 毎月 1 日には実績及び報告書を事業所へ訪問し届けた。1 ヶ月の予定表を毎月作成し事業所廻りの際に配布し営業活動を実施した。
- (Ⅱ) 体験ご利用終了後、担当ケアマネージャーへ当日中、又は次の日にご利用時の状況を報告し、新規のご利用検討の依頼行った。

## 3. 人材育成・リフレッシュ休暇・残業ゼロへの取り組み

連続 5 日間の休暇を行う事は出来なかったが、正月休暇・生活支援休暇・年間通して 5 日以上の有給休暇を使用し職員 1 人 1 人の休暇を確保する事は出来た。

## 4. 介護福祉士・介護支援専門員等の資格習得

介護福祉士資格試験合格 非常勤職員 1 名

介護支援専門員資格取得講座受講 非常勤職員 2 名

## 5. 行事・レクリエーション

今年度は感染予防の為、ボランティアの受け入れはなし。外出も中止。

- (Ⅰ) 夏祭り週間 (7/20～25) 感染予防を徹底し職員の出し物を実施。
- (Ⅱ) 敬老会週間 (9/21～26) 9/25 は各部署にて敬老会を実施。2 段弁当やお祝い者のお祝いを行った
- (Ⅲ) クリスマス週間 (12/21～26) 12/23 は各部署でクリスマス会を実施。帰り送迎時に利用者様へプレゼントをお渡しした。

## 6. 令和 2 年度利用者状況

利用状況 (単位：人)

|    |     | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  |       |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|-------|
| R1 | 月総計 | 752  | 739  | 678  | 765  | 786  | 734  |       |
|    | 日平均 | 28.9 | 27.3 | 27.1 | 28.3 | 30.2 | 29.3 |       |
| R2 | 月総計 | 607  | 582  | 657  | 704  | 674  | 704  |       |
|    | 日平均 | 23.3 | 22.3 | 25.2 | 26   | 25.9 | 27   |       |
|    |     | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月  | 2 月  | 3 月  | 合計    |
| R1 | 月総計 | 772  | 725  | 711  | 657  | 668  | 604  | 8,591 |
|    | 日平均 | 28.5 | 27.8 | 28.4 | 27.3 | 26.7 | 23.2 | 27.7  |
| R2 | 月総計 | 725  | 635  | 668  | 579  | 587  | 681  | 7,803 |
|    | 日平均 | 26.8 | 25.4 | 25.6 | 24.1 | 24.4 | 25.2 | 25.1  |

令和 2 年度 収入・支出 (単位：千円)

|         | 4 月   | 5 月   | 6 月    | 7 月    | 8 月   | 9 月   |        |
|---------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|
| R1 年度収入 | 6,810 | 6,723 | 6,309  | 7,219  | 7,413 | 6,485 |        |
| R1 年度支出 | 5,418 | 5,200 | 6,967  | 5,547  | 5,539 | 5,336 |        |
| R2 年度収入 | 5,720 | 5,177 | 6,152  | 6,721  | 6,308 | 6,799 |        |
| R2 年度支出 | 5,004 | 5,433 | 7,278  | 6,914  | 5,157 | 4,865 |        |
| 収支差     | 716   | -256  | -1,126 | -193   | 1151  | 1,934 |        |
|         | 10 月  | 11 月  | 12 月   | 1 月    | 2 月   | 3 月   | 合計     |
| R1 年度収入 | 7,312 | 6,625 | 6,305  | 6,305  | 6,083 | 5,467 | 79,061 |
| R1 度支出  | 5,104 | 4,931 | 6,603  | 5,095  | 8,355 | 4,708 | 68,808 |
| R2 年度収入 | 6,895 | 6,084 | 6,341  | 5,554  | 5,607 | 7,421 | 74,784 |
| R2 年度支出 | 5,313 | 4,781 | 7,440  | 7,244  | 4,615 | 4,904 | 68,954 |
| 収支差     | 1,582 | 1,303 | -1,126 | -1,690 | 992   | 2,517 | 5,804  |

※1 月はクリッパー（軽自動車）購入

以上

# フレール魚崎中町（認知症対応型共同生活介護）

## 令和2年度 事業報告書

新型コロナ感染症予防対策の為、居室対応、職員自宅待機等で大変となった時期もあったが、職員が協力し合い感染予防に努めることができた。又、面会や外出制限・行事中止等で入居者様のストレス・認知症状の進行が懸念される中、日光浴・散歩・体操・余暇活動等多く取り組み、今年度のスローガンでもある「安心感・楽しみ・やりがい作り」に積極的に取り組んだ。

### 1. 認知症ケア統一に向けての人材育成

- I コロナ禍の影響で認知症の外部研修に参加できなかった。職員会議・認知症研修を4か月に1回実施し、認知症ケアの認識・ケアの統一に取り組んだ。
- II 入居者様のストレス・認知症状の進行緩和の為、感染予防対策をおこないながら、極力ベランダでの日光浴・青空喫茶・散歩を積極的に実施し、毎日の廊下歩行も実施。各階でおやつ作りや余暇活動にも積極的に取り組んだ。職員により若干、意識・意欲のばらつきがある為、全員の意識を統一していくことが今後も課題。
- III 1月にEPA職員が2名入社し、指導育成に努め、順調に育成できてきている。

### 2. 業務の簡素化・改善

- I 感染症対策や人員に余裕がない状況で、管理者やリーダーが介護業務以外の時間を勤務内にとることが難しく、マニュアルの見直し・改善は中々進んでいない。
- II 10月から食材業者が2つの業者に変更し、いちからの発注書作成等、業務負担となった。
- III 感染症の影響で出前や外食、ボランティアの導入はできていない。

### 3. 介護保険法遵守の為の進捗状況。

- I ケアプランは3ヶ月に一回見直し作成実施。コロナ感染症対策の為、家族様へは郵送している。居室担当者会議は毎月実施。
- II 認知症研修は職員会議で実施。夜勤者等は個別や資料で実施。  
身体的拘束適正化研修は紙面にて全職員実施。

### 4. 事故予防対策

- I 事故委員の分析はできているが、事故予防啓発が弱い為、今後も課題。
- II ヒヤリハット・気づきを増やし事故を防ぐ取り組みは、増えてはきているが、同じ職員や、同じ事柄が多い為、予防に繋がるよう啓発・対応が今後も課題。
- III 骨折入院1件。転倒件数は減っているが、引き続き見守り強化。

### 5. 利用者数

- I 入院3件…病気2件・骨折1件・退居5件…永眠1件・特養転居2件・入院後退居2件
- II コロナ禍の影響もあり、入居申し込み者がほぼない中、退居が11月から4件と多く、入居者確保困難で対応に迫われたが、デイ・ショート等他部署協力のもと、空日数を最小限（4日～13日）に押さえられた。又、入院も少なく稼働率98%となった。



|               |       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月 | 12月 | 1月  | 2月   | 3月  | 合計   |
|---------------|-------|-----|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|------|
| 総日数           |       | 480 | 496 | 480 | 496  | 496  | 480  | 496  | 480 | 496 | 496 | 448  | 496 | 5840 |
| 利用日数<br>(日)   | R1 年度 | 459 | 463 | 451 | 490  | 465  | 471  | 496  | 472 | 461 | 452 | 464  | 454 | 5598 |
|               | R2 年度 | 454 | 480 | 478 | 496  | 496  | 480  | 496  | 472 | 487 | 494 | 441  | 473 | 5747 |
| 入院<br>(日)     | R1 年度 | 21  | 33  | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0   | 24  | 26  | 0    | 34  | 138  |
|               | R2 年度 | 13  | 16  | 2   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 7    | 9   | 47   |
| 空室(日)<br>(退居) | R1 年度 | 0   | 0   | 29  | 6    | 31   | 9    | 0    | 8   | 11  | 18  | 0    | 8   | 120  |
|               | R2 年度 | 13  | 0   | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    | 8   | 9   | 2   | 0    | 14  | 46   |
| 稼働率<br>(%)    | R1 年度 | 95% | 93% | 93% | 98%  | 93%  | 98%  | 100% | 98% | 93% | 91% | 100% | 91% | 95%  |
|               | R2 年度 | 94% | 96% | 99% | 100% | 100% | 100% | 100% | 98% | 98% | 99% | 98%  | 95% | 98%  |

## 6. 事故発生状況と対策

|           |       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-----------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 転倒        | R1 年度 | 2  | 3  | 2  | 4  | 0  | 1  | 4   | 1   | 3   | 5  | 3  | 1  | 29  |
|           | R2 年度 | 3  | 3  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 0   | 3  | 0  | 1  | 15  |
| 転落        | R1 年度 | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 1   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 5   |
|           | R2 年度 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 2  | 0  | 2   |
| 内出血<br>打撲 | R1 年度 | 15 | 5  | 13 | 4  | 1  | 6  | 11  | 6   | 7   | 6  | 3  | 1  | 78  |
|           | R2 年度 | 2  | 3  | 8  | 3  | 5  | 2  | 3   | 3   | 2   | 2  | 0  | 0  | 33  |
| 擦り傷<br>裂傷 | R1 年度 | 1  | 5  | 1  | 1  | 3  | 9  | 6   | 1   | 3   | 0  | 1  | 0  | 31  |
|           | R2 年度 | 4  | 3  | 4  | 1  | 3  | 3  | 2   | 1   | 4   | 6  | 4  | 2  | 37  |
| 異食        | R1 年度 | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0  | 3   |
|           | R2 年度 | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  | 2   |
| 誤嚥        | R1 年度 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
|           | R2 年度 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 1   | 2   | 0  | 0  | 1  | 5   |
| 薬         | R1 年度 | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 2   | 3   | 0   | 0  | 0  | 1  | 8   |
|           | R2 年度 | 1  | 0  | 1  | 0  | 1  | 1  | 0   | 2   | 3   | 0  | 2  | 2  | 13  |
| その他       | R1 年度 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  | 2   |
|           | R2 年度 | 0  | 0  | 1  | 0  | 2  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 1  | 0  | 4   |
| 合計        | R1 年度 | 20 | 15 | 17 | 9  | 6  | 16 | 24  | 11  | 15  | 12 | 7  | 4  | 156 |
|           | R2 年度 | 10 | 9  | 15 | 5  | 12 | 7  | 7   | 8   | 11  | 11 | 9  | 7  | 111 |

Ⅰ転倒…大腿骨骨折入院 1 件・Ⅱ異食…スプーンの自助具を噛む（ゴム製）・次亜塩素酸ナトリウム 0.05%液入り容器が居室棚の引き出しに中が空の状態であり。（飲んだか不明だが特変なし）Ⅲ誤嚥…野菜 1 件・パン 1 件・水 3 件Ⅳ薬…重複？1 件・飲み忘れ 2 件・飲みこぼし 9 件・塗り薬間違い 1 件Ⅴその他…義歯装着忘れ 3 件・肋骨骨折疑い（圧迫）

## 7. 令和 2 年度収支結果

(単位：千円)

|           | 4 月    | 5 月     | 6 月     | 7 月     | 8 月     | 9 月    | 合計      | 前年度比    |
|-----------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
| R1 年度収入   | 5, 149 | 5, 080  | 5, 204  | 5, 443  | 5, 324  | 5, 279 | 31, 478 |         |
| R2 年度収入   | 5, 185 | 5, 394  | 5, 353  | 5, 661  | 5, 641  | 5, 459 | 32, 693 | 1, 215  |
| R1 年度支出   | 5, 192 | 5, 078  | 7, 307  | 5, 343  | 4, 682  | 4, 723 | 32, 325 |         |
| R2 年度支出   | 5, 492 | 5, 007  | 8, 160  | 7, 763  | 6, 775  | 4, 905 | 38, 102 | 5, 777  |
| R1 年度収支差額 | -43    | 2       | -2, 103 | 100     | 642     | 556    | -847    |         |
| R2 年度収支差額 | -307   | 387     | -2, 807 | -2, 102 | -1, 134 | 554    | -5, 409 | -4, 562 |
|           | 10 月   | 11 月    | 12 月    | 1 月     | 2 月     | 3 月    | 合計      |         |
| R1 年度収入   | 5, 598 | 5, 241  | 5, 172  | 5, 381  | 5, 311  | 5, 200 | 63, 381 |         |
| R2 年度収入   | 5, 596 | 5, 069  | 5, 628  | 5, 679  | 5, 760  | 5, 818 | 66, 243 | 2, 862  |
| R1 年度支出   | 5, 248 | 5, 011  | 8, 064  | 5, 908  | 5, 180  | 5, 464 | 67, 200 |         |
| R2 年度支出   | 5, 252 | 6, 160  | 8, 080  | 5, 871  | 5, 533  | 5, 300 | 73, 298 | 6, 098  |
| R1 年度収支差額 | 350    | 230     | -2, 892 | -527    | 131     | -264   | -3, 819 |         |
| R2 年度収支差額 | 344    | -1, 091 | -2, 452 | -192    | 227     | 518    | -8, 055 | -4, 236 |

以上

# 介護型ケアハウス サンライフ魚崎

## 令和 2 年度 事業報告書

「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる。」をスローガンとしてきたが、新型コロナウイルスへの感染症対策を最優先に注力する事となった。コロナ禍でも入居者様に少しでも楽しく・安心してお過ごし頂けるよう、施設内で可能なレクリエーションや運動を行った。

人材育成においては相談員・リーダー間で情報交換を細目に行い、必要な職員への指導を行ってきた。また令和 3 年の 1 月に新しく EPA 職員 1 名の受け入れを行い、できるだけ早く一人前になれるよう指導を行っている。

11 月には見守りカメラが導入され介護職の効率的な見守り・負担軽減に繋がっている。

### 1. 人材育成

- I. 新しく入職した EPA 職員やその他必要な職員について、業務の達成度等を相談員・リーダーで毎月情報共有を行っている。必要な職員においては毎月又は 2 ヶ月に 1 度、面談及び指導を行った。
- II. EPA 職員の学習指導については各年代、週 1 回午後 2 時間、相談員が中心となって学習指導を行った。次年度は介護福祉士国家試験を控えている年代がいる為、厳しく学習指導を行っていきたい。
- III. 3 年目の EPA 職員については 1 月に入職した新しい EPA 職員の指導や入居者様担当委員会業務等、高度な業務を任せられるようになった。
- IV. 技能実習生受け入れに備え、1 月及び 3 月に技能実習生指導者研修に職員各 1 名が参加した。
- V. 介護支援専門員 2 名、介護福祉士 1 名が受験をしたが合格には至らなかった。

### 2. 入居者様確保

- I. 年間通して入院が重なった結果、入院日数は前年度 318 日に対し今年度は 220 日となっている。予想以上に長引いてしまった入院もあり、入院後は看護師との連携を強化し、出来る限りの早期退院・入院日数削減に努めたい。
- II. 空床日数は前年度 142 日に対し 118 日となった。退所が同じ月に重なったりまた入居者の確保に苦心する事もあった為、不測の事態に対応できるよう待機者確保に注力したい。
- III. コロナウイルス対策を行った上で、待機者はほとんどが相談員・看護師の 2 名で面接を行った。2 名で面接を行う事でその場で必要な情報を得たり、共有する事ができた。

### 3. 活力ある職場作り・業務改善

- I. 入居者様には施設内での4階屋上での散歩や日光浴、サイクルペダルや軽作業の提供を積極的に行い、ストレス緩和・ADL低下防止に努めた。家族様へは入居者様・担当職員からの手紙を毎月送付した。またウェブ面会等の状況に応じた面会を行った。
- II. コロナウイルス対策の一環で予定していた職員会議やフロア会議は行わなかった。代わりに職員間での情報共有及び発信を強化し、担当業務の責任の所在を明確化した。
- III. 毎月、相談員・リーダーでリーダー会議を引き続き行った。感染対策や職員育成等業務上必要な事項の共有や検討を行った。
- IV. コロナウイルス感染防止に配慮しながら職員が希望する休暇は取得する事ができた。
- V. 11月に見守りカメラを導入した。効率的な見守りができるようになり、職員の身体的・精神的負担の軽減に繋がっている。
- VI. 昨年度に引き続き労働環境改善支援事業の申請を行い、離床センサー内蔵ベッド3台を購入した。

### 4. その他

- I. 新型コロナウイルス対策で手洗い・うがい・換気・消毒を毎日徹底した。一年通して感染者が出ることなく経過している。一方で物品の使用量や光熱費は増加した。
- II. 重大事故については入院に至らない事故が3件、入院に至った事故が2件発生した。

### 5. 年間収支結果

(単位：千円)

|           | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 小計      | 前年度比 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|------|
| 令和2年度収入実績 | 19,620 | 19,352 | 19,834 | 20,309 | 21,613 | 20,112 | 120,840 |      |
| 令和2年度支出実績 | 15,522 | 14,477 | 25,483 | 19,769 | 16,468 | 13,560 | 10,5279 |      |
| 令和2年度収支差額 | 4,098  | 4,875  | -5,649 | 540    | 5,145  | 6,552  | 15,561  |      |
|           | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 合計      |      |
| 令和2年度収入実績 | 19,680 | 19,026 | 20,999 | 21,329 | 18,742 | 22,109 | 241,725 |      |
| 令和2年度支出実績 | 18,301 | 22,021 | 27,211 | 15,618 | 14,508 | 14,265 | 217,203 |      |
| 令和2年度収支差額 | 1,379  | -2,995 | -6,212 | 5,711  | 4,234  | 7,844  | 25,522  |      |

### 6. 利用日数・稼働率・入院日数・外泊日数・入退所人数・看取り人数

|      | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 小計    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 日数   | 1,440 | 1,488 | 1,440 | 1,488 | 1,488 | 1,440 | 8,784 |
| 利用日数 | 1,435 | 1,455 | 1,408 | 1,474 | 1,488 | 1,433 | 8,693 |
| 稼働率  | 99.7% | 97.8% | 97.8% | 99.1% | 100%  | 99.5% | 96.2% |

|        |       |       |       |       |       |       |        |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 入院日数   | 5     | 33    | 21    | 14    | 0     | 0     | 210    |
| 外泊日数   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 26     |
| 空室数    | 0     | 0     | 11    | 0     | 0     | 7     | 89     |
| 退居者数   | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     | 2     | 3      |
| 新規入居者数 | 1     | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 2      |
| 看取り人数  | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     | 2     | 3      |
|        | 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合計     |
| 日数     | 1,488 | 1,440 | 1,488 | 1,488 | 1,344 | 1,488 | 17,568 |
| 利用日数   | 1,453 | 1,384 | 1,449 | 1,467 | 1,287 | 1,450 | 17,183 |
| 稼働率    | 97.6% | 96.1% | 97.4% | 98.6% | 95.8% | 97.4% | 97.8%  |
| 入院日数   | 1     | 53    | 15    | 6     | 50    | 22    | 220    |
| 外泊日数   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
| 空室数    | 34    | 3     | 24    | 15    | 7     | 17    | 118    |
| 退居者数   | 2     | 1     | 1     | 2     | 1     | 1     | 11     |
| 新規入居者数 | 4     | 0     | 2     | 1     | 1     | 1     | 11     |
| 看取り人数  | 1     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 7      |

以上

## 介護型ケアハウス サンライフ魚崎医務室

### 令和2年度 事業報告書

〈スローガン〉「助け合って 目玉事業をきっちりやり遂げる」

#### 1. 令和2年度受診・往診・入院・救急・看取り件数等

| 月   | 往診<br>件数 | 受診<br>件数 | 入院<br>件数 | 救急<br>件数 | 看取り<br>件数 | 薬管理<br>件数 | 入居数 | 退所 | 入所 |
|-----|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----|----|----|
| 4月  | 73       | 11       | 2        | 1        | 0         | 46        | 47  | 0  | 0  |
| 5月  | 87       | 7        | 1        | 1        | 0         | 46        | 47  | 0  | 0  |
| 6月  | 92       | 20       | 0        | 0        | 1         | 47        | 48  | 1  | 1  |
| 7月  | 70       | 18       | 1        | 0        | 0         | 47        | 48  | 0  | 0  |
| 8月  | 87       | 16       | 0        | 0        | 0         | 48        | 48  | 0  | 0  |
| 9月  | 92       | 13       | 0        | 0        | 2         | 46        | 46  | 2  | 0  |
| 10月 | 93       | 15       | 1        | 0        | 1         | 47        | 47  | 2  | 4  |
| 11月 | 85       | 10       | 1        | 1        | 0         | 46        | 46  | 1  | 0  |
| 12月 | 89       | 13       | 1        | 0        | 0         | 48        | 48  | 1  | 2  |
| 1月  | 85       | 8        | 3        | 0        | 1         | 45        | 45  | 1  | 1  |
| 2月  | 110      | 10       | 0        | 0        | 1         | 46        | 46  | 1  | 1  |
| 3月  | 118      | 19       | 1        | 0        | 1         | 47        | 47  | 1  | 1  |
| 合計  | 1081     | 160      | 11       | 3        | 7         | 559       | 563 | 10 | 10 |

#### 2. 令和2年度 看護業務の総括

多職種と連携し、利用者様の健康増進あるいは維持・悪化防止に努めてきた。夜間はオンコール体制となるため、介護職員と情報交換を行い、夜間の状態把握に努めた。下記にその取組について報告する。

##### 1) 健康管理

- ① 入居希望者様の面接へ相談員に随行して医療的な状態の把握やアセスメントを行い、安心して入居して頂く事が出来た。
- ② 担当フロアの巡回を行い日々の入居者様の体調確認に努めた。開田医院と連携し定期往診時には状態を的確に報告し指示を仰いだ。急な状態変化時には速やかに医師に連絡し指示に従って対処することが出来た。

- ③ 看護主任は毎月主治医に医療連携報告書を提出し医師との情報交換に努めた。
- ④ 状態変化時や往診後に医務室カンファレンスを実施し、看護師間で情報共有を行った。指示変更等あれば介護職にも分かりやすいように伝達した。
- ⑤ 口腔衛生管理体制加算算定に基づき、定期的に歯科検診と口腔ケアを依頼し、異常の早期発見と口腔内トラブル予防に努めた。
- ⑥ 令和2年4月から調剤薬局変更に伴い、薬剤師への情報提供や医師との連携をはかり、スムーズに移行出来た。薬のセットを薬剤師に依頼出来るようになり看護師の負担軽減につながった。

## 2) 看取り対応

看取り介護への移行時期を見極め、早めにご家族と看取りについて相談をさせて頂くよう努めた。穏やかに居室で最期を迎えることができた。

## 3) 感染対策

コロナウイルス流行に伴い施設全体で感染防止対策を徹底した。入居様は面会や外出外泊を禁止とし、急を要さない受診は控えることで外部との接触をなるべく減らした。現在感染者はゼロであり、今後も継続していくよう引き続き感染対策を行っていく。

## 4) 虐待防止・身体的拘束防止について

年に2回の研修に参加し、学びを共有し、利用者様への対応に努めた。

## 5) 看護職員の健康管理について

看護師3名体制となり、オンコールも3名で分担出来ている。お互いに協力し、緊急時以外は残業しないようにしている。年次有給休暇、連続リフレッシュ休暇が取得出来るよう調整していく。

以上

## サンライフ魚崎 厨房

### 令和2年度 事業報告書

今年度、ささゆり会の経営スローガンである「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」を実現するため、職場環境改善に重点を置き、職員の定着に向けた指導方法の見直し、厨房内業務削減に向けた厨房改修内容の検討を予定していたが、新型コロナウイルス流行に伴い、感染拡大予防の為、思うように取り組む事が出来なかった。今夏に厨房空調の故障がみられた為、空調を使用しない3月中旬の1週間で大規模な厨房空調工事を実施した。また、長年取引を行っていた主仕入先との契約が10月初旬で終了となり、近隣の業者2社との取引が開始となった。新型コロナウイルス流行の影響等を受けながらも、コスト削減することが出来た。

#### 1. 職員の定着・人材育成方法の見直し

I. 4月入社の常勤職員1名、7月入社の非常勤職員1名は個々に応じた習得ペースでの指導方法を行った。また、人員数的には豊富となったが、個々の知識・技術が伴っていない事もあり、業務を円滑に遂行できない事も多くみられた。今後もコミュニケーション・情報共有を十分行い、個々の考えや能力を活かしながら、その人に応じたスピードで知識・技術を身につける事ができる指導方法とする。

- ① 毎日の業務状況を聞き取り、その人に応じた業務内容の習得ペースで行った。
- ② 失敗や不安が続く場合、その人の“出来る事”を話し合い、自信につながる業務をみつけた。
- ③ 具体例を示し、わかりやすい表現で伝えた。

また、新型コロナウイルス感染拡大予防として、直接、利用者様の食事の様子や状況の把握を行う事は出来なかった。

II. 非常勤職員は比較的年配の方が多いため（約1/3が65歳以上、そのうち2名が70歳以上）、必要人員の増加、体力の低下、火傷や裂傷などの労働災害に留意し、随時、労働時間の配慮・厨房環境の整備に加え、業務全体の補助や業務内容について具体的に分かりやすく掲示するなど、長期間働きやすい環境を整えた。

- ① 毎日、業務の担当を決め、個々の役割を明確化することで、自ら考え工夫し、業務の効率化につなげていく。また、周囲の状況を見極め、お互いを助け合うことで負担を軽減し、信頼関係を築く。
- ② 「自分の身は自分で守る」を合言葉に、安全な業務を呼びかける。
- ③ 間違えやすい食品類・洗剤類には、分かりやすく印をつける。
- ④ 随時、声かけを行い、個々の状態を把握する。

引き続き、新たに効率良い業務、柔軟に対応できる厨房を目指す。



## 2. 厨房改修内容の検討

今夏は厨房空調の故障があり、職員の高齢化による健康面の影響、衛生面への影響が懸念されたが、問題なく今夏を終える事ができた。来夏に向け、厨房空調を使用しない3月15～21日に大規模な厨房空調工事が施行された。また、職員の定着・働きやすい職場環境作りを念頭にその他の厨房改修の内容を副本部長・施設長・事務長・管理栄養士で検討し、進めていく予定であったが、新型コロナウイルス流行により、思うように検討する事が出来なかった。

(R2年度の設備修理、及び、入替購入)

7/3 給気ファン修理にて、インバーター設置

8/14 エアコン、故障

8/27 食器洗浄機、故障 ⇒ 9/30 新食器洗浄機、購入

3/15～21 厨房空調工事

## 3. その他

- I. コスト削減対策として、鮮魚の業者には、旬で安価な魚の確認を随時行った。また、長年取引を行っていた主仕入先とは10月10日で契約が終了となった。新たに選定を行い、近隣2社を主仕入先とし、取引を開始した。随時、食材の品質・価格・旬の食材の仕入れ等を話し合いながら、安全・良質で、安価な食材確保に努めた。厨房使用中止中の介護食弁当の提供によりコスト増加や、新型コロナウイルス流行の影響等がありつつも、2,000,000円以上のコスト削減に取り組む事が出来た。

〈R2年度 食材料費実績〉(円)

|     | R2年度       | R1年度       | 差額         | 増減(%) |
|-----|------------|------------|------------|-------|
| 4月  | 2,797,983  | 3,162,393  | -364,410   | -1.2  |
| 5月  | 2,974,383  | 3,011,219  | -36,836    | -1.2  |
| 6月  | 2,851,858  | 2,900,583  | -48,725    | -1.7  |
| 7月  | 3,075,795  | 3,045,848  | 29,947     | 1.0   |
| 8月  | 3,122,342  | 3,130,810  | -8,468     | -0.3  |
| 9月  | 3,004,836  | 3,084,582  | -79,746    | -2.6  |
| 10月 | 2,742,409  | 2,841,918  | -99,509    | -3.5  |
| 11月 | 2,368,652  | 2,984,198  | -615,546   | -20.6 |
| 12月 | 2,759,205  | 3,175,262  | -416,057   | -13.1 |
| 1月  | 2,420,348  | 2,918,536  | -498,188   | -17.1 |
| 2月  | 2,271,965  | 2,775,362  | -503,397   | -18.1 |
| 3月  | 2,888,130  | 2,973,565  | -85,435    | -2.9  |
| 合計  | 33,277,906 | 36,004,276 | -2,726,370 | -7.6  |

〈R2 年度 1 食当たりの平均金額〉（総額/延べ食数）（円）

|      | R2 年度 | R1 年度 | 増減(%) |
|------|-------|-------|-------|
| 4 月  | 213   | 229   | -7.0  |
| 5 月  | 217   | 214   | 1.4   |
| 6 月  | 210   | 215   | -2.3  |
| 7 月  | 217   | 218   | -0.5  |
| 8 月  | 220   | 223   | -1.3  |
| 9 月  | 218   | 234   | -6.8  |
| 10 月 | 197   | 205   | -3.9  |
| 11 月 | 176   | 221   | -20.4 |
| 12 月 | 201   | 231   | -13   |
| 1 月  | 176   | 217   | -18.9 |
| 2 月  | 183   | 211   | -13.3 |
| 3 月  | 212   | 223   | -4.9  |
| 平均   | 203   | 220   | -7.7  |

※小数点以下、四捨五入

- Ⅲ. 業務に支障のない範囲で有給休暇を取得できるよう勤務を調整する事が出来た。また、今年度実施予定としていた長時間勤務者への連続リフレッシュ休暇の取得は、新型コロナウイルス流行もあり、取得する事が出来なかった。

以上

# サンライフ魚崎居宅介護支援事業所

## 令和2年度 事業報告書

令和2年度は、新しい人員構成で活動してきた。まず組織内の情報共有に注力し、職員間のコミュニケーションを良くするために、毎週火曜日には、朝一番、定例居宅会議を開き、各介護支援専門員の活動状況を報告し合った。これに加えて、施設内外の状況も管理者から説明した。特に、新型コロナウイルスの感染が広がる中で、4月7日の緊急事態宣言後、訪問調査（認定更新）は電話にて聞き取り、モニタリング・サービス担当者会議などは、自宅以外で行ったり電話やメール等の代替手段で行うことにした。

また、神戸市からの要請を受けて、通所系サービス利用者の複数施設利用を1本化するように、利用者・家族と調整を行った。

その結果、介護支援専門員の訪問先での感染という事態を避けることができた。6月に入り、緊急事態宣言が解除され、感染が下火になった時点で、フェイスシールドやアルコール消毒液を持って訪問を開始した。訪問先では、窓や玄関ドアの開放をお願いし、面談者とも2m以上の距離を確保しながら、15分から30分の短時間で終了するように努めた。その結果、3月末まで、介護支援専門員5名、誰一人感染することも無く業務を遂行できた。以下、主な業務について報告する。

### I. 職員同士助け合っていく中で、それぞれが持ち味を発揮する。

- ① 事業所内での連携を強化するために月4回9:00から30分定例会議を開催し、利用者様の情報、課題の共有を図った。会議の中で新人職員が2名いるので、課題点を話し合い情報の共有を図っていった。
- ② 各介護支援専門員持つ良さを発揮できるように、ケアプラン等の作成にお互いが干渉しないように管理者が個人ごとに相談に乗りかつ必要なことを指示もした。
- ③ 研修や行事へ積極的に参加したかったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、ほとんどすべての研修を当初は自粛した。後半からズーム研修に参加できた。行事は開催できなかったし参加もできなかった。

### II. 法令遵守

- ① 業務確認表を各ケアマネージャーが毎月作成し、管理者が確認を行った。
- ② 基準や条例等に追加や変更があれば定例会議や市への問い合わせ等で確認し、共通理解を図れた。
- ③ 加算要件の書類整備等、ミスがないように会議等で確認し、特定事業所集中減算の要件に該当するサービスについては所定の手続きを9月に確実に行って、居宅介護支援費の減算を回避した。（福祉用具・通所介護・訪問介護）

### Ⅲ. その他

- ① 他市町村からの認定調査依頼は、できるだけ受託した。
- ② 健康管理に気を付け、定時退勤を目指した。計画的年休の取得も積極的に進めた。
- ③ 研修受講結果
  - 20.5.20 介護施設における新型コロナウイルス対策 佐藤
  - 20.6.3 神戸市認定調査員新規研修 島田
  - 20.8.28 新型コロナウイルス感染症を正しく理解する 倉品
  - 20.10.6 スキルアップ研修 島田
  - 20.11.7・13・20 地域同行型研修 押谷（ズーム研修）
  - 20.11.27 在宅医療勉強会 認知症 押谷
  - 20.11.30 障害福祉を勉強しよう 柳本
  - 21.2.10 介護報酬改定のポイント 佐藤施設長
  - 21.3.20 介護保険制度の改正等説明会 佐藤施設長（ズーム研修）

#### ○ 利用者数（介護）

（単位：人）

|            |    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| R2年度<br>計画 | 介護 | 60 | 60 | 60 | 70 | 70 | 70 | 70  | 70  | 70  | 80 | 80 | 80 | 840 |
|            | 予防 | 2  | 2  | 2  | 2  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  | 5  | 48  |
| R2年度<br>実績 | 介護 | 54 | 58 | 65 | 67 | 66 | 64 | 72  | 77  | 81  | 76 | 88 | 87 | 374 |
|            | 予防 | 0  | 1  | 2  | 2  | 2  | 2  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  | 5  | 39  |
|            |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |

#### ○（居宅介護支援費・介護予防支援業務委託料・認定調査委託料）

（単位：千円）

| 月        | 4月    | 5月    | 6月     | 7月    | 8月    | 9月    | 小計     |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
| R2年度収入実績 | 728   | 800   | 799    | 1,223 | 803   | 1,232 | 5,588  |
| R2年度支出実績 | 1,357 | 1,440 | 1,914  | 1,489 | 1,440 | 1,439 | 9,082  |
| 収支差額     | -629  | -640  | -1,115 | -266  | -637  | -207  | -3,494 |
| 月        | 10月   | 11月   | 12月    | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
| R2年度収入実績 | 1,002 | 1,067 | 1,099  | 1,072 | 1,178 | 1,957 | 12,963 |
| R2年度支出実績 | 1,780 | 1,494 | 3,020  | 1,573 | 1,149 | 1,137 | 19,235 |
| 収支差額     | -778  | -427  | -2,821 | -724  | -29   | 820   | -6,272 |

以 上

## 地域包括支援センター

### 魚崎北部あんしんすこやかセンター

## 令和 2 年度 事業報告書

経営スローガン「助け合って、目玉事業をきっちりやり遂げる」  
センタースローガン「迅速にかつ素早く対応できるチームワークの良い明るいセンター」

2020 年度は、コロナ禍の緊急事態宣言で、4 月から 6 月、1 月から 3 月とイベント開催が出来ず、大幅にイベント企画の時期や開催方法など見直しが必要となった。

目玉事業であった認知症家族の思いを地域、医療、介護で共有し一緒に考える企画は、「お魚の会」兼「地域ケア会議」として、コロナ感染予防対策をとり、実施できた。

コロナ禍の影響で、イベントや大半のつどい場が中止、活動性の低下により、ADL 低下、意欲低下、精神不安定、認知症状悪化する方も多くおられ、相談や対応業務も増えた。

またつどい場に対してコロナ感染予防に配慮した開催のアドバイス等の後方支援を実施した。

虐待や困難事例の対応も、随時情報共有し対応検討し、迅速かつ素早くチームワークを発揮して実践できた。

### 1. 高齢者への虐待防止、消費者被害防止、成年後見制度の活用等の権利擁護支援

- ・ 5 月～6 月：コロナ禍の中、新型コロナウイルスに係る詐欺についての注意喚起のチラシを 2 種類、作成し、地域の高齢者宅に投函し、注意を呼び掛けた。
- ・ 7/15：介護リフレッシュ教室にて高齢者虐待防止のために地域で出来ることを、チラシを配布して呼びかけ、協力を仰いだ。
- ・ 9 月：地域で急増している「押し買い」と言われる迷惑商法についての注意喚起のチラシを作成。それと併せて、一般的な特殊詐欺、水道工事の業者トラブルについての注意喚起を地域のデイサービスを回り、利用者様、スタッフに向けて広報を実施した。
- ・ 10 月～11 月も引き続き、「押し買い」や特殊詐欺についての注意喚起広報活動継続。
- ・ 2 月～3 月：成年後見制度の利用にはお金が必ずないと出来ないという誤解を

払拭するため、「成年後見ひとこと通信」を作成、地域行事や民生委員の集まりで配布、成年後見制度の使いやすさを広報した。

・3月：地域のデイサービスの運営推進会議で高齢者虐待防止のために地域で出来ることを、チラシを配布して呼びかけ、協力を仰いだ。

## 2. 認知症サポートネット「お魚の会」の更なる推進(5万円助成金あり)

・9/16：第1回目「お魚の会」兼「地域ケア会議」合同開催。参加者14名。

「認知症家族の思いを知る」のテーマで、家族介護者（＝ケアラー）の思いをお話して頂き、意見交換を交わした。認知症を診断された時の支え、ケアラーのケアの視点、ケアラーの負担軽減への方法、支援、制度、それらの周知や啓発の必要性を参加者の皆様と共感できた。課題や今後の取り組みが見えてくる会議となった。

・1/20：第2回目「お魚の会」兼「地域ケア会議」合同開催企画し、12/18事前打ち合わせを実施し、参加者も募ったが、緊急事態宣言で中止となった。令和3年度開催予定。

### ・介護予防普及啓発事業（神戸市年間80万円委託料あり）

コロナ禍の為、上半期実施無し。10/21・12/15に実施計画。

10/21：西青木総合会館にて、シンコースポーツ様を招聘し、「フレイル対策健康セミナー」を実施。参加者7名。

12/15：横屋会館にて、歯科医師と体操ボランティア団体を招聘し、オーラルフレイルについての講演、介護予防体操を実施した。参加者13名。

## 3. 地域包括ケアシステム構築の為、地域ケア会議の推進。（神戸市から1回に付6,000円委託料あり。）

・9/16：第1回目「地域ケア会議」兼「お魚の会」合同開催。参加者14名。

「認知症家族の思いを知る」のテーマで家族介護者の講演と意見交換実施。

・11/18：第2回目「地域ケア会議」事例検討会。参加者：27名

・同日：事業者連絡会開催「小規模多機能」「障害者制度」について。参加者11名。

### ・包括的継続的ケアマネジメント（ケアマネ等支援）

ケアマネ等支援の為の連絡会、研修会を、コロナ過の中ZOOMで開催できた。

東灘区あんしんすこやかセンター合同主催にてケアマネ支援の立場から研修会実施。

・8/28 新型コロナウイルス感染症を正しく理解する。～基礎編～ZOOM

・9/9 新型コロナウイルス感染症を正しく理解する。～実践編～ZOOM

・10/6 ひきこもりの状態にある方やその家族への支援に向けて

・11/30 障害者福祉を勉強しよう！～障害者福祉サービスを理解する～

## 4. 単身高齢者・老々世帯の孤立化を防ぎ、地域に出かけていけるように。地

## 域支え合い推進員の地域での見守りと居場所づくりの推進。

- ・コミサポ事業として、居場所の後方支援実施。

「囲碁将棋オセロテーブルゲームの会」対面で楽しむことが、コロナ禍では難しく、一度も開催することができておらず、今後のめども立たず。

「かしまし処」開催場所の「ウェルカフェ」の利用ができず、開催できた場合はどんな工夫があるかを検討し準備しており、やっと 9/10 から開催できた。体温測定、手指消毒、人数制限、飲食制限などありながら開催だったが、広報がうまくできなかったため、参加者 0 名だった。10 月 3 名、11 月 2 名、12 月 2 名、1 月～3 月はコロナ感染症拡大で中止とした。今年度でコミサポ事業は終了、さらに自立した居場所が開催できるように、後方支援に努める。

「お花・畑の会」開催場所がグループホームの施設の庭のため、感染予防のため、施設内に立ち入ることが難しいため、一度も開催できず、今後のめども立たず。

「魚崎つどいばめぐり」8/26 に実行委員会を開催した。そこで、コロナ禍でも、できることをやってみようとイベントを企画した。10/29 魚崎南福祉センターと浜公園にて、参加者 33 名ボランティア 16 名で開催、11/24 川井公園と横屋会館、参加者 22 名ボランティア 19 名で開催、屋外での歌声広場、体操、ゲームを楽しんで頂いた。また、来年度に向けて実行委員会を開催し、継続していく予定。

- ・コミサポ以外の居場所である、らくらく体操、UME のつぶやき、ぽっぽくらぶ、レッツゴー体操、魚崎ご近助さん、東灘こどもカフェの後方支援を実施。

川井喫茶、サロンさかなちゃん、リバーサロン、すみれサロン、西青木映画会はコロナ禍の中、開催はされておらず聞き取りや相談対応をした。

- ・法人事業として、「ふれあい喫茶カフェ魚崎」はコロナ感染予防の為令和 2 年度は中止とした。

- ・ **介護リフレッシュ教室の開催※神戸市より年間最高 36 万円委託料あり。**

- ・介護者を対象にした介護リフレッシュ教室企画開催

7/15:「手あて」というテーマの体操 4 名参加

毎年、予定していた 4 月開催の介護リフレッシュ教室を 7 月に延期し開催した。

人数制限を行い、間隔をあけて開催、大変喜んでいただけた。

10/28: ヨガ体操 6 名参加 新しい取り組み、体を動かしリフレッシュされた。

12/9: フラワーアレンジメント 8 名参加 クリスマス使用の作品づくりに熱中された。

2/17: 緊急事態宣言のため中止とした。

コロナ禍でも楽しんでリフレッシュしていただける企画を準備し取り組んだ。

## 5. 介護予防マネジメント 総合相談支援

令和 3 年 3 月末現在、サービス利用者 223 件（受託 163 件、委託 60 件）（前年比 101%）委託割合 27%。委託事業者（法人含む）契約件数 16 件。

介護予防支援 148 件。総合事業 75 件。

新規件数 81 件。要介護に移行した件数 41 件。中止件数 58 件。

表.1 R2 年度 収入 (単位：円)

| 月      | 4 月         | 5 月         | 6 月         | 7 月         | 8 月         | 9 月         | 小計          |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| R1 年実績 | 950, 291    | 980, 576    | 982, 895    | 1, 001, 082 | 1, 005, 286 | 1, 002, 487 | 5, 922, 617 |
| R2 年予想 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 6, 000, 000 |
| R2 年実績 | 1, 041, 748 | 1, 090, 753 | 1, 056, 772 | 1, 067, 948 | 1, 053, 033 | 1, 061, 815 | 6, 372, 069 |
| 前年差異   | 91, 457     | 110, 177    | 73, 877     | 66, 866     | 47, 747     | 59, 328     | 449, 452    |
| 月      | 10 月        | 11 月        | 12 月        | 1 月         | 2 月         | 3 月         | 小計          |
| R1 年実績 | 1, 042, 606 | 1, 051, 092 | 1, 059, 503 | 1, 063, 688 | 1, 041, 782 | 1, 023, 993 | 6, 282, 664 |
| R2 年予想 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 1, 000, 000 | 6, 000, 000 |
| R2 年実績 | 1, 071, 646 | 1, 086, 636 | 1, 056, 738 | 1, 005, 867 | 1, 049, 226 | 1, 040, 815 | 6, 31, 0928 |
| 前年差異   | 29, 040     | 35, 544     | ▼2, 765     | ▼57, 821    | 7, 444      | 16, 822     | 28, 264     |

## 6. 令和 2 年度研修

《外部研修と復講研修》

| 日付   | 研修名                                 | 参加者   | 復講研修<br>(人数) |
|------|-------------------------------------|-------|--------------|
| 7/22 | DV 被害者支援関係機関担当者向け合同研修会              | 岩佐喜久美 | 7/24 6 名     |
| 7/28 | 「地域ケアマネジメント」<br>あんしんすこやかセンターテーマ別研修  | 岩佐喜久美 | 7/31 6 名     |
| 7/31 | 「お結びの会」                             | 岸 耕司  | 8/7 6 名      |
| 9/15 | 困難事例対応向上研修<br>様々な「困難」に対応できるチームを考えよう | 岩佐喜久美 | 9/16 6 名     |
| 9/15 | 令和 2 年度 知っておきたい！難病の話                | 奥田 亜紀 | 9/16 6 名     |
| 9/18 | 令和 2 年度 認知症地域支援推進員研修                | 奥田 亜紀 | 9/25 6 名     |
| 10/9 | ひきこもりの理解と支援と 8050 問題                | 岩佐喜久美 | 10/16 6 名    |



|                |                                  |               |                     |
|----------------|----------------------------------|---------------|---------------------|
| 10/31          | 認知症高齢者声掛け訓練 本庄あんすこ               | 岸 耕司          | 11/6 6名             |
| 11/13          | 困難事例対応向上研修<br>さまざまな困難に対応できるチーム作り | 岩佐喜久美         | 11/20 6名            |
| 11/20<br>12/10 | 神戸市自立支援型 基礎研修 1日目<br>2日目         | 村上 善子         | 12/4 6名<br>12/11 6名 |
| 12/3           | 認知症地域包括ケア推進研修                    | 奥田 亜紀         | 12/4 6名             |
| 12/23          | 介護予防ケアマネジメント従事者<br>スキルアップ研修      | 村上 善子         | 12/25 6名            |
| 1/28           | 在宅看取りを多職種で支えるために                 | 岸 耕司          | 2/12 6名             |
| 2/18           | 地域包括支援センター職員等研修会                 | 岩佐喜久美         | 2/26 6名             |
| 2/9            | 神戸市ひきこもりサポーター養成講座                | 奥田 亜紀         | 2/12 6名             |
| 2/22           | 神戸市若年性認知症支援研修会                   | 野田美智子<br>岸 耕司 | 2/26 6名             |
| 3/3            | 認知症相談センター機能強化研修                  | 奥田 亜紀         | 3/12 6名             |
| 3/1            | 難病と認知症                           | 岸 耕司          | 3/12 6名             |
| 3/1            | 地域包括ケア担当職員セミナー                   | 岸 耕司          | 3/26 6名             |
| 3/19           | 法テラス兵庫地方協議会                      | 奥田 亜紀         | 3/26 6名             |

《内部研修》 復講研修以外

| 月                      | 内容                                                                                       | 参加者         |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 9/29<br>10/16<br>11/13 | 接遇・虐待防止研修 個別ワーク 全体検討<br>*利用者様が金銭を渡そうとしたときの対応<br>*利用者様からプライベートを聞かれた場合<br>*認知症の方への声掛け対応の仕方 | センター職員 6名参加 |

以上

## 7. コロナ感染予防対策実施

・職員各自で健康管理に努めた。毎日朝夕の検温、記録、提出して健康管理した。

体調不良時は、出勤前に報告し勤務を検討するようにした。

法人の感染対応マニュアルに沿った生活をした。

・飲食以外は、マスクを着用。(外す場合、ジブロックか容器に収納)

・包括職員間の感染予防の為、各デスク間をビニールクロスで仕切る。

定期的にビニールクロスの消毒実施。(週1回以上)

各デスクで、食事摂取。食前食後のデスク消毒。

・アルコール消毒用スプレーボトルを、全職員が携帯し、訪問の前後に手指消毒を実施した。

・訪問前に、利用者様や相談者の発熱等体調不良が無いことを出来るだけ確認するよう

にした。訪問は基本 15 分以内とし、フェイスシールドを装着。フェイスシールドは、利用毎に消毒した。

- ・施設の入出時の、手洗い、うがいを徹底した。

- ・センターチラシに「お手数ですが、まずはお電話お願いします。」と追記変更し、出来るだけ電話で情報収集や相談対応をして、介護保険の申請など直接面談が必要な場合は、相談者の身体状況を確認し、短時間での訪問対応とし、施設での面談は出来るだけ控えるようにした。

- ・施設での面談時は、換気の為窓は開けたままで、仕切り版のある面談室を利用しフェイスシールドを装着し、出来るだけ短時間で行う。利用後のデスクや仕切り版、フェイスシールドの消毒を実施した。

- ・体調不良者の対応を、どうしてもしないといけない場合は、施設長等上司の判断を仰ぎ、対応方法を検討して、完全感染対応装備で対応した。

- ・訪問してから、体調不良や発熱が分かり接触してしまった場合は、まずは消毒をして、帰社前に、法人に連絡し、対応の指示を受ける。(帰社してよいか。直接帰るか等)

- ・センター職員の会議は、窓は開けたままで、1 m以上間隔をあけて座るようにした。

- ・イベント開催の時間短縮、人数制限、常時換気、手指消毒、デスクや椅子等消毒、開催前の全員検温、マスク装着、グループワーク時はフェイスシールド装着、マイク使用者毎の消毒など企画時より検討し実施した。

- ・つどい場の後方支援として、コロナ感染予防対策の相談に応じ、飲食をしない等感染状況に応じた神戸市の指針に従い、つどい場を開催して頂いた。